

平成 22 年度  
三重県埋蔵文化財年報

2012（平成 24）年3月  
三重県埋蔵文化財センター



- 1 本書は、三重県内の発掘調査の概要と、平成 22 年度における三重県埋蔵文化財センターの事業概要をまとめたものである。
- 2 本書の編集は、関係機関及び各位の協力を得て、三重県埋蔵文化財センター活用支援課が行った。
- 3 第 1 章には、平成 22 年度の三重県内発掘調査の概要として、三重県埋蔵文化財センター・斎宮歴史博物館・県内市町が担当した発掘調査成果を掲載している。なお、内容については関係市町教育委員会並びに各発掘調査担当者の協力を得た。
- 4 第 III 章の「1 県内の遺跡数」については、三重県生活創造圏ビジョン推進条例によって策定された 9 つの生活創造圏によって三重県内を区分し、種類については周知の埋蔵文化財包蔵地の実態調査（文化庁 平成 18 年 8 月 3 日付 18 財記念第 31 号 依頼）にならって掲載した。
- 5 第 III 章の「2 県内発掘調査の経年変化」の分類は、以下の方法によって行い、各担当機関で分類した。
  - ・土地改良：ほ場整備・畑地造成など
  - ・道路・河川等：道路・河川等の建設・改良工事のほか、ダム建設、それらに関わる側溝工事・舗装工事など
  - ・ゴルフ場：ゴルフ場建設及びそれに付帯する工事
  - ・団地・個人住宅：個人・共同住宅・店舗付住宅建設、解体、宅地造成、土地区画整理など
  - ・工場造成地：大規模な生産施設・工場建設及びそれに付帯する工事
  - ・土取り等：砂利採取など
  - ・その他：学術調査、教育施設・福祉施設、公園・その他公共施設関係、上下水道工事、ガス管工事、浄化槽工事、電柱工事、駐車場整備、店舗など商業施設関係、娯楽施設など前述の調査原因に当てはまらないもの

# 目次

I	三重県内の発掘調査	
1	本発掘調査	1
2	範囲確認調査	5
3	工事立会	10
4	本発掘調査の概要	17
II	三重県埋蔵文化財センターの概要	
1	組織・職員・施設	32
2	公開・普及活動	34
3	資料の保管	44
4	埋蔵文化財技術者養成	46
5	各種会議・研修等への職員の参加	52
III	行政資料	
1	県内遺跡数	55
2	県内発掘調査の経年変化	55

## I 三重県内の発掘調査

### 1 本発掘調査

#### (1) 三重県埋蔵文化財センター担当の調査

平成 22 年度、三重県埋蔵文化財センターが実施した本発掘調査は 14 件、総面積 26,492.1 m<sup>2</sup>である。調査原因の内訳は国・高速道路事業で 5 件、県事業 9 件である。調査体制には調査記録部門まで委託する調査委託、土工部門のみを委託する土工委託 1、土工部門に加え調査記録補助を委託する土工委託 2、労務提供の 4 種類があり、それぞれの内訳は以下のとおりである。(調査経費には、職員給与以外の整理のための費用も含んでいる)

No.	遺跡名	所在地	調査原因	調査体制	調査面積	備考
1	中野山遺跡(第2次)	四日市市	国土交通省(東海環状道)	土工委託1	17,150.0m <sup>2</sup>	
2	伊坂城跡(第4次)	四日市市	中日本高速道路(株)	土工委託1	984.0m <sup>2</sup>	
3	石塚遺跡(第2次)	津市	三重県県土整備部	土工委託1	133.0m <sup>2</sup>	
4	高樋遺跡(第2次)	津市	三重県県土整備部	土工委託1	96.0m <sup>2</sup>	
5	林垣内遺跡	津市	三重県県土整備部	土工委託1	651.0m <sup>2</sup>	
6	相川西方遺跡(第3次)	津市	国土交通省(中勢道路)	土工委託2	3,000.0m <sup>2</sup>	
7	西蔵寺廃寺	松阪市	三重県農水商工部	労務提供	325.0m <sup>2</sup>	
8	朝見遺跡	松阪市	三重県農水商工部	労務提供	205.1m <sup>2</sup>	
9	相可出張遺跡(第2次)	多気郡多気町	三重県教育委員会	土工委託1	1,123.0m <sup>2</sup>	
10	寺田遺跡(第2次)	度会郡玉城町	三重県農水商工部	労務提供	675.0m <sup>2</sup>	
11	田丸遺跡(第2次) 塚田1号墳・塚田2号墳	度会郡玉城町	三重県農水商工部	労務提供	630.0m <sup>2</sup>	
12	万所遺跡(第3次)	伊勢市	国土交通省(宮川河川改修)	土工委託1	706.0m <sup>2</sup>	
13	万所遺跡(第4次)	伊勢市	国土交通省(宮川河川改修)	土工委託1	226.0m <sup>2</sup>	
14	沖打越1号墳 沖打越中世墓(第2次)	伊賀市	三重県農水商工部	土工委託2	588.0m <sup>2</sup>	

		調査原因	調査体制	件数	調査面積	調査経費 (千円)
事業別 本調査 合計	県事業	三重県農水商工部	土工委託1(土工部門のみ)	0	0.0m <sup>2</sup>	26,508
			土工委託2(土工部門+調査補助)	1	588.0m <sup>2</sup>	
			労務提供	4	1,835.1m <sup>2</sup>	
			合計	5	2,423.1m <sup>2</sup>	
		三重県県土整備部	土工委託1(土工部門のみ)	3	880.0m <sup>2</sup>	30,917
			土工委託2(土工部門+調査補助)	0	0.0m <sup>2</sup>	
			労務提供	0	0.0m <sup>2</sup>	
		合計	3	880.0m <sup>2</sup>		
		三重県その他	土工委託1(土工部門のみ)	1	1,123.0m <sup>2</sup>	20,470
	土工委託2(土工部門+調査補助)		0	0.0m <sup>2</sup>		
	労務提供		0	0.0m <sup>2</sup>		
	合計		1	1,123.0m <sup>2</sup>		
受託事業	国土交通省(中勢道路)	土工委託2(土工部門+調査補助)	1	3,000.0m <sup>2</sup>	53,822	
	国土交通省(宮川河川改修)	土工委託1(土工部門のみ)	2	932.0m <sup>2</sup>	11,873	
	国土交通省(東海環状道)	土工委託1(土工部門のみ)	1	17,150.0m <sup>2</sup>	12,156	
	合計	4	21,082.0m <sup>2</sup>	—		
	中日本高速道路(株)	土工委託	1	984.0m <sup>2</sup>	32,945	
本調査合計				14	26,492.1m <sup>2</sup>	

## (2) 齋宮歴史博物館担当の調査

	学術調査	その他	総計
件数	4件	13件	17件
面積	884.0㎡	448.2㎡	1,332.2㎡

(※印は、国補助事業)

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積
15	齋宮跡(第167次調査)	明和町	学術調査	三重県・文化庁※	537.0㎡
16	齋宮跡(第168次調査)	明和町	学術調査	三重県・文化庁※	239.0㎡
17	齋宮跡(第169次調査)	明和町	学術調査	三重県・文化庁※	71.0㎡
18	齋宮跡(第171次調査)	明和町	学術調査	三重県・文化庁※	37.0㎡
19	齋宮跡(第170-1次調査)	明和町	樹木抜根	明和町・県教育委員会・文化庁※	64.0㎡
20	齋宮跡(第170-2次調査)	明和町	住宅新築	明和町・県教育委員会・文化庁※	94.2㎡
21	齋宮跡(第170-3次調査)	明和町	住宅新築	明和町・県教育委員会・文化庁※	62.0㎡
22	齋宮跡(第170-4次調査)	明和町	住宅改築	明和町・県教育委員会・文化庁※	60.0㎡
23	齋宮跡(第170-5次調査)	明和町	鉄柱撤去、新設	明和町・県教育委員会・文化庁※	8.0㎡
24	齋宮跡(第170-6次調査)	明和町	浄化槽	明和町・県教育委員会・文化庁※	3.0㎡
25	齋宮跡(第170-7次調査)	明和町	進入路	明和町・県教育委員会・文化庁※	10.0㎡
26	齋宮跡(第170-8次調査)	明和町	浄化槽	明和町・県教育委員会・文化庁※	3.0㎡
27	齋宮跡(第170-9次調査)	明和町	浄化槽	明和町・県教育委員会・文化庁※	30.0㎡
28	齋宮跡(第170-10次調査)	明和町	住宅新築	明和町・県教育委員会・文化庁※	38.0㎡
29	齋宮跡(第170-11次調査)	明和町	住宅建て替え	明和町・県教育委員会・文化庁※	42.0㎡
30	齋宮跡(第170-12次調査)	明和町	住宅建て替え	明和町・県教育委員会・文化庁※	9.0㎡
31	齋宮跡(第170-13次調査)	明和町	住宅建て替え	明和町・県教育委員会・文化庁※	25.0㎡

## (3) 市町機関担当の調査

(※印は、国・県補助事業)

	土地改良	道路・河川等	ゴルフ場	団地・個人住宅	工場造成地	土取り等	その他	総計
件数	1件	6件	0件	16件	0件	0件	15件	38件
面積	740.0㎡	3,362.5㎡	0.0㎡	2,367.5㎡	0.0㎡	0.0㎡	6,577.5㎡	13,047.5㎡

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	区分	調査面積
32	東村日城跡	いなべ市北勢町東村	携帯電話鉄塔建設	事業者	その他	256.0㎡
33	見上遺跡	いなべ市大安町大井田	市道建設	いなべ市	道路・河川等	830.0㎡
34	出口遺跡	桑名市大字柳字稗田	福祉施設	事業者	その他	15.0㎡
35	天王平遺跡	桑名市多度町小山字天王平	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	9.4㎡
36	桑名城跡	桑名市吉之丸	水道敷設	事業者	その他	21.6㎡
37	寺跡遺跡	桑名市大字江場字中縄	店舗	事業者	その他	71.7㎡
38	桑名城下町遺跡	桑名市宝殿町	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	3.6㎡
39	七和廣寺	桑名市大字森志字笠坊谷、大字芳ヶ崎字大辻	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	3.6㎡

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	区分	調査面積
40	東方台地遺跡	桑名市東方字尾畑地内	宅地造成	事業者	団地・個人住宅	1,222.0㎡
41	平田遺跡(第19次)	鈴鹿市平田本町一丁目	平田送水場改築	水道局	その他	3,660.0㎡
42	平田遺跡(第20次)	鈴鹿市弓削一丁目	個人住宅	鈴鹿市※	団地・個人住宅	6.0㎡
43	磐城山遺跡(第3次)	鈴鹿市木田町字上條	その他農業	鈴鹿市※	土地改良	740.0㎡
44	神戸中学校遺跡(第4次)	鈴鹿市十宮四丁目	個人住宅	鈴鹿市※	団地・個人住宅	115.0㎡
45	上箕田遺跡(第8次)	鈴鹿市上箕田一丁目	個人住宅	鈴鹿市※	団地・個人住宅	32.0㎡
46	平田遺跡(第21次)	鈴鹿市弓削一丁目	道路	鈴鹿市	道路・河川等	70.9㎡
47	長者屋敷遺跡(第28次)	鈴鹿市広瀬町字中土居	学術研究	鈴鹿市※	その他	59.0㎡
48	平田遺跡(第22次)	鈴鹿市平田本町一丁目	平田送水場改築	水道局	その他	1,380.0㎡
49	口山遺跡(第1次)	鈴鹿市河田町字丸山	個人住宅	個人住宅	団地・個人住宅	114.5㎡
50	鈴鹿関跡	亀山市関町新所字城山	学術研究	国・県・市	その他	100.0㎡
51	亀山城跡	亀山市西丸町	遺跡整備	国・市	その他	94.0㎡
52	亀山城跡	亀山市本丸町	遺跡整備	国・市	その他	136.2㎡
53	多気北高氏遺跡第34次(上多気六田地区第7次)	津市美杉町下多気字六田	学術調査	津市※国補	その他	364.5㎡
54	端山遺跡	津市一志町高野字端山	共同住宅建設	個人	団地・個人住宅	40.0㎡
55	下之川富田遺跡	津市美杉町下之川字富田	風呂屋根橋梁拡張	津市	道路・河川等	69.0㎡
56	蛇亀橋遺跡	松阪市嬉野島田町字焼野	河川改修	原因者	道路・河川等	1,400.0㎡
57	西肥留遺跡	松阪市西肥留町字南浦	道路	原因者	道路・河川等	898.6㎡
58	中林・中道遺跡	松阪市中道町字上野田	宅地造成	原因者	団地・個人住宅	249.0㎡
59	中林・中道遺跡	松阪市中道町字山ノ腰	宅地造成	原因者	団地・個人住宅	542.4㎡
60	金剛坂遺跡(第10次調査)	多気郡明和町大字金剛坂字辰ノ口	個人住宅	明和町	団地・個人住宅	6.0㎡
61	金剛坂遺跡(第9-2次調査)	多気郡明和町大字金剛坂字辰ノ口	道路	明和町	道路・河川等	94.0㎡
62	古堰遺跡(第5-1次調査)	多気郡明和町大字上野字古堰	個人住宅	明和町	団地・個人住宅	12.0㎡
63	古堰遺跡(第5-2次調査)	多気郡明和町大字上野字古堰	個人住宅	明和町	団地・個人住宅	4.0㎡
64	北野遺跡	多気郡明和町大字斎宮字大跡	看板設置	事業者	その他	9.0㎡
65	古堰遺跡(第5-3次調査)	多気郡明和町大字上野字古堰	個人住宅	明和町	団地・個人住宅	4.0㎡
66	古堰遺跡(第5-4次調査)	多気郡明和町大字上野字古堰	個人住宅	明和町	団地・個人住宅	4.0㎡
67	森添遺跡	度会郡度会町上久具字森添	遺跡整備	国・県・度会町	その他	64.0㎡
68	観畑遺跡	志摩市阿児町国府	学校建設	志摩市	その他	122.5㎡
69	上野城跡	伊賀市上野丸之内	市街地再開発ビル建設工事	伊賀市	その他	224.0㎡





## 2 範囲確認調査

### (1) 三重県埋蔵文化財センター担当の範囲確認調査

調査原因	三重県			国・公団				合計			
	農工商工部	県土整備部	その他	国土交通省	高速道路	農林水産省	その他				
件数	8件	6件	1件	8件	3件	0件	0件	26件			
調査面積	2,980.0㎡	140.0㎡	16.0㎡	5,240.0㎡	3,060.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	11,436.0㎡			
いせきめいふりがな	遺跡名	遺跡番号	所在地	結果通知文書番号	調査原因	費用負担者	調査実施日	調査対象面積	調査面積	調査概要	保存対応
でちらいせき	出口遺跡	205-a82	桑名市増田字出口	H23.3.29付 教理第384号	河川改修事業 二見川川川いせき 二見川	県土整備部 河川防砂室	H22.10.29	1,500.0㎡	24.0㎡	遺土を埋没、遺土下には川砂、遺構、遺物とも確認はなし。	慎重工事
くろぼくいせき	黒土遺跡	202-570	四日市市北山町	H22.9.30付 教理第160号	近畿自動車道古原戸線(四日市JCT～亀山西JCT)建設事業	中日本高速道路(株)	H22.8.9～ 9.30	3,600.0㎡	580.0㎡	ごく少数の性格不明のビツ・溝が検出された。遺物なし。	施行可
なかのやまいせき	中野山遺跡	202-238	四日市市北山町字中野山	H22.9.3付 教理第137号	一般国道475号東海環状自動車道建設事業	国土交通省中部地方整備局	H22.8.17～ 8.27	9,360.0㎡	1,020.0㎡	竪穴住居等の遺構と飛鳥時代の土師器、須恵器を確認。	基本調査
なかのやまいせき	中野山遺跡	202-238	四日市市北山町中野山、扇林、谷沢	H23.3.7付 教理第343号	近畿自動車道古原戸線(四日市JCT～亀山西JCT)建設事業	中日本高速道路(株)	H22.11.26～ H23.3.10	38,000.0㎡	1,530.0㎡	竪穴住居、竪柱建物、溝等を確認。弥生土器、土師器、須恵器、石製品が出土。	基本調査
かたやまえいせき	北山A遺跡	202-239	四日市市北山町中野山谷沢、墨土	H23.3.7付 教理第343号	近畿自動車道古原戸線(四日市JCT～亀山西JCT)建設事業	中日本高速道路(株)	H22.11.26～ H23.3.10	19,000.0㎡	950.0㎡	竪穴建物、竪柱建物、溝等を確認。対象地全面には古代の集落跡・弥生時代基壇(溝跡)が存在。	基本調査
なかのやまいせき	中野山遺跡	202-238	四日市市北山町字中野山	H23.1.18付 教理第271号	一般国道475号東海環状自動車道建設事業	国土交通省中部地方整備局	H22.12.22～ 12.24	1,925.0㎡	180.0㎡	ビツ等の遺構を埋没。遺物は弥生土器の小片が出土。	基本調査
あいかわせいほうくいせき	相川西方遺跡	201-b180	津市久原相川町、津市墨土	H22.6.16付 教理第186号	一般国道23号中勢道路建設事業	国土交通省中部地方整備局	H22.4.30～ 6.28	9,400.0㎡	940.0㎡	土坑、溝等を確認。須恵器、山茶碗等が出土。	基本調査
もとみやいせき	本宮遺跡	201-b202	津市久原野村町	H22.9.24付 教理第153号	一般国道23号中勢道路建設事業	国土交通省中部地方整備局	H22.7.29～ 9.15	8,700.0㎡	400.0㎡	竪穴住居跡やビツを埋没。土師器、弥生土器が出土。	基本調査
とりばみじょうあと	鳥羽見城跡	201-a789	津市神戸	H22.10.14付 教理第176号	一般国道23号中勢道路建設事業	国土交通省中部地方整備局	H22.8.30～ 10.13	4,400.0㎡	410.0㎡	遺構、遺物とも確認はなかった。	施行可
かみはんのきこふん	上はんの木古墳	201-a788	津市神戸	H22.10.14付 教理第176号	一般国道23号中勢道路建設事業	国土交通省中部地方整備局	H22.8.30～ 10.13	1,800.0㎡	190.0㎡	遺構・遺物なし。上はんの木古墳としていた高まりは、自然地形であることが判明。	施行可
しろのこいせき	城ノ越遺跡	210-b191	津市久原小野辺町	H22.12.15付 教理第234号	一般国道23号中勢道路建設事業	国土交通省中部地方整備局	H22.9.24～ 12.13	11,730.0㎡	1,070.0㎡	遺構、遺物とも確認はなかった。	施行可
ひがしやまがみいせき	東山神遺跡	210-b192	津市久原小野辺町・久原野村町	H22.12.15付 教理第234号	一般国道23号中勢道路建設事業	国土交通省中部地方整備局	H22.9.24～ 12.13	11,300.0㎡	1,030.0㎡	遺構、遺物とも確認はなかった。	施行可
のとせびいせき	野登園B遺跡	201-j25	津市美杉町下多瓦	H22.11.1付 教理第193号	(土)一志美杉線東山道路改良事業	県土整備部 道路整備室	H22.10.20	650.0㎡	32.0㎡	土坑、ビツを確認。中世の土師製土器片が出土。	基本調査
やまむらいせき いけだしいせき ままいせき	山室遺跡 赤田遺跡 前遺跡	201-b207 201-b174 201-b175	津市牧町山室、油田、前	H22.11.25付 教理第220号	経堂体育成基整備事業(桃園西部地区)	農水商工部 農業基金室	H22.10.18～ 11.10	11.0㎡	1,288.0㎡	中世の火葬墓群を検出した。弥生時代の遺構が推測される。赤田遺跡、前遺跡は山室遺跡へ之統合。	基本調査
はったがいせき	八田垣内遺跡	201-b208	津市牧町八田垣内	H22.11.25付 教理第220号	経堂体育成基整備事業(桃園西部地区)	農水商工部 農業基金室	H22.10.18～ 11.10	192,900.0㎡	1,288.0㎡	旧渡路だが、微高地で埋入りの土坑が検出された。	基本調査
じょうどういせき	地蔵堂遺跡	201-b209	津市牧町地蔵堂	H22.11.25付 教理第220号	経堂体育成基整備事業(桃園西部地区)	農水商工部 農業基金室	H22.10.18～ 11.10	11.0㎡	1,288.0㎡	遺跡全体が近代の洪水運搬砂で形成されていた。弥生土器、土師器、須恵器出土。	基本調査
ひがしがいせき	東垣内遺跡	201-j116	津市美杉町川上字前原上	H23.3.23付 教理第371号	自然災害防止事業	環境森林部 森林保全課	H23.3.22	294.0㎡	16.0㎡	遺構・遺物なし。遺跡の中心は東部の平坦地(畑)か。	施行可
せぎいせき	瀬木遺跡	201-j40	津市美杉町竹原	H23.3.11付 教理第355号	地域活力基盤創出交付金事業(美杉杉原(竹原)BP)	県土整備部 道路整備室	H23.3.9	600.0㎡	16.0㎡	2力所の調査からビツ、板石とみられる平石2基を確認。	基本調査

いせきのい りか	道 路 名	道 路 番 号	所 在 地	調 査 原 因	調 査 実 施 日	調 査 対 象 面 積	調 査 面 積	調 査 概 要	保 存 対 応		
うめがひらいせき	横ヶ広通路	201-41	津市美杉町八手坂	H23.3.11付 教理第356号	地方特定道路 敷設事業(主) 松坂青山線 (横ヶ広)	国土整備部 道路整備室	H23.3.9 1,200.0㎡	24.0㎡	遺構なし。遺物は基石1点。安定した基礎層が存在しない。	施工可	
あきみいせき	朝泉通路	204-a838	松坂市立田町上七見町・和泉町	H22.10.29付 教理第192号	経営体育成基 盤整備事業 (朝見上地区)	農水商工部 農業基盤室	H22.9.14~ 10.6	162,000.0㎡	1,437.0㎡	各層区画が異なる。溝、墓室土器、弥生土器等を確認。	基本調査
たまるみらいせき	田丸通路	461-467	度会郡玉城町妙法寺	H22.4.5付 教理第9号	経営体育成基 盤整備事業 (有田地区)	農水商工部 農業基盤室	H22.4.5	1,100.0㎡	14.0㎡	ピット、落ち込み等を確認。土師器、青磁・青磁碗等が出土。	基本調査
たまるみらいせき	田丸通路	461-467	度会郡玉城町妙法寺	H23.1.28付 教理第288号	経営体育成基 盤整備事業 (有田地区)	農水商工部 農業基盤室	H22.11.17	500.0㎡	10.0㎡	溝溝、遺物とも確認されなかった。	施行可
いわさきいせき	岩崎通路	203-c24	伊勢市小保町新科字岩崎	H23.1.7付 教理第285号	経営体育成基 盤整備事業 (小保地区)	農水商工部 農業基盤室	H22.10.25	350.0㎡	10.0㎡	宮川下流域の沖積地に立地。遺構・遺物は検出されなかった。	施行可
おきうちしちゅうせいばざいりょうやまのたごころふんべんざいりょうよしだごころふんべん	沖打越中世墓、才良山ノ谷古墳群、才良山ノ谷古墳群	216-a1247 216-a1265 216-a1262	伊賀市沖字打越、伊賀市才良山ノ谷・吉田町	H22.12.27付 教理第245号	県免農道事業 (依那古2期地区)	農水商工部 農山漁村室	H22.6.22~ 10.29	10,500.0㎡	221.0㎡	才良山ノ谷古墳群では古墳周溝と考えられる。才良山ノ谷古墳群では古墳状の高まり(才良山古田8号墳)を確認。	基本調査
とんこぼち	十之乙墓地	216-a956	伊賀市三田字沢	H23.3.7付 教理第347号	国補道路改良 工事一般国道 422号三田坂 バイパス	国土整備部 道路整備室	H22.11.9, 11.10	500.0㎡	32.0㎡	表土下に花崗岩からなる同様な砂質土を確認。遺構・遺物なし。	施行可
ふるやしきいせき	古屋敷通路	216-a1146	伊賀市大字東高倉字東出	H23.3.22付 教理第369号	道路改良事業 (一)高倉仮閉 具敷	国土整備部 道路整備室	H23.3.16	362.0㎡	12.0㎡	遺構なし。土師器が少量出土。	施工可

(2) 市町機関担当の範囲確認調査

(※印は国・県補助事業)

調査原因	土地改良	道路・河川等	ゴルフ場	団地・個人住宅	工場造成地	土取り等	その他	総計
件数	0件	11件	0件	82件	1件	4件	39件	137件
面積	0.0㎡	1,153.0㎡	0.0㎡	2,099.4㎡	18.0㎡	2,211.3㎡	1,674.5㎡	7,156.2㎡

いせきのい りか	道 路 名	道 路 番 号	所 在 地	調 査 原 因	調 査 実 施 日	調 査 対 象 面 積	調 査 面 積	調 査 概 要	保 存 対 応	
けんじょういせき	見上通路	214-c143	いなべ市大安町大井田	市道建設	いなべ市	H23.3.14, 3.15	1,682.0㎡	道路・河川等 143.0㎡	壁穴建物跡、軒柱、土師器、山漆碗等出土。	記録保存
せいちいせき	勢い口通路	209-a128	桑名市江塚字勢い口	専用住宅	事業者	H22.9.9	2,482.0㎡	個人・個人住宅 40.3㎡	中世の遺物包舎層を確認したが、顕著な遺構は検出されず。土師器、山漆碗等が少量出土。	要工事立会
たごびいせき	多度目通路	205-6044	桑名市多度町多度字山下	排水路整備	桑名市	H23.3.14	75.9㎡	道路・河川等 8.0㎡	中世の遺物包舎層を確認したが、顕著な遺構は検出されず。土師器、山漆碗、古瀬戸等が出土。	要工事立会
いじいせき	井沢通路	343-11	三重郡日野町神字元部	共同住宅	事業者	H22.6.22	366.0㎡	個人・個人住宅 4.0㎡	遺構・遺物なし。	
もちぶくようあさとこのうらいせき	茂福通路・里之内	202-253 202-584	四日市市茂福町	宅地分譲	事業者	H22.5.18	377.4㎡	個人・個人住宅 32.0㎡	青磁碗の破片出土。遺構確認されず。	施工可
くらべいせき	久留野通路	202-74	四日市市大矢知町	個人住宅建設	四日市市	H22.6.21	79.1㎡	個人・個人住宅 16.0㎡	土器片少量出土。遺構確認されず。	施工可
かひいせき	貝野通路	202-124	四日市市東飯部町宇敷ノ郷	個人住宅建設	四日市市	H22.6.24	53.9㎡	個人・個人住宅 12.0㎡	遺構・遺物確認されず。	施工可
あがりいせき	上里通路	202-152	四日市市久保田二丁目	貸事業所新築	事業者	H22.7.1	279.3㎡	その他 16.0㎡	遺構・遺物確認されず。	施工可
かひいせき(えんなんがいせき)	海星学園内通路	202-189	四日市市湯分一丁目	個人住宅建設	四日市市	H22.8.11	118.8㎡	個人・個人住宅 16.0㎡	遺構・遺物確認されず。	施工可
つじがいせき	辻内通路	202-141	四日市市尾平町字地内	個人住宅建設	四日市市	H22.8.19	79.5㎡	個人・個人住宅 16.0㎡	遺構・遺物確認されず。	施工可
かんのじあつ	観音寺跡	202-252	四日市市津津字飯城坂	販売住宅建設	事業者	H22.8.23	175.4㎡	個人・個人住宅 16.0㎡	遺構・遺物確認されず。	施工可
かんのじあつ	観音寺跡	202-252	四日市市飯部町字高山	宅地造成及び介護老人福祉施設新築	事業者	H22.8.24, 10.6	2,510.9㎡	その他 128.0㎡	遺構・遺物確認されず。	施工可
ほとこうらうあつ	鳩浦古宮跡	202-81	四日市市大矢知町字鳩浦	土取り	事業者	H22.10.18	1,860.0㎡	土取り等 190.0㎡	須恵器破片出土。遺構確認されず。	施工可
しものみやいせき	下之宮通路	202-512	四日市市下之宮町字神宮地	宅地分譲	事業者	H22.10.29	269.0㎡	個人・個人住宅 32.0㎡	土師器・中世陶器・山漆碗の破片出土。遺構確認されず。	施工可







いせきのいふりがな	道 跡 名	道 跡 番 号	所 在 地	調 査 原 因	調 査 負 担 者	調 査 実 施 日	調 査 対 象 区 域	分 調 査 面 積	調 査 概 要	保 存 対 応	
かみでらいせき	上寺道跡	216-a715	伊賀市栗原ノノ井	無経路施設	企業	H22.6.14	875.0㎡	その他	18.0㎡	遺構・遺物なし	施工可
ねほんぼういせき	根本坊道跡	216-a216	伊賀市桑江ノ町	宅地造成	企業	H22.6.28、6.29	9,715.0㎡	団地・個人住宅	140.5㎡	若干の遺構・微量の土師器片	施工可
うえのこうかいせき	上野城下町道跡	216-a1230	伊賀市上野田町	宅地造成	企業	H22.7.5	4,600.8㎡	団地・個人住宅	113.1㎡	遺構・微量の陶磁器片	施工可
うえのこうかいせき	上野城下町道跡	216-a1230	伊賀市上野田町	宅地造成	企業	H22.9.27	1,204.7㎡	団地・個人住宅	20.7㎡	遺構・遺物なし	施工可
ほつしりやかとあ	服部氏館跡	216-c04	伊賀市東湯川	放課後児童クラブ新築工事	個人	H22.10.8～10.18	100.0㎡	その他	-	土器基礎部・遺物なし	施工可
うえのこうかいせき	上野城下町道跡	216-a1230	伊賀市上野西大町	集合住宅新築	企業	H22.10.26	561.3㎡	団地・個人住宅	17.2㎡	遺構・遺物なし	施工可
たかばけいせき	高保道跡	216-a972	伊賀市高保	市道西明幸一之宮東修繕歩道新築工事	伊賀市	H22.12.17、H23.1.26	493.0㎡	道路・河川等	-	遺構・遺物なし	施工可
うえのこうかいせき	上野城下町道跡	216-a1230	伊賀市上野相摩町	放課後児童クラブ新築工事	伊賀市	H23.2.18	198.8㎡	その他	13.7㎡	遺構・遺物なし	施工可
はやまひせき	羽山道跡	562-a5	熊半農部紀宝町大字	道路拡幅工事	紀宝町	H22.8.30	1,331.0㎡	道路・河川等	11.4㎡	平地の部分328㎡で遺構・遺物を確認。	本調査
なるかわいせき	成川道跡	562-a14	熊半農部紀宝町成川	成川小学校改築工事	紀宝町	H23.3.29	798.3㎡	その他	9.0㎡	遺構・遺物なし	施工可

### 3 工事立会

#### (1) 三重県埋蔵文化財センター担当の工事立会

調査原因	三 重 県			国 ・ 公 団				合計
	農水商工部	県土整備部	その他	国土交通省	高速道路	農林水産省	その他	
件数	5件	7件	13件	1件	1件	0件	0件	27件
調査面積	712.0㎡	243.5㎡	249.8㎡	16.0㎡	100.0㎡	0.0㎡	0.0㎡	1,321.3㎡

いせきのいふりがな	道 跡 名	道 跡 番 号	所 在 地	調 査 実 施 日	結果通知 文書番号	調 査 原 因	費 用 負 担 者	調 査 面 積	調 査 概 要
しものうらいせき	下野代道跡	205-b235	桑名市多度町大字下野代	H22.7.1～ H22.10.13付 10.8	H22.7.22付 教理第172号	一般国道256号 歩道整備工事 事業	国土交通省北勢 国道事務所	16.0㎡	遺構・遺物ともに確認されなかった。
くわなこうかいせき	桑名高校遺物出土地点	205-a	桑名市東方	H22.7.14	H22.7.22付 教理第102号	桑名高等学校 遷り跡下新築 工事	教育委員会 学校施設課	8.0㎡	校舎建設で掘乱されており遺構・遺物ともに確認されなかった。
くわなこうかいせき	桑名高校遺物出土地点	205-a	桑名市東方	H22.9.6	H22.10.16付 教理第210号	桑名高等学校 屋外トイレ、渡り廊下、倉庫新築工事	教育委員会 学校施設課	12.0㎡	掘削は造成途中に留まり、遺構・遺物ともに確認されなかった。
おかやまいせき	岡山道跡	202-182	四日市市泊町	H22.8.11	H23.3.23付 教理第378号	西日市南高校 特別教室棟・トイレ改修工事等	教育委員会 学校施設課	26.0㎡	遺構・遺物なし。学校建設の際に、削平されたものとみられる。
きたやまへいせき	北山A道跡	202-239	四日市市北山町	H23.1.18	H23.1.24付 教理第272号	近畿自動車道 名古屋神戶線 （四日市JCT～亀山JCT）建設事業	中日本高速道路 （株）	100.0㎡	少量のピットが掘出されたが、遺物の出土はなかった。
こくりつうようしういせき	国立療養所道跡	207-524	鈴鹿市加佐登町宇王塚	H22.4.26	H22.5.12付 教理第48号	プランク、鉄棒設置	教育委員会 杉の子特別支援学校	5.0㎡	遺構、遺物ともになし。当該箇所は削平を受けている。
ほんだまちいせき	本多町道跡	207-416	鈴鹿市神戶宇本多町	H22.6.29	H22.7.6付 教理第81号	神戶高等学校 給水管改修工事	教育委員会 学校施設課	2.8㎡	掘削は造成途中に留まり、遺構・遺物ともに確認されなかった。
こくりつうようしういせき	国立療養所道跡	207-524	鈴鹿市加佐登町宇王塚	H23.1.26	H23.3.16付 教理第362号	杉の子特別支援学校 校舎工事	教育委員会 杉の子特別支援学校	10.0㎡	平成20年度調査区の北隣。遺構は溝1条を確認したのみ。
にゅうまたはげわらいせき	丹生保原道跡	201-j29	津市美杉町丹生保	H22.4.14	H22.4.16付 教理第22号	国災51号一級 河川八手保川 災害復旧	農土整備部 施設災害プロジェクト	1.5㎡	掘地地下60mで地山を掘削。遺構・遺物は確認されなかった。
きどいせき	木戸道跡	201-j35	津市美杉町丹生保	H22.5.28	H22.7.6付 教理第80号	国災51号一級 河川八手保川 災害復旧	農土整備部 施設災害プロジェクト	8.0㎡	護岸石積み除去では遺構・遺物ともに確認されなかった。
のうもいせき	納所道跡	201-a34	津市納所	H22.11.8	H23.3.1付 教理第323号	道路改築事業 （主）津雲濃大 山田線（安東大橋）	農土整備部 道路整備課	30.0㎡	掘削周辺の立会、掘と砂が確認されず。
あのうちようあと	安濃城跡	201-f595	津市安濃町安濃	H23.11.11	H23.3.29付 教理第389号	小規模地山事業 東天伯地区	環境森林部 森林保全室	34.0㎡	削られる部分を含む平坦面を平板調査し、記録した。
こういせき	高佐道跡	201-c28	津市河雲町高佐	H23.1.25	H23.3.29付 教理第382号	経営体育成基 整備事業（高佐地区）	農水商工部 農業基盤課	120.0㎡	1m前後の掘土下に灰色粘質土が堆積。遺構・遺物は確認されなかった。
さとのうちいせき	里ノ内道跡	201-g55	津市五雲町北神山字里ノ内	H23.1.14	H23.3.29付 教理第391号	経営体育成基 整備事業（五雲南部地区）	農水商工部 農業基盤課	50.0㎡	農道を形成する掘土下に褐色系砂質土の堆積を確認。遺構・遺物なし。

いせきめい ふりがな	遺跡名	遺跡番号	所在地	調査実施日	結果通知 文書番号	調査原因	費用負担者	調査面積	調査概要
たけはらながが いとせき	竹原中堀内遺跡	201-42	津市美利村竹原中堀内	H23.11.20	H23.3.29付 教理第388号	自然災害防止 事業(中原地 区)	環境森林部 森林保全室	4.0㎡	該当箇所は遺物の散布が みられるものの、盛土に よって形成されており、工 事は地山直まで及ばない ことが判明した。
まつさきじょう かまちいせき	松坂城下町遺跡	204-a769	松坂市本町	H22.11.2~ 12.22	H23.1.12付 教理第264号	県道松坂公園 大橋(歩道) 地方特定道路 整備工事(電線 共同溝)	県土整備部 都市政策室	106.0㎡	「大手町下丁」の道路南 で、江戸時代の橋脚等を 確認。
なかのいせき	中野遺跡	204-a576	松坂市小阿波町字 中野	H22.9.20	H23.3.1付 教理第322号	自然災害防止 事業	環境森林部 森林保全室	7.2㎡	遺構・遺物とも確認され ず、基壇は否墳であるか 判定できず
おうかてばりい せき	相出出張遺跡	441-a428	多気町相可	H22.12.21~ H23.1.27	H23.3.10付 教理第351号	相可高等学校 新実習棟建築 工事事業	教育委員会 学校施設室	123.0㎡	中世の溝、土坑を確認。大 溝が更に南側へと続くこと も確認。
このはたいせき	コノハタ遺跡	441-a288	多気町野中宇コノハ タ	H22.11.21	H23.3.29付 教理第390号	経営体育成基 盤整備事業(野 中・成川地区)	農水商工部 農業基盤室	10.0㎡	既存の用水路を管水路に 更新する工事。掘削に立ち 会ったが、ほぼ整備工事の 際に改良されているものと みられる。
もばらいせき	茂原遺跡	443-b5	大町茂原	H22.12.20	H23.3.29付 教理第394号	語学園高校防 球ネット設置工 事	教育委員会 学校施設室	10.0㎡	全域で豊土とみられる褐色 系砂質土が確認された。
とみおさきとら うらいせき	富岡里塚遺跡	461-400	玉城町富岡字里塚	H22.12.19	H23.3.29付 教理第387号	県道伊勢多気 線あんしん路開 通事業	県土整備部 道路整備室	50.0㎡	工事箇所は盛土であると 判明。遺構遺物とも確認さ れなかった。
しもぎといせき	下里遺跡	461-402	玉城町玉川字下里	H23.2.28~ 3.8	H23.3.10付 教理第350号	経営体育成基 盤整備事業(有 地地区)	農水商工部 農業基盤室	140.0㎡	遺構・遺物なし。水田耕作 面が調査区まで広がって いたか。
たかがわらい せき	高河原遺跡	203-a32	伊勢市宮後・一之木	H22.12.6~ H23.1.19	H23.3.23付 教理第377号	新国造電線共 同溝整備事業 事業	県土整備部 都市政策室	40.0㎡	用水路または池状構構を 検出し、中世遺物を豊富 に出土した。
りきゆういんあ と	離宮院跡	203-c3	伊勢市小俣町元町	H23.3.1	H23.3.10付 教理第352号	信号機設置事 業(小俣小南交 差点)	警察本部 交通部交通規制 課	2.0㎡	墓塔の出土層から土器片 が出土。褐色系盛土も確 認。
ゆたのいせき	湊田野遺跡	203-b105	伊勢市小俣町湊田 野	H22.5.12	H23.3.29付 教理第386号	宮川流域下水 道 宮川幹線 (第11工区)管 渠工事	県土整備部 下水道室	8.0㎡	盛土下に柔らかな黒褐色 粘質土が確認。遺構・遺物 なし。
ふけいせき	神毛遺跡(第2次)	216-a705	伊賀市大野木字高 定	H22.10.12	H22.12.29付 教理第247号	広域農道事業 伊賀二期地区	農水商工部 農山村室	392.0㎡	6世紀末~7世紀初頭の堅 穴住居、掘立柱建物、土 器等を確認。
みずえいせき	水衛遺跡	216-b207	伊賀市川東	H22.7.21	H23.3.29付 教理第393号	あけぼの高校 給水管、消火 管改修工事	教育委員会 学校施設室	6.0㎡	グラウンド土砂の直下に溝、 粘土があった。遺構・遺物 なし。

## (2) 市町機関担当の工事立念

調査原因	土地改良	道路・河川等	ゴルフ場	団 地 ・ 住 宅	工場造成	土 取 り 等	そ の 他	総 計
件数	0件	6件	0件	107件	0件	2件	100件	215件
面積	0.0㎡	344.7㎡	0.0㎡	16,481.7㎡	0.0㎡	2,355.0㎡	6,958.4㎡	26,139.8㎡

いせきめい ふりがな	遺跡名	遺跡番号	所在地	調査実施日	調査原因	費用負担者	区分	調査面積	調査概要
れんぎょういせき	蓮歌寺遺跡	205-a97	桑名市大字志知鎮守堂	H22.5.28, 7.5	個人住宅	桑名市	田地・個人住宅	106.3㎡	ブロック積みの際に立念。掘 削が遺構面まで到達しな かった。鋼管杭打設時立 念。遺構・遺物確認できず。
くわなじょうあと	桑名城跡	205-a100	桑名市吉之丸	H22.5.31	電柱	桑名市	その他	1.0㎡	小面積のため遺構は確認で きず。近世陶磁器が少量出 た。
にしかただいりち いせき	西方台地B遺跡	205-a94	桑名市大字上野字下夕之 割	H22.6.3	鍵売住宅	桑名市	田地・個人住宅	53.0㎡	駐車場掘削時立念。以前の 造成による地山の削平を確 認。遺構・遺物検出されず。
くわなじょうかまち いせき	桑名城下町遺跡	205-a99	桑名市伊賀町	H22.6.23	個人住宅	桑名市	田地・個人住宅	52.2㎡	柱状改良時立念。遺構・遺 物は確認できず。
くわなじょうかまち いせき	桑名城下町遺跡	205-a99	桑名市相生町	H22.6.25	個人住宅	桑名市	田地・個人住宅	62.0㎡	柱状改良時立念。遺構・遺 物は確認できず。
くわなじょうあと	桑名城跡	205-a100	桑名市吉之丸	H22.7.9	個人住宅	桑名市	田地・個人住宅	66.7㎡	水道管引き込み時立念。遺 構部分は遺構掘削時に削平 されていたが、宅地部分は 遺構・遺物出土せず。

いせきのい ふりがな	遺跡名	遺跡番号	所在地	調査実施日	調査原因	費用負担者	区分	調査面積	調査概要
くわなじょうかまちい せき	桑名城下町遺跡	205-a99	桑名市入江森町	H22.7.12	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	72.6㎡	柱状改良時立会い。遺構・遺物確認できず。
くわなじょうあと	桑名城跡	205-a100	桑名市吉之丸	H22.8.4, 10.26	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	55.5㎡	調査機打設時立会い。遺構・遺物は確認できず。 調査機打設立会い。地表より0.5mの範囲で、明治以降のレンガ基礎を検出。遺物は出土せず。
ながしまじょうかまちい せき	長島城下町遺跡	205-e14	桑名市長島町又木市街 字松沢	H22.8.12	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	50.6㎡	柱状改良時立会い。遺構・遺物確認できず。
くわなじょうかまちい せき	桑名城下町遺跡	205-a99	桑名市新屋敷	H22.8.24, 8.26	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	129.2㎡	調査機打設時立会い。遺構・遺物確認できず。深基礎部分立会い。掘削が遺構まで到達せず。遺物も出土せず。
くわなじょうかまちい せき	桑名城下町遺跡	205-a99	桑名市船馬町	H22.10.7	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	78.2㎡	基礎施工時立会い。掘削が遺構まで到達せず。遺物も出土せず。
くわなじょうかまちい せき	桑名城下町遺跡	205-a99	桑名市職人町	H22.10.12	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	48.0㎡	柱状改良時立会い。地表より1mで青灰色混土層を確認。近世の増積層の可能性が高い。近世陶磁器、瓦などが出土。
しちみなみらいせき	志知南浦遺跡	205-a59	桑名市大字志知	H22.10.21	電柱	桑名市	その他	1.0㎡	地表より1mまでは近年の擾乱。1.7mまで掘削したが小面積の為遺構・遺物確認できず。
くわなじょうかまちい せき	桑名城下町遺跡	205-a99	桑名市伊賀町	H22.10.29	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	59.8㎡	ベタ基礎施工時立会い。盛土内を0.2m掘削したのみ。遺構・遺物も出土せず。
くわなじょうあと	桑名城跡	205-a100	桑名市吉之丸	H22.11.9	ガス管敷設	桑名市	その他	25.8㎡	地表より0.7mまでは近代以降のレンガ基礎による埋戻。埋戻土下は近世の骨格層の可能性があるが、遺物が出土しなかったため不明。
くわなじょうあと	桑名城跡	205-a100	桑名市三之丸	H22.12.9	抜根	桑名市	その他	2.615.5㎡	積載の抜根による破壊部分立会い。盛土内での掘削のため、遺構・遺物検出されず。
くわなじょうかまちい せき	桑名城下町遺跡	205-a99	桑名市風呂町	H23.1.13	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	10.3㎡	基礎施工時立会い。掘削が遺構まで到達せず。近世の陶磁器が出土。
さくどらいせき	榎戸遺跡	205-a75	桑名市大字榎田中編	H23.1.18	携帯電話基地 地	桑名市	その他	1.0㎡	地表より6m掘削。遺構・遺物検出されず。
うがいせき	宇賀遺跡	205-a80	桑名市大字蓮花寺宇西 広	H23.1.19	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	96.3㎡	基礎施工時立会い。掘削が遺構まで到達せず。遺物も出土せず。
くわなじょうあと	桑名城跡	205-a100	桑名市吉之丸	H23.2.7	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	54.7㎡	調査機打設時立会い。遺構・遺物確認できず。
しんいすいかげいせき	新井水掛遺跡	205-a38	桑名市大字大仲新田字 新井水掛	H23.2.10	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	95.3㎡	調査機打設時立会い。遺構・遺物確認できず。
こじょういせき	古城遺跡	205-a65	桑名市大字友村	H23.2.10~ 2.25	水道敷設	桑名市	団地・個人住宅	150.0㎡	地表より0.8~1.3mを掘削。遺構・遺物検出されず。盛土内での掘削のため、遺構・遺物検出されず。最底部で青灰色土層を確認したが時期不明。
あたごちゆうせいぼ ぐん	愛宕中世墓群	205-b10	桑名市多度町多度	H23.2.22	積載	桑名市	その他	8.2㎡	小室構のため遺構は確認できず。遺物は火葬骨の入った中世常陸型が出土。その他、古瓦片、五輪塔の残欠を把握。
すなだいせき	砂田遺跡	205-b71	桑名市多度町力尾	H23.3.4	学校建設	桑名市	その他	100.0㎡	基礎施工時立会い。盛土内での掘削のため、遺構・遺物検出されず。
くわなじょうかまちい せき	桑名城下町遺跡	205-a99	桑名市南魚町	H23.3.7	文化財ガイド 板設置	桑名市	その他	1.0㎡	小室構のため、遺構・遺物確認できず。
くわなじょうかまちい せき	桑名城下町遺跡	205-a99	桑名市伝馬町	H23.3.15	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	87.5㎡	柱状改良時立会い。地表より0.2mで戦災復興層を確認。近世陶磁器出土。
てらあといせき	寺跡遺跡	205-a130	桑名市大字大福字寺跡	H23.3.24, 3.31	共同住宅	桑名市	団地・個人住宅	1,179.0㎡	調査機打設時立会い。盛土内下。地表より0.2mで中世の遺物包含層を確認。遺物は土器類等がくわらずに出土。
くわなじょうあと	桑名城跡	205-a100	桑名市大字大福字寺跡	H23.3.28	個人住宅	桑名市	団地・個人住宅	56.3㎡	調査機打設時立会い。遺構・遺物確認できず。
かきじょうあと	柿城跡	343-10	三重郡朝日町柿字城/広	H22.6.16	その他(斜面 成敷)	事業者	その他	15.0㎡	遺構・遺物なし
はづりあいせき・きた のわきいせき	羽津広遺跡・北之脇 遺跡	202-336 202-405	四日市市大久知町	H22.4.8	店舗	事業者	その他	11.0㎡	遺構・遺物なし
しものみやいせき	下之宮遺跡	202-512	四日市市下之宮町	H22.4.30	ガス管理設	事業者	その他	36.0㎡	遺構・遺物なし
にしがたにいせき・に しがたにこうあどく ん	西ヶ谷遺跡・西ヶ谷古 墓跡群	202-128 202-127 202-540	四日市市坂部台二丁目	H22.5.6	土敷・土留構 造	事業者	土取り等	495.0㎡	遺構・遺物なし



いせきのいふりがな	通称名	通称番号	所在地	調査実施日	調査原因	費用負担者	区分	調査面積	調査概要
あかほりいせき・あかほりじょうあと	赤堀通称・赤堀城跡	202-518 202-290	四日市市城東町～赤堀二丁目	H22.5.14	ガス管入替	事業者	その他	52.0㎡	遺構・遺物なし
うちだにいせき	内谷通称	202-412	四日市市大字泊宇路井ノ原	H22.6.14	個人住宅解体・新築	事業者	団地・個人住宅	791.8㎡	遺構・遺物なし
かんのじんといかるがびにいせき	観音寺跡・斑鳩石遺跡	202-252 202-516	四日市市大字羽津字斑鳩	H22.6.24	個人住宅	事業者	団地・個人住宅	30.7㎡	遺構・遺物なし
ふるさとにいせき	古里通称	202-522	四日市市永五丁目	H22.7.21	共同住宅	事業者	団地・個人住宅	936.7㎡	遺構・遺物なし
ふるでんいせき	風呂田通称	202-464	四日市市大字松本	H22.8.24	個人住宅解体	事業者	団地・個人住宅	193.4㎡	遺構・遺物なし
あかほりいせき・あかほりじょうあと	赤堀通称・赤堀城跡	202-518 202-290	四日市市城東町	H22.8.25	共同住宅	事業者	団地・個人住宅	644.9㎡	遺構・遺物なし
かいのいせき	貝野通称	202-124	四日市市東坂町	H22.10.13	個人住宅解体	事業者	団地・個人住宅	330.9㎡	遺構・遺物なし
はとらこうようあと	鳩通古家跡	202-81	四日市市大文知町字鳩通	H22.10.18	土取り	事業者	土取り等	1,860.0㎡	遺構・遺物なし
かんのじんと	観音寺跡	202-252	四日市市大字羽津	H22.10.23	ガス管理設	事業者	その他	44.2㎡	遺構・遺物なし
おおこのいせき	大西野通称	202-387	四日市市南小松町字大西野	H22.10.28	携帯基地局設置	事業者	その他	4.0㎡	遺構・遺物なし
きたなかでらいせき	北中寺通称	202-156	四日市市石塚町	H22.11.24	事務所	事業者	その他	977.8㎡	遺構・遺物なし
しものみやいせき	下之宮通称	202-512	四日市市下之宮町	H23.1.24	個人住宅	事業者	団地・個人住宅	186.8㎡	遺構・遺物なし
ひがしがたにいせき	東ヶ谷通称	202-128	四日市市小杉新町	H23.1.24	ガス管理設	事業者	その他	10.6㎡	遺構・遺物なし
かいのいせき	貝野通称	202-124	四日市市西坂町	H23.2.9	個人住宅	事業者	団地・個人住宅	332.5㎡	遺構・遺物なし
でじやまようあと	出城山城跡	202-280	四日市市智積町字一生吹	H23.2.10	送電鉄塔フェンス設置	事業者	その他	24.0㎡	遺構・遺物なし
かいのいせき	貝野通称	202-124	四日市市西坂町	H23.2.12	ガス管理設	事業者	その他	67.2㎡	遺構・遺物なし
ひらどやまいせき	平山通称	202-283	四日市市青葉町	H23.3.1	ガス管理設	事業者	その他	240.9㎡	遺構・遺物なし
ひがしがたにいせき	東ヶ谷通称	202-128	四日市市小杉新町	H22.12.9～ 12.14	下水管理設	四日市市	その他	700.0㎡	遺構・遺物なし
だいぜんじあと	大膳寺跡	202-89	四日市市大字羽津町字大谷	H22.5.20～ 6.30	個人住宅・建替	事業者	団地・個人住宅	188.8㎡	遺構・遺物なし
ながらいせき	永井通称	202-137	四日市市尾平町字石塚	H22.6.15～ 6.21	個人住宅	事業者	団地・個人住宅	220.4㎡	遺構・遺物なし
よねだにいせき	米田通称	202-531	四日市市小古曾二丁目	H23.1.24～ 1.26	道路・河川等	四日市市	道路・河川等	90.7㎡	遺構・遺物なし
いせあんこじあと	伊勢安国寺跡	202-292	四日市市西日野町	H23.1.25～ 1.28	下水管理設	四日市市	その他	43.0㎡	遺構・遺物なし
かいのいせき	貝野通称	202-124	四日市市西坂町・東坂町	H23.1.16～ 3.7	下水管理設	四日市市	その他	230.0㎡	遺構・遺物なし
しものみやいせき	下之宮通称	202-512	四日市市下之宮町	H23.1.6 2.7	建売新築	事業者	団地・個人住宅	354.7㎡	遺構・遺物なし
きたやまじょうあと	北山城跡	202-237	四日市市北山町	H23.1.11 3.14	石碑・灯籠の移設	事業者	その他	8.3㎡	遺構・遺物なし
ながいみなみいせき	永井南通称	341-97	笠野町大字永井	H22.6.4	電柱補強	事業者	その他	1.8㎡	遺構・遺物なし
こもじょうあと	笠野城跡	341-53	笠野町大字笠野	H22.4.27	仮校舎建設	教育委員会	その他	533.8㎡	遺構・遺物なし
みっかいちがしいせき	三日市東通称	207-1258	鈴鹿市三日市二丁目	H22.4.2	個人住宅建設	原因者	団地・個人住宅	20.0㎡	遺構・遺物なし
てんのういせき	天王通称	207-873	鈴鹿市岸岡町字山田	H22.4.7	個人住宅建設	原因者	団地・個人住宅	6.0㎡	遺構・遺物なし
かやまらいせき	笠野通称	207-167	鈴鹿市神戸八丁目	H22.4.8	個人住宅建設	原因者	団地・個人住宅	1.2㎡	遺構・遺物なし
いまむらびいせき	今村B通称	207-917	鈴鹿市福生塩屋三丁目	H22.4.14	個人住宅建設	原因者	団地・個人住宅	0.5㎡	遺構・遺物なし
こくぶきたいせき	国分北通称	207-536	鈴鹿市国分町字八幡前	H22.5.10	電柱取付工事	原因者	その他	0.9㎡	遺構・遺物なし
かんべちゅうがっういせき	神戸中学校通称	207-168	鈴鹿市神戸七丁目	H22.5.7	電柱取付工事	原因者	その他	2.1㎡	遺構・遺物なし
みなみじょうえいいせき	南栄A通称	207-918	鈴鹿市八野町字南栄	H22.5.12	個人住宅建設	原因者	団地・個人住宅	10.0㎡	遺構・遺物なし
はこづかいせき	箱塚通称	207-1190	鈴鹿市白子町	H22.5.18	電柱取付工事	原因者	その他	2.4㎡	遺構・遺物なし
かやまらいせき	笠野通称	207-167	鈴鹿市神戸八丁目	H22.5.21	ガス管理設・撤去工事	原因者	その他	50.6㎡	遺構・遺物なし
いちのつばいせき	市ノ坪通称	207-890	鈴鹿市北郷江一丁目	H22.6.1	浄化槽設置	原因者	団地・個人住宅	6.0㎡	遺構・遺物なし
きしおかやま直いせき	岸岡山丘通称	207-889	鈴鹿市江島町	H22.6.10	個人住宅建設(公共下水接続)	鈴鹿市	団地・個人住宅	1.5㎡	遺構・遺物なし
おかだじんじいせき	岡太神社通称	207-1182	鈴鹿市弓削一丁目～岡田一丁目	H22.6.22	ガス管理設	原因者	その他	20.0㎡	遺構・遺物なし
すかいせき	須賀通称	207-166	鈴鹿市須賀一丁目	H22.6.29	ガス管理設	原因者	その他	16.0㎡	遺構・遺物なし
かやまらいせき	笠野通称	207-167	鈴鹿市須賀三丁目	H22.7.1	個人住宅建設	原因者	団地・個人住宅	0.5㎡	遺構・遺物なし
きしおかやまさんいせき	岸岡山丘通称	207-889	鈴鹿市岸岡町字岩ヶ谷	H22.7.2	電柱撤去工事	原因者	その他	0.3㎡	遺構・遺物なし
おかだみなみいせき	岡田南通称	207-1181	鈴鹿市岡田一丁目	H22.7.15	下水管敷設	原因者	その他	100.0㎡	遺構・遺物あり
ほんだまぢいせき	本多町通称	207-416	鈴鹿市神戸四丁目	H22.7.13	既存建物解体	原因者	団地・個人住宅	2.0㎡	遺構・遺物なし

いせきのいふりがな	通称名	通称番号	所在地	調査実施日	調査原因	費用負担者	区分	調査面積	調査概要
こくぶきたいせき	国分北通	207-536	鈴鹿市国分町	H22.7.28	給水管移設工事	鈴鹿市	その他	98.0㎡	道標・遺物なし
つがだいらいせき	津賀平通	207-922	鈴鹿市津賀町	H22.7.17	電柱取付工事	原因者	その他	1.5㎡	道標・遺物なし
しろこふまたいせき	白子深田通	207-1191	鈴鹿市白子町字深田	H22.7.16	電柱取付工事	原因者	その他	0.8㎡	道標・遺物なし
こくぶきたいせき	国分北通	207-536	鈴鹿市国分町	H22.7.28	給水管移設工事	鈴鹿市	その他	98.0㎡	道標・遺物なし
はようこじいせき	龍光寺通	207-1193	鈴鹿市神戸二丁目	H22.8.5	個人住宅建設	原因者	田地・個人住宅	3.0㎡	道標・遺物なし
かやまらいせき	萱町通	207-167	鈴鹿市神戸八丁目	H22.8.15	個人住宅建設	原因者	田地・個人住宅	10.0㎡	道標・遺物なし
ほこづかいせき	稲塚通	207-1190	鈴鹿市白子町	H22.8.16	電柱取付工事	原因者	その他	0.6㎡	道標・遺物なし
はやさきいせき	林崎通	207-1178	鈴鹿市林崎二丁目	H22.10.5	個人住宅建設	原因者	田地・個人住宅	5.0㎡	道標・遺物なし
かやまらいせき	萱町通	207-167	鈴鹿市須賀三丁目	H22.10.15	個人住宅建設・下水取付	原因者	田地・個人住宅	1.5㎡	道標・遺物なし
いせきこくぶじあと	伊勢国分寺通	207-361	鈴鹿市国分町字堂跡	H22.10.20	道路側溝敷設	鈴鹿市	道路・河川等	188.0㎡	道標・遺物なし
つがだいらいせき	津賀平通	207-922	鈴鹿市津賀町字村中	H22.10.26	携帯電話無線基地局	原因者	その他	1.0㎡	道標・遺物なし
こくぶきたいせき	国分北通	207-536	鈴鹿市国分町字新田	H22.11.16	医薬布設	鈴鹿市	その他	53.0㎡	道標・遺物なし
いけだてんじんやまいせき	池田天神山通	207-854	鈴鹿市池田町	H22.11.30	配線埋設工事	原因者	その他	5.0㎡	道標・遺物なし
さわいせき	沢通	207-554	鈴鹿市地字町字花ノ池	H23.2.2	道路改良工事	鈴鹿市	道路・河川等	20.0㎡	道標・遺物なし
りょうこうじいせき	龍光寺通	207-123	鈴鹿市神戸二丁目	H22.12.17	ガス管理	原因者	その他	5.0㎡	道標・遺物なし
かきそえいせき	北ノ浜通	207-1089	鈴鹿市北玉垣町	H22.12.24	道路改良工事	鈴鹿市	道路・河川等	5.0㎡	道標・遺物なし
すたいせき	須賀通	207-166	鈴鹿市矢橋三丁目	H22.12.18	ガス管理	原因者	その他	0.8㎡	道標・遺物なし
おかだじんじやいせき	岡太神社通	207-1182	鈴鹿市岡田一丁目	H23.1.17	埋設物調査	鈴鹿市	その他	4.0㎡	道標・遺物なし
きたわかまついせき	北若松通	207-237	鈴鹿市北若松三丁目	H23.1.18	道路改良工事	鈴鹿市	道路・河川等	1.0㎡	道標・遺物なし
おひやまのまいせき	郡山野田通	207-237	鈴鹿市越知町	H23.1.20	電柱取付工事	原因者	その他	0.3㎡	道標・遺物なし
かやまらいせき	萱町通	207-167	鈴鹿市神戸八丁目	H23.2.5	個人住宅建設・汚水配管	原因者	田地・個人住宅	0.5㎡	道標・遺物なし
こうだみやのきたいせき	河田宮之北通	207-1338	鈴鹿市河田町	H23.2.5	電柱取付工事	原因者	その他	0.3㎡	道標・遺物なし
にしのいせき	西ノ宮通	207-160	鈴鹿市国府町	H23.2.16	道路改良工事	鈴鹿市	道路・河川等	40.0㎡	道標・遺物なし
ひらのじょうあと・かどやまいせき	平野城跡・門山通	207-376・1322	鈴鹿市平野町字門山	H23.2.25	下水管敷設	鈴鹿市	その他	10.0㎡	道標・遺物あり
さわじょうあと・きわいせき	沢城跡・沢通	207-367・554	鈴鹿市騒野寺町	H23.2.17	家屋取り壊し	原因者	田地・個人住宅	2.0㎡	道標・遺物なし
しろこたいかんしよあと	白子代官所跡	207-1283	鈴鹿市白子二丁目	H23.3.18	個人住宅建設・基礎撤去	原因者	田地・個人住宅	2.0㎡	道標・遺物なし
あかごういせき	赤部通	207-598	鈴鹿市秋永町字赤部	H23.3.18	コンクリート柱建設	原因者	その他	0.6㎡	道標・遺物なし
さかいづかいせき	境塚通	207-1171	鈴鹿市伊都町	H23.3.25	電柱取付工事	原因者	その他	2.1㎡	道標・遺物なし
このしたさとなかいせき	木下重那加通	210-a189	龜山市木下町	H24.4.4	ガス等	事業者	その他	0.9㎡	道標・遺物なし
かしまいせき	鹿島通	210-a250	龜山市南鹿島町	H24.4.14	無線機取付架台及び基礎新設	事業者	その他	1.0㎡	道標・遺物なし
のむらいせき	野村通	210-a59	龜山市南野町	H24.4.18	個人住宅	事業者	田地・個人住宅	192.5㎡	道標・遺物なし
なかのいせき	中野通	210-a285	龜山市阿野田町	H24.4.22	ガス等	事業者	その他	0.8㎡	道標・遺物なし
おおはなせいせき	大鼻通	210-a120	龜山市太閤寺町	H22.5.56	個人住宅	事業者	田地・個人住宅	1,286.9㎡	道標・遺物なし
おおはなせいせき	大鼻通	210-a120	龜山市太閤寺町	H22.5.56	個人住宅	事業者	田地・個人住宅	409.2㎡	道標・遺物なし
このしたさとなかいせき	木下重那加通	210-a189	龜山市木下町	H22.5.11	ガス等	事業者	その他	2.6㎡	道標・遺物なし
すずまのせきあと	鈴鹿通	210-b1	龜山市関町新所	H22.5.12	ガス等	事業者	その他	0.6㎡	道標・遺物なし
うえまついせき	横松通	210-a295	龜山市管内町	H22.5.16	ガス等	事業者	その他	2.4㎡	道標・遺物なし
かしまいせき	鹿島通	210-a250	龜山市南鹿島町	H22.6.2	ガス等	事業者	その他	1.7㎡	道標・遺物なし
わしやまいせき	鷺山通	210-b70	龜山市関町鷺山	H22.6.20	個人住宅	事業者	田地・個人住宅	456.1㎡	道標・遺物なし
しものがいとせき	下野堀戸通	210-a246	龜山市野村二丁目	H22.7.1	個人住宅	事業者	田地・個人住宅	1,186.0㎡	道標・遺物なし
いたやいせき	板屋通	210-b51	龜山市加太板屋	H23.1.24	ガス等	事業者	その他	1.5㎡	道標・遺物なし
のむらいせき	野村通	210-a59	龜山市南野町	H23.1.25	個人住宅	事業者	田地・個人住宅	198.4㎡	道標・遺物なし
のむらいせき	野村通	210-a59	龜山市南野町	H23.1.31	個人住宅	事業者	田地・個人住宅	198.4㎡	道標・遺物なし
すずまのせきあと	鈴鹿通	210-b1	龜山市関町木崎	H23.2.2	ガス等	事業者	その他	0.6㎡	道標・遺物なし

いせきの ふりがな	通称名	通称番号	所在地	調査実施日	調査原因	費用負担者	区分	調査面積	調査概要
かしまいせき	熊島通称	210-a250	龜山市南熊島町	H23.2.14	個人住宅	事業者	団地・個人住宅	351.0㎡	遺構・遺物なし
のむらいせき	野村通称	210-a59	龜山市南野町	H23.2.18	個人住宅	事業者	団地・個人住宅	139.4㎡	遺構・遺物なし
のむらいせき	野村通称	210-a59	龜山市野村三丁目	H23.3.14	個人住宅	事業者	団地・個人住宅	821.6㎡	遺構・遺物なし
おくよういせき	奥条通称	210-a225	龜山市田村町	H23.3.15	個人住宅	事業者	団地・個人住宅	550.6㎡	遺構・遺物なし
うらいせき	浦通称 (H22-1次)	201-c130	津市河芸町中別保字浦	H22.4.8	個人住宅建設	個人	団地・個人住宅	5.4㎡	遺構、遺物なし。
みどだにいせき	ドグダ通称 (H22-1次)	201-f72	津市白山町南家城字下出	H22.4.23	個人住宅建設	個人	団地・個人住宅	80.0㎡	遺構、遺物なし。
つじょうあと	津城跡 (H22-1次)	201-a783	津市中央	H22.5.17	個人住宅建設	個人	団地・個人住宅	171.1㎡	外壁、陶磁器。
せんじゆじけいだい いせき	専修寺境内通称 (H22-1次)	201-a844	津市一身田町	H22.5.18～ 5.25	専修寺遺蹟 水塔及び浮水 管理施設	事業者	その他	14.2㎡	遺構なし。陶器、瓦。
まるばやしいせき	丸林通称 (H22-1次)	201-c116	津市河芸町影重字丸林	H22.5.18～ 8.23	個人住宅建設	個人	団地・個人住宅	84.0㎡	遺構、遺物なし。
こんどくじょうあと	今徳城跡 (H22-2次)	201-f601	津市安濃町今徳字北出	H22.5.26～ 5.28	共同住宅建設	個人	団地・個人住宅	14.0㎡	溝、土坑、石組み、土師器、 須恵器、山茶碗、陶器。
うえのびーいせき	上野白通称 (H22-1次)	201-f746	津市安濃町白瑞上野字上野	H22.5.27	個人住宅建設	個人	団地・個人住宅	2.0㎡	遺構、遺物なし。
よつこのびーいせき	四ノ野白通称 (H22-1次)	201-a370	津市高茶屋小森町	H22.6.16～ 6.24	公共下水道 設工事	津市	その他	57.2㎡	溝もしくは土坑、杭。
ひさいじんやあと	久原屋跡 (H22-1次)	201-b154	津市久原西置通称	H22.6.24	個人住宅建設	個人	団地・個人住宅	90.7㎡	遺構、遺物なし。
こんどくじょうあと	今徳城跡 (H22-3次)	201-f601	津市安濃町今徳字北出	H22.7.8～ 7.21	共同住宅建設	個人	団地・個人住宅	21.0㎡	ピット、遺物なし。
つじょうあと	津城跡 (H22-2次)	201-a783	津市西丸之内	H22.7.16	公共下水道 設工事	津市	その他	0.8㎡	遺構、遺物なし。
さとのうちしんでんい せき	聖ノ内新田通称 (H22-1次)	201-b164	津市秩町北浦	H22.7.30	個人住宅建設	個人	団地・個人住宅	430.2㎡	遺構、遺物なし。
ななきりいせきりん せつち	中切通称隣接地	201-g50	津市白山町八野野	H22.8.6	耐震性防火水 槽設工事	津市	その他	15.0㎡	遺構、遺物なし。
みなみいしばいせき	南町屋通称 (H22-1次)	201-c129	津市河芸町上野字山ノ 色	H22.8.12～ 8.20	個人住宅建設	個人	団地・個人住宅	4.7㎡	遺構なし。土師器。
ひさいじょうまちい せき	久原城下町通称 (H22-3次)	201-b230	津市久原西置通称	H22.8.23	個人住宅建設	個人	団地・個人住宅	2.3㎡	遺構、遺物なし。
ひさいじょうまちい せき	久原城下町通称 (H22-3次)	201-b230	津市久原東置通称	H22.8.27	個人住宅建設	個人	団地・個人住宅	15.5㎡	遺構、遺物なし。
かわくちほづぼうい せき	川口北方通称 (H22-2次)	201-c38	津市白山町笠塚	H22.9.1	福祉施設建設	事業者	その他	28.9㎡	遺構なし。土師器。
うえのじょうあと	上野城跡 (H22-1次)	201-c42	津市河芸町上野	H22.9.1	園路改修等	津市	その他	66.0㎡	遺構、遺物なし。
ほしらいせき	柱通称 (H22-1次)	201-f638	津市安濃町安濃字柱	H22.9.9～ 10.1	個人住宅建設	個人	団地・個人住宅	43.9㎡	土坑、土師器、陶磁器、瓦。
せきのみやいせき	関ノ宮通称 (H22-1次)	201-f54	津市白山町川口	H22.9.29	障害者福祉施 設改修工事	津市	その他	3.9㎡	遺構、遺物なし。
ひさいじょうまちい せき	久原城下町通称 (H22-5次)	201-b230	津市久原西置通称	H22.10.4～ 10.6	高齢老人福祉 センター駐車 場整備	津市	その他	26.9㎡	落ち込み。近世陶磁器、瓦、 鉄釘。
きたいけいはいせき	北池原通称 (H22-1次)	201-b147	津市尹木町字八丁山	H22.10.27	資材置場造成	事業者	その他	25.6㎡	遺構、遺物なし。
かみこつくりいせき	上木通称 (H22-1次)	201-g215	津市木造町	H22.11.7	公共下水道 設工事	津市	その他	7.1㎡	遺構、遺物なし。
さかやかいといせき	酒屋境内通称 (H22-1次)	201-c102	津市河芸町上野字酒屋 境内	H22.11.19	宅地造成	事業者	団地・個人住宅	24.0㎡	遺構、遺物なし。
なかとびいせき	中庭通称 (H22-1次)	201-a477	津市大室窪田町字東倉	H22.12.22	個人住宅建設	個人	団地・個人住宅	9.0㎡	遺構、遺物なし。
ひさいじょうまちい せき	久原城下町通称 (H22-2次)	201-b230	津市久原東置通称	H23.1.20	宅地造成	事業者	団地・個人住宅	27.4㎡	土坑、ピット、 近世陶器。
せんじゆじけいだい いせき	専修寺境内通称 (H22-3次)	201-a844	津市一身田町	H23.1.24～ 2.1	専修寺防災施 設設工事	事業者	その他	20.3㎡	遺構なし。 土師器、瓦。
せんじゆじけいだい いせき	専修寺境内通称 (H22-4次)	201-a844	津市一身田町	H23.2.7	安楽庵増掛付 替工事	事業者	その他	7.0㎡	遺構なし。 土師器。
いっしんでんじない じょういせき	一身田寺内町通称 (H22-1次)	201-a854	津市一身田町	H23.2.8	公共下水道 設工事	津市	その他	2.0㎡	井戸。遺物なし。
うえのじょうあと	上野城跡 (H22-2次)	201-c42	津市河芸町上野	H23.2.9～ 3.23	案内板設置	津市	その他	2.0㎡	遺構、遺物なし。
つじょうあと	津城跡 (H22-3次)	201-a783	津市西丸之内	H23.2.10～ 2.17	公共下水道事 業に伴う津市 区配管工事	津市	その他	22.4㎡	溝、土師器、陶器、瓦質土器、 瓦。
さかやかいといせき	酒屋境内通称 (H22-2次)	201-c102	津市河芸町上野字酒屋 境内	H23.3.8	個人住宅建設	個人	団地・個人住宅	2.4㎡	遺構、遺物なし。
きたがいといせき	北内通称 (H22-2次)	201-a795	津市高茶屋1丁目	H23.3.10、 3.11	宅地造成	事業者	団地・個人住宅	100.0㎡	遺構なし。 土師器、須恵器、山茶碗。
まつさかじょうまち いせき	松阪城下町通称	204-a769	松阪市本町	H22.4.7	個人住宅	—	団地・個人住宅	10.0㎡	遺構・遺物なし
おおいにだいいいせき	大西代通称	204-a15	松阪市曾原町字大西代	H22.5.7	個人住宅	—	団地・個人住宅	2.0㎡	遺構・遺物なし
ほいでみなみいせき	舞出通称	204-c2	松阪市舞出町字荒木	H22.5.10	個人住宅	—	団地・個人住宅	3.0㎡	遺構・遺物なし

いせきのみふりがな	遺跡名	遺跡番号	所在地	調査実施日	調査原因	費用負担者	区分	調査面積	調査概要
しんしんてんいせき	新々田遺跡	204-a253	松阪市緒野中川町	H22.5.27	学校施設建築	—	その他	2.0㎡	遺構・遺物なし
ちゃやえまいせき	茶屋前遺跡	204-a305	松阪市八重町字下都	H22.8.17	個人住宅	—	田地・個人住宅	2.0㎡	遺構・遺物なし
あんのかどいせき	庵ノ門遺跡	204-b1	松阪市緒野川北町字庵ノ門	H22.7.2	倉庫建築	—	その他	2.0㎡	土器片出土
まつさかじょうかまちいせき	松阪城下町遺跡	204-a769	松阪市本町	H22.8.20	浄化槽設置	—	田地・個人住宅	1.0㎡	遺構・遺物なし
むかいおうじえいせき	向土子A遺跡	204-a273	松阪市伊勢寺町	H22.9.9	浄化槽設置	—	田地・個人住宅	2.0㎡	遺構・遺物なし
まつさかじょうかまちいせき	松阪城下町遺跡	204-a769	松阪市本町	H22.9.9	水道工事	—	その他	10.0㎡	近世陶器類、瓦片出土
ほしあいきとなかいせき	星合堂中遺跡	204-a11	松阪市星合町	H22.9.21	事務所建築	—	その他	5.0㎡	遺構・遺物なし
てんぼいせき	天保遺跡	204-b141	松阪市緒野島田町	H22.9.22	水道工事	—	その他	10.0㎡	遺構・遺物なし
ぼんがんじいせき	本願寺遺跡	204-b44	松阪市緒野中川町字東	H22.9.22	個人住宅	—	田地・個人住宅	20.0㎡	遺構・遺物なし
まつさかじょうかまちいせき	松阪城下町遺跡	204-a769	松阪市本町	H22.9.27	水道工事	—	その他	10.0㎡	近世陶器類、瓦片出土
いせでらいせき	伊勢寺遺跡	204-a274	松阪市伊勢寺町	H22.10.6	個人住宅	—	田地・個人住宅	220.5㎡	遺構・遺物なし
いちやがたいせき	市屋垣内遺跡	204-a574	松阪市大阿坂町	H22.10.7	浄化槽設置	—	田地・個人住宅	2.0㎡	遺構・遺物なし
みなもそはらいせき	南曾原遺跡	204-c19	松阪市中道町字浜田	H22.10.15	浄化槽設置	—	田地・個人住宅	2.0㎡	遺構・遺物なし
そはらいせき	曾原遺跡	204-a16	松阪市曾原町字沙上	H22.10.19	個人住宅	—	田地・個人住宅	20.0㎡	遺構・遺物なし
まいできたいせき	舞出北遺跡	204-c1	松阪市舞出町字松垣内	H22.10.26	浄化槽設置	—	田地・個人住宅	4.0㎡	遺構・遺物なし
まいできたいせき	舞出北遺跡	204-c1	松阪市舞出町字松垣内	H22.11.20	倉庫建築	—	その他	2.0㎡	遺構・遺物なし
かさまついせき	笠松遺跡	204-c13	松阪市笠松町	H22.11.25	消防倉庫新築	—	その他	4.0㎡	遺構・遺物なし
べっしよまいせき	別所前遺跡	204-a812	松阪市高木町字山田	H22.12.7	浄化槽設置	—	田地・個人住宅	3.0㎡	遺構・遺物なし
むらたけこのいせき	村竹ノ遺跡	204-a341	松阪市上川町	H22.12.17	浄化槽設置	—	その他	8.0㎡	遺構・遺物なし
なかのしょうきとなかいせき	中ノ庄里中遺跡	204-c29	松阪市中ノ庄町	H22.12.20	浄化槽設置	—	田地・個人住宅	4.0㎡	遺構・遺物なし
ほしあいきとなかいせき	星合堂中遺跡	204-c11	松阪市星合町字波尻	H22.12.27	浄化槽設置	—	田地・個人住宅	3.0㎡	遺構・遺物なし
まつさかじょうかまちいせき	松阪城跡	204-a770	松阪市殿町	H23.1.14	浄化槽設置	—	その他	2.0㎡	遺構・遺物なし
おたいせき	尾田遺跡	204-a581	松阪市美濃田町	H23.2.21	浄化槽設置	—	田地・個人住宅	2.0㎡	遺構・遺物なし
ほしあいきとなかいせき	星合堂中遺跡	204-c11	松阪市星合町字波尻	H23.3.8	浄化槽設置	—	田地・個人住宅	2.0㎡	遺構・遺物なし
うえのがたいせき	上野垣内遺跡	204-a235	松阪市緒野島田町	H23.3.15	浄化槽設置	—	田地・個人住宅	2.0㎡	遺構・遺物なし
でぐらいいせき	出口遺跡	204-a577	松阪市小阿坂町	H23.3.23	浄化槽設置	—	田地・個人住宅	2.0㎡	遺構・遺物なし
まゑのいせき	前野遺跡	442-242	多気郡明和町大字前野字六反・堂中	H22.8.18	下水道埋設	事業者	その他	147.0㎡	遺構・遺物なし
しょういせき	荘遺跡	203-b32	伊勢市二見町溝口	H22.8.2	個人住宅建設	事業者	田地・個人住宅	447.6㎡	遺構・遺物なし
しょういせき	荘遺跡	203-b32	伊勢市二見町荘	H22.12.3	個人住宅建設	事業者	田地・個人住宅	191.0㎡	遺構・遺物なし
しょういせき	荘遺跡	203-b32	伊勢市二見町荘	H22.11.19	個人住宅建設	事業者	田地・個人住宅	328.0㎡	遺構・遺物なし
かみどりいせき	上道遺跡	203-a171	伊勢市上地町	H23.2.10	個人住宅建設	事業者	田地・個人住宅	1,289.3㎡	遺構・遺物なし
そうちふじなみいせき	佐八藤波遺跡	203-a58	伊勢市佐八町字表	H23.1.6	携帯電話基地局建設	事業者	その他	4.0㎡	遺構・遺物なし
そうちふじなみいせき	佐八藤波遺跡	203-a58	伊勢市佐八町字表	H23.1.6	個人住宅建設	事業者	田地・個人住宅	6.0㎡	遺構・遺物なし
みついせき	三津遺跡	203-b35	伊勢市二見町三津	H23.1.29	個人住宅建設	事業者	田地・個人住宅	201.6㎡	遺構・遺物なし
いつけやいせき	一軒屋遺跡	203-a122	伊勢市上地町字中郷西	H23.1.25	携帯電話基地局建設	事業者	その他	4.0㎡	遺構・遺物なし
りきゅうやまいせき	離宮山遺跡	203-c3	伊勢市小保町元町	H23.3.25	—	伊勢市	その他	40.4㎡	遺構・遺物なし
しじまふんぐんきゅうごうふん	志島古墳群9号墳	215-d37	志摩市阿児町志島	H22.4.13	駐車場造成	事業者	その他	168.0㎡	遺構・遺物なし
こうかいづか	国府瓦塚	215-d58	志摩市阿児町国府	H22.5.20	電柱工事	事業者	その他	0.8㎡	遺構・遺物なし
しじまふんぐんにごうふん	志島古墳群2号墳	215-a30	志摩市阿児町志島	H22.10.19	電柱工事	事業者	その他	0.5㎡	遺構・遺物なし
ひがしげといせき	東海道遺跡	215-d123	志摩市阿児町国府	H22.10.29	電柱工事	事業者	その他	0.8㎡	遺構・遺物なし
ひがしげといせき	東海道遺跡	215-d123	志摩市阿児町国府	H22.11.24	電柱工事	事業者	その他	1.0㎡	遺構・遺物なし
きしんいせき	喜幸遺跡	216-a838	伊勢市佐那具町	H22.9.17、9.24、9.27	個人住宅	個人	田地・個人住宅	—	遺構・遺物なし
うゑのじょうかまちいせき	上野城下町遺跡	216-a1230	伊勢市上野東町	H22.10.19	倉庫建設	個人	その他	—	遺構・遺物なし
よこまくらいせき	横枚遺跡	216-a1077	伊勢市猪田	H22.10.25	個人住宅	個人	田地・個人住宅	—	遺構・遺物なし

いせきのいふりがな	遺跡名	遺跡番号	所在地	調査実施日	調査原因	費用負担者	区分	調査面積	調査概要
ふるやしきいせき	古墳敷遺跡	216-a1140	伊賀市東高倉	H22.11.12、 11.16	携帯電話基地 局設置工事	企業	その他	—	遺構・遺物なし
ふるやしきいせき	古墳敷遺跡	216-a1146	伊賀市東高倉	H22.11.26	個人住宅	個人	団地・個人住宅	—	遺構・遺物なし
たけうちしやかたあと	竹内氏館跡	216-a568	伊賀市藤田	H22.12.2	電柱建柱工事	企業	その他	—	遺構・遺物なし
おぐらいせき	小倉遺跡	216-a232	伊賀市馬場	H22.12.2	電柱建柱工事	企業	その他	—	遺構・遺物なし
しょうざきいせき	清水北遺跡	216-a376	伊賀市大野木	H22.12.17	電柱建柱工事	企業	その他	—	遺構・遺物なし
うえのじょうあと	上野城跡	216-a358	伊賀市上野丸之内	H22.11.11、 H23.3.4	個人住宅	個人	団地・個人住宅	—	遺構・遺物なし
ふかやまてらあと	深山寺跡	216-a339	伊賀市東高倉	H22.2.10	電柱建柱工事	企業	その他	—	遺構・遺物なし
たけしましやかたあと	竹島氏館跡	216-a225	伊賀市大野木	H22.3.8	電柱建柱工事	企業	その他	—	遺構・遺物なし
いはらいせき	石原遺跡	216-a824	伊賀市湯原谷	H22.3.23、 3.31	電柱建柱工事	企業	その他	—	遺構・遺物なし
はやまいせき	早馬遺跡	562-b5	伊賀市郡部紀宝町輪殿	H22.5.6	浄化槽設置		団地・個人住宅	3.1㎡	遺構・遺物なし
はやまいせき	早馬遺跡	562-b5	伊賀市郡部紀宝町輪殿久保	H22.11.2	浄化槽設置		団地・個人住宅	4.4㎡	遺構・遺物なし

#### 4 本発掘調査の概要

平成22年度に行われた本発掘調査（三重県埋蔵文化財センター14件、富宮歴史博物館17件、市町機関38件）の概要を示す。なお、※印は国・県補助事業である

##### (1) 三重県埋蔵文化財センター担当の本発掘調査

No.	1	遺跡名	中野山遺跡(第2次)	なかのやまいせき	台帳番号	202	—	238
所在地		四日市市北山町字中野山		事業主体	国土交通省中部地方整備局北勢国道事務所			
調査原因		一般国道475号東海環状自動車道建設事業		費用負担	国土交通省中部地方整備局			
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	長谷川哲也・勝山孝文			
調査期間	H22.8.30		～	H23.1.24	調査面積	1,715.0㎡		
着手通知	H22.9.13	付け	教理第149号	遺物発見	H23.3.31	付け	教委第12-4422号	
調査概要		当遺跡は員弁川と朝明川に挟まれた丘陵上の平坦面に立地している。これまでの調査で、丘陵上の広範囲から建物跡が確認されており、出土遺物等から、飛鳥～奈良時代の大規模な集落跡であることが推察されている。今回、四日市北JCT(仮称)の建設予定地の一部(1,715㎡)の調査を行った。調査の結果、弥生時代中期～飛鳥時代までの遺物と、飛鳥時代とみられる竪穴住居9棟・掘立柱建物12棟・土坑1基、時期不明の方形の被熱土坑2基を確認した。掘立柱建物については、方向のそろったものが6棟あり、建物の配置に計画性もうかがえる。時期不明の被熱土坑については、遺物の出土は無いが、形状等から中世の火葬墓(火葬跡)の可能性が考えられる。						
主な遺構		竪穴住居、掘立柱建物、土坑						
主な遺物		弥生土器(受口甕)、土師器(甕・甔)、須恵器(坏・高坏・甕・はそう)					箱数(箱)	16
						重量(kg)	20.8	
関連文献		『四日市市史』第三巻 資料編 考古Ⅱ 1993						

No.	2	遺跡名	伊坂城跡(第4次)	いさかじょうあと	台帳番号	202	—	246
所在地		四日市市伊坂町字鎧谷		事業主体	中日本高速道路株式会社			
調査原因		近畿自動車道名古屋神戸線(四日市JCT～亀山西JCT)建設事業		費用負担	中日本高速道路株式会社			
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	杉野直也・櫻井裕馬			
調査期間	H22.8.9		～	H23.1.14	調査面積	984.0㎡		
着手通知	H22.8.9	付け	教理第124号	遺物発見	H23.2.22	付け	教委第12-4417号	
調査概要		伊坂城跡は、朝日丘陵の端部に位置する戦国時代の城館跡である。丘陵の谷および斜面を対象として調査を行ったが、遺構や整地の痕跡は確認できなかった。また、土層の様相などから、調査区内に現存する曲輪状のテラスは、自然の地形であると推測される。なお、丘陵頂上の下層確認中に古墳～古代の土器が一定量出土しており、周辺には当該期の遺構が存在するとみられる。						
主な遺構		なし						
主な遺物		土師器、須恵器、中世土器・陶器(羽釜、瀬戸美濃)					箱数(箱)	1
						重量(kg)	0.5	
関連文献								

No.	3	遺跡名	石塚遺跡(第2次)	いしづかいせき	台帳番号	201	—	f717	
所在地		津市安濃町草生		事業主体	三重県県土整備部	道路整備室			
調査原因		地方特定道路整備事業		費用負担	三重県県土整備部				
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	大川操				
調査期間	H22.6.22		～	H22.9.3	調査面積	133.0㎡			
着手通知	H22.7.14	付け	教理第86号	遺物発見	H23.2.22	付け	教委第12-4411号		
調査概要	<p>当遺跡の所在する津市安濃町草生は、経ヶ峰の東麓にあたる。経ヶ峰山系から東へ派生する小規模の尾根に囲まれた平地部を中心とした地域である。周辺地域における条里地割りととの検討が研究される地域であるが、ほ場整備がほぼ終了した現況地割で確認をすることが難しい。この地域を平成20年度に調査を行い、古代末から13世紀頃の掘立柱建物や土坑を有するもので、土坑内には須恵器や土師器、土器が出土した。これらの建物周辺からのみ、鉄製品や鉄滓、また屋外炉と見られる土坑が見つかっており、関連性をうかがうことができる。一方、1次調査では縄文晩期の土器も確認されたが、2次調査においては、縄文土器を確認することはなかった。</p>								
主な遺構	溝、土坑、柱穴(隅丸方形形跡・円形)、屋外炉								
主な遺物	土師器、須恵器、転用瓦、山茶碗、白磁片、鉄釘、鉄滓							箱数(箱)	20 高埴遺跡と計
関連文献	「津市遺跡分布地図」津市教育委員会 1987							重量(kg)	27.6 高埴遺跡と計

No.	4	遺跡名	高埴遺跡(第2次)	たかひいせき	台帳番号	201	—	f718	
所在地		津市安濃町草生		事業主体	三重県県土整備部	道路整備室			
調査原因		地方特定道路整備事業		費用負担	三重県県土整備部				
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	大川操				
調査期間	H22.6.22		～	H22.9.3	調査面積	96.0㎡			
着手通知	H22.7.14	付け	教理第86号	遺物発見	H23.2.22	付け	教委第12-4411号		
調査概要	<p>当遺跡の所在する津市安濃町草生は、経ヶ峰の東麓にあたる。経ヶ峰山系から東へ派生する小規模の尾根に囲まれた平地部を中心とした地域である。周辺地域における条里地割りととの検討が研究される地域であるが、ほ場整備がほぼ終了した現況地割で確認をすることが難しい。この地域を平成20年度に調査を行い、古代の掘立柱建物や土坑などを検出している。古代の建物は条里の地割りに沿っていない様相で建つもので、時期差があるものの、石塚遺跡の掘立柱建物と様相を違える。</p>								
主な遺構	柱穴(隅丸方形形跡・円形)、竪穴住居								
主な遺物	土師器、須恵器、山茶碗、鉄釘							箱数(箱)	20 石塚遺跡と計
関連文献	「津市遺跡地図」津市教育委員会 1987							重量(kg)	27.6 石塚遺跡と計

No.	5	遺跡名	林垣内遺跡	はやしがいといせき	台帳番号	201	—	a873	
所在地		津市大野野田		事業主体	三重県県土整備部	河川・砂防室			
調査原因		広域河川改修事業		費用負担	三重県県土整備部				
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	奥田勝久				
調査期間	H22.9.22		～	H22.12.24	調査面積	651.0㎡			
着手通知	H22.11.8	付け	教理第260号	遺物発見	H23.2.22	付け	教委第12-4416号		
調査概要	<p>調査前はほとんどが畑地であった。弥生時代後半に作られた溝(環濠)とそれと一部接する形で自然流路が見つかった。環濠の溝からは弥生時代の終わりから古墳時代初め頃の土器が大量に出土し、自然流路の方は弥生時代から古墳時代中頃までの土器が出土した。</p>								
主な遺構	環濠1基、自然流路1基								
主な遺物	弥生土器、土師器、須恵器、土鍾、石鍾、石鏃、鉄製品							箱数(箱)	94
関連文献								重量(kg)	411.7

No.	6	遺跡名	相川西方遺跡(第3次)	あいかわけいほういせき	台帳番号	201	—	b180	
所在地		津市久居相川町		事業主体	国土交通省中部地方整備局	三重河川国道事務所			
調査原因		一般国道23号中勢道路建設事業		費用負担	国土交通省中部地方整備局				
調査機関		三重県埋蔵文化財センター		担当者	西口剛司・淺尾大・松菜和也				
調査期間	H22.7.29		～	H23.1.31	調査面積	3,000.0㎡			
着手通知	H22.7.29	付け	教理第100号	遺物発見	H23.3.31	付け	教委第12-4423号		
調査概要	<p>調査地は、相川の北側、浅い谷の部分に位置する。西側の丘陵上に久居古窯址群があり、北西の丘陵には縄文遺跡群がある。調査の結果、第2次調査に引き続き、弥生時代終末から古墳時代初期を主体とする土坑約250基を確認した。土坑は、第2次調査と同様、不整形のものが多く、粘土がとれるところに集中することなどから粘土探掘坑と考えられる。遺物は、弥生土器高杯・壺・壺を中心とし、奈良時代の土師器壺、縄文時代の石鍾、削器なども出土した。</p>								
主な遺構	土坑(弥生時代末～古墳時代初期、奈良時代)、溝								
主な遺物	弥生土器(高杯・壺・壺)、台付壺、土師器壺、削器、石鍾							箱数(箱)	18
関連文献								重量(kg)	33.6

No.	7	遺跡名	西蔵寺廃寺	さいぞうじはいじ	台帳番号	204	—	a10
所在地	松阪市小阿坂町向川			事業主体	三重県農水商工部 農業基盤室			
調査原因	特定農業用管路等特別対策事業 一志南部1期地区			費用負担	三重県農水商工部			
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	高松雅文			
調査期間	H22.10.1	～	H22.10.15	調査面積	325.0㎡			
着手通知	H22.10.8	付け	教理第159号	遺物発見	H23.2.22	付け	教委第12-4408号	
調査概要	当遺跡は、栴形山塊東麓に形成された扇状地に位置し、礎石の存在から寺院跡として登録された遺跡である。当地は扇状地の中央部、扇尖に位置し、三蓋川水系の小河川による河湾変更に何度も繰り返し造られたと考えられる。その痕跡は調査地において旧自然流路としてとらえることができた。調査地の遺構ははく、土坑、落ち込み、田に伴うと考えられる肥溜のなどが確認された。施肥に伴う肥溜は江戸時代から確認されることが多く、当地域の農業史を考えるとうえで考えられるといえる。遺物は奈良時代を中心とした古代の須恵器杯、土師器杯・長胴甕などが出土した。ササカイ片1点、S字罌1点も確認されており、弥生時代あるいはそれ以前から人々が生活を営んでいたと考えられる。当遺跡は寺院に関連する遺跡と考えられているが、集落遺跡としての性格も考慮すべきといえる。なお、調査地の南面は谷状低地となっているのに対して、北側は東西方向の微高地となっている。この微高地が当遺跡の中心地と推測され、今後の開発等では特に注意が必要といえる。							
主な遺構	土坑、ピット、落ち込み、溝、旧自然流路、肥溜め							
主な遺物	ササカイ片、S字罌、須恵器杯、土師器杯・長胴甕						箱数(箱)	2
関連文献							重量(kg)	4.9
No.	8	遺跡名	朝見遺跡	あさみいせき	台帳番号	204	—	a838
所在地	松阪市和屋町			事業主体	三重県農水商工部 農業基盤室			
調査原因	経営体育成基盤整備事業朝見上地区			費用負担	三重県農水商工部			
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	相場さやか			
調査期間	H22.10.27	～	H22.11.18	調査面積	205 ㎡			
着手通知	H22.11.4	付け	教理第197号	遺物発見	H23.2.22	付け	教委第12-4409号	
調査概要	今回の調査地は榑田川左岸に立地し、現状は水田及び荒蕪地だが、桑里区画が残る景観である。ほ場整備に伴い、配水槽及びポンプ場建築予定地で本調査を実施した。主な遺構は溝である。1トレンチでは平安時代後期から鎌倉時代前半の大溝(幅5m以上・深さ約80cm)を抽出し、2トレンチでも同規模の大溝が認められた。4トレンチでも同時期の溝を抽出しており、これらによる桑里地割の施工に関わりがあると考えられる。遺物は、1トレンチSD1より土師器、山茶碗、志摩式製埴土器、SD3より灰粘陶器、古式土師器などが出土した。							
主な遺構	溝、ピット							
主な遺物	弥生土器、古式土師器、土師器、製埴土器、灰粘陶器、緑粘陶器、山茶碗						箱数(箱)	7
関連文献							重量(kg)	11.7
No.	9	遺跡名	相可出張遺跡(第2次)	おうかではりいせき	台帳番号	441	—	a428
所在地	多気郡多気町相可			事業主体	三重県教育委員会 学校施設室			
調査原因	相可高校新実習棟建築工事			費用負担	三重県教育委員会			
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	相場さやか・奥田勝久			
調査期間	H22.4.28	～	H22.9.30	調査面積	1,123.0㎡			
着手通知	H22.7.13	付け	教理第87号	遺物発見	H23.2.22	付け	教委第12-4406号	
調査概要	遺跡は榑田川左岸の低位段丘上に位置し、調査地は平成7年度に発掘調査された範囲(武道場)の北及び西側にあたる。平成7年度調査区から続く大溝の底から、飛鳥時代後半の石組遺構を確認した。石組は石積、石敷、石貼、テラスを伴うことから、観念などを行う祭祀遺構であったと推測され、当地域の歴史を考える上で重要な遺構と考えられる。なお、平成7年度調査時は、掘削の都合上、大溝最下層上面で掘削を終了しており溝底までは及んでいないため、石組み遺構が武道場方向に続くかどうかは現時点で不明である。調査区西側からは中世墓を3基出土した。							
主な遺構	飛鳥後期～平安後期 大溝1条、鎌倉後期～室町初期 溝2条・墓3基							
主な遺物	弥生土器(壺・甕)、須恵器(杯身・杯蓋)、土師器(壺・鍋・皿・椀)、山茶碗						箱数(箱)	20
関連文献	「相可出張遺跡発掘調査報告」三重県埋蔵文化財センター 1996.3						重量(kg)	29.1
No.	10	遺跡名	寺田遺跡(第2次)		台帳番号	461	—	429
所在地	度会郡玉城町佐田			事業主体	三重県農水商工部 農業基盤室			
調査原因	平成22年度有田地区経営体育成基盤整備事業			費用負担	三重県農水商工部			
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	山口田美・大川雅・高松雅文			
調査期間	H22.10.4	～	H22.12.17	調査面積	675.0㎡			
着手通知	H22.10.4	付け	教理第177号	遺物発見	H23.3.31	付け	教委第12-4424号	
調査概要	当遺跡は、東史跡田丸城の北東約500mの平野部に立地する。現在は宮川流路の相合川流域だが、これは織田信雄による田丸城修築の際に外城田丸川が付け替えられたことによる。本来は外城田丸川流域に属し、この河川による堆積作用で平野部が形成された。遺構として、外城田丸川流路に関連する旧流路のほか、土坑・溝、中世の掘立柱建物などが確認された。中世の掘立柱建物は現在の三橋集落の前身ともとらえることができ、当地で人々の暮らしが継続と営まれていたとらえる。出土遺物は、花文が施された中世陶器、墨書した土師器など中世を中心とする中世から中世にかけての遺跡である。当遺跡は洪水等の影響を受けながら、居住域を少しずつ移動させながら弥生時代から中世・近世にかけて営まれた集落遺跡といえる。よって当遺跡および近隣において古代の集落域が存在する可能性が高く、今後の注意が求められる。							
主な遺構	土坑、柱穴、溝、旧流路等							
主な遺物	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、墨書土師器、中世陶器、花文緑釉の中世陶器						箱数(箱)	23
関連文献							重量(kg)	14.6

No.	11	遺跡名	田丸遺跡(第2次) 塚田1号墳、塚田2号墳	たまるみらいせき、 つかだごうふん、 つかだごうふん	台帳番号	461	—	467、 7、 466
所在地	度会郡玉城町妙法寺			事業主体	三重県農水商工部 農業基盤室			
調査原因	平成22年度経営体育成基盤整備事業(有田地区)			費用負担	三重県農水商工部			
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	伊藤裕俊・山口美・相塚さやか			
調査期間	H22.11.29	～	H23.2.10	調査面積	630.0㎡			
着手通知	H22.10.4	付け	教理第177号	遺物発見	H23.3.31	付け	教委第12-4424号	
調査概要	田丸遺跡は、妙法寺集落の北部で、現況は水田である。古墳時代後期～平安時代中・後期にかけての集落跡と川跡が確認された。古墳時代後期では、川跡に木組みの堰が4つあり、付近からは土器や木製品(建築部材、農耕具)などが多数出土した。川跡の北側では、古墳時代後期の堅穴住居2棟を確認した。平安時代中・後期では、川跡の北側に掘立柱建物群を確認した。柱距形の規模は大きく、大型の建物群が複数存在していたと考えられる。なお、川跡の最下層からは弥生時代中期を中心とした土器が多く確認され、弥生時代中期の集落も想定される。 塚田1号墳 直径約20mの円墳。周溝を確認。現存する墳丘は、周囲が削られ方墳状を呈している。 塚田2号墳 直径約20mの円墳。墳丘は削平されている。周溝幅は約2m。							
主な遺構	古墳(2基)、川跡(3条)、堰(木杭)、堅穴住居、柱穴、古墳周溝							
主な遺物	台付甕、須恵器大甕、木製品(杭、下駄、農耕具、曲げ物など)、S字甕、土師器、灰輪陶器、緑釉陶器						箱数(箱)	21
							重量(kg)	47.3
関連文献								
No.	12	遺跡名	万所遺跡(第3次)	まんじょいせき	台帳番号	203	—	a228
所在地	伊勢市辻久留3丁目万所			事業主体	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所			
調査原因	宮川床土浸水対策特別緊急事業			費用負担	国土交通省中部地方整備局			
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	田村陽一・林義男			
調査期間	H22.5.28	～	H22.8.20	調査面積	706.0㎡			
着手通知	H22.6.3	付け	教理第60号	遺物発見	H23.2.22	付け	教委第12-4404号	
調査概要	調査地は宮川下流部右岸の河岸段丘上に立地している。今回の調査区では平安時代の掘立柱建物と鎌倉時代の掘立柱建物(一部)各1棟と5基の中世墓のほか、土坑などが多数検出された。墓の一つからは、完形で龍泉窯系青磁碗が出土している。そのほか出土遺物には縄文時代早期の大甕式土器や弥生土器、その他平安時代の土師器や製埴土器、灰輪陶器のほか、山茶碗や山皿など中世の土器類もある。							
主な遺構	掘立柱建物、中世墓、土坑							
主な遺物	縄文土器、弥生土器、土師器、製埴土器、灰輪陶器、青磁碗、山茶碗など						箱数(箱)	26
							重量(kg)	47.3
関連文献								
No.	13	遺跡名	万所遺跡(第4次)	まんじょいせき	台帳番号	203	—	a228
所在地	伊勢市辻久留3丁目万所			事業主体	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所			
調査原因	平成22年度宮川床土浸水対策特別緊急事業			費用負担	国土交通省中部地方整備局			
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	田村陽一・林義男			
調査期間	H22.8.30	～	H22.10.12	調査面積	226.0㎡			
着手通知	H22.9.3	付け	教理第140号	遺物発見	H23.2.22	付け	教委第12-4405号	
調査概要	調査地は宮川下流部右岸の河岸段丘上に立地している。今回の調査区は、第2次及び第3次調査区に隣接する。土坑13基や柱穴と考えられる小穴などが検出された。出土遺物は小片のものが多く遺構の時期や性格は判然としないうが、隣接地と同様に平安末～鎌倉時代の遺構が中心と推定される。出土遺物には縄文土器(早・中・後期)や、若干の石器、平安時代末～鎌倉時代の土師器、山茶碗、山皿、施輪陶器など中世の土器類がある。							
主な遺構	土坑、小穴							
主な遺物	縄文土器、土師器、山茶碗、山皿、施輪陶器など						箱数(箱)	10
							重量(kg)	15.4
関連文献								
No.	14	遺跡名	沖打越1号墳・沖打越中世墓(第2次)	おきうちこしらふん、 おきうちこしらうせいぼ	台帳番号	216	—	a1302 a1247
所在地	伊賀市沖打越			事業主体	三重県農水商工部 農山漁村室			
調査原因	農免農道事業(依那古2期地区)			費用負担	三重県農水商工部			
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	伊藤裕俊・高松雅文			
調査期間	H22.6.22	～	H22.10.29	調査面積	588.0㎡			
着手通知	H22.7.14	付け	教理第93号	遺物発見	H23.2.22	付け	教委第12-4407号	
調査概要	沖打越1号墳と沖打越中世墓は、沖地区東部丘陵の同一尾根上にある。発掘調査の結果、1号墳は5世紀初頭頃の古墳で、全長は約23mの造出付円墳ないし円墳と考えられる。埋葬施設は2基で、いずれも割竹形木棺を納めている。大きい方の墓坑は長さ8.2mもあるが、出土遺物が少ないため、改葬などの行為が想定される。周溝内からは埴輪・土師器(甕・小型甕)・鉄錐などがまとまって出土した。沖打越中世墓では、昨年度の1次調査に引き続き、火葬骨埋納土坑を確認した。また、墓域中央の土坑からは、「尊知」演「阿」などの書書がある礫石経が出土している。この他に、南斜面には火葬施設と考えられる焼土坑があり、北斜面からは中世石遺物(石仏・五輪塔)などが転落状態で出土した。これらの出土遺物から、沖打越中世墓は13世紀後半頃にはじまり、15世紀末頃まで使われていた墓地と判明した。							
主な遺構	【沖打越1号墳】埋葬施設(2基)・周溝、【沖打越中世墓】火葬骨埋納土坑、焼土坑(茶匙跡)							
主な遺物	【沖打越1号墳】刀子、鏃、鉄錐、埴輪、土師器 【沖打越中世墓】礫石経(「尊知」演「阿」演「言」など)、人骨、石遺物(五輪塔・石仏)						箱数(箱)	13
							重量(kg)	114.1
関連文献								



## (2) 斎宮歴史博物館担当の本発掘調査

No.	15	遺跡名	斎宮跡(第167次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	—	210	
所在地	多気郡明和町斎宮字西加座			事業主体	三重県				
調査原因	学術調査			費用負担	三重県・文化庁※				
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強				
調査期間	H22.5.17		～	H22.9.9	調査面積	537.0㎡			
着手通知					遺物発見	H23.1.13	付け	斎宮第43-4号	
調査概要	平安時代斎宮跡の「柳原区画」内の北東部での調査。奈良時代末から平安時代後期にかけての掘立柱建物26棟や井戸などを検出した。								
主な遺構	掘立柱建物、井戸、溝、土坑、ピット								
主な遺物	土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器						箱数(箱)	88	
							重量(kg)		
関連文献	『史跡斎宮跡第167次現地説明会資料』2010								

No.	16	遺跡名	斎宮跡(第168次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	—	210	
所在地	多気郡明和町斎宮字西加座			事業主体	三重県				
調査原因	学術調査			費用負担	三重県・文化庁※				
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	角正芳浩				
調査期間	H22.7.20		～	H22.8.30	調査面積	239.0㎡			
着手通知					遺物発見	H23.1.5	付け	斎宮第100-5号	
調査概要	平安時代斎宮跡の「下園東区画」内の南東部での調査。南側の区画溝や、平安前期の掘立柱建物6棟などを確認した。埋土より多量の土器が出た。								
主な遺構	掘立柱建物、区画溝、土坑、ピット								
主な遺物	土師器、須恵器、緑釉陶器、灰釉陶器、墨書土器						箱数(箱)	30	
							重量(kg)		
関連文献									

No.	17	遺跡名	斎宮跡(第169次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	—	210	
所在地	多気郡明和町斎宮字御館			事業主体	三重県				
調査原因	学術調査			費用負担	三重県・文化庁※				
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強				
調査期間	H22.9.27		～	H22.10.25	調査面積	71.0㎡			
着手通知					遺物発見	H23.1.13	付け	斎宮第136-7号	
調査概要	平安時代斎宮跡の「御館区画」の南西隅に位置し、東西区画道路と南北区画道路の交差点の調査。捜乱などによって区画道路側溝は検出できなかった。								
主な遺構	溝								
主な遺物	土師器、須恵器、瓦						箱数(箱)	1	
							重量(kg)		
関連文献									

No.	18	遺跡名	斎宮跡(第171次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	—	210	
所在地	多気郡明和町斎宮字柳原			事業主体	三重県				
調査原因	学術調査			費用負担	三重県・文化庁※				
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強				
調査期間	H22.6.24		～	H22.11.18	調査面積	37.0㎡			
着手通知					遺物発見	H23.1.13	付け	斎宮第45-7号	
調査概要	平安時代斎宮跡の内院推定地である「牛葉東区画」の北端の調査。平安時代の掘立柱建物1棟のほか、平安時代後期の溝を検出し、埋土より多量の土器が出た。								
主な遺構	掘立柱建物、溝								
主な遺物	土師器、須恵器、緑釉陶器、鉄製品、墨書土器						箱数(箱)	196	
							重量(kg)		
関連文献									

No.	19	遺跡名	斎宮跡(第170-1次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	—	210	
所在地	多気郡明和町斎宮字柳原			事業主体	明和町				
調査原因	樹木抜根			費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※				
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	角正芳浩				
調査期間	H22.4.19		～	H22.4.23	調査面積	64.0㎡			
着手通知					遺物発見	H23.3.15	付け	斎宮第222-5号	
調査概要	平安時代斎宮跡の内院推定地である「牛葉東区画」内の中央北端での調査。北辺区画道路南側溝のほか、土坑を検出した。								
主な遺構	区画道路南側溝、土坑								
主な遺物	土師器、須恵器、円面硯						箱数(箱)	6	
							重量(kg)		
関連文献									

No.	20	遺跡名	斎宮跡(第170-2次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	—	210
所在地	多気郡明和町竹川字古里			事業主体	明和町			
調査原因	住宅新築			費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※			
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強			
調査期間	H22.4.5	～	H22.4.16	調査面積	94.2㎡			
着手通知		-		遺物発見	H23.3.15	付け	斎宮第202-5号	
調査概要	斎宮歴史博物館北側での調査。奈良時代の掘立柱建物1棟、室町時代の土坑、溝。							
主な遺構	掘立柱建物、溝、土坑、ピット							
主な遺物	土師器、須恵器、陶器			箱数(箱)			4	
関連文献				重量(kg)				

No.	21	遺跡名	斎宮跡(第170-3次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	—	210
所在地	多気郡明和町斎宮字木葉山			事業主体	明和町			
調査原因	住宅新築			費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※			
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強			
調査期間	H22.6.3	～	H22.6.9	調査面積	62.0㎡			
着手通知		-		遺物発見	H23.3.9	付け	斎宮第208-5号	
調査概要	史跡中央南側での調査。遺構密度の薄い地区。時期不明の土坑、柱穴。							
主な遺構	土坑、ピット							
主な遺物	土師器、陶器			箱数(箱)			1	
関連文献				重量(kg)				

No.	22	遺跡名	斎宮跡(第170-4次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	—	210
所在地	多気郡明和町斎宮字鈴池			事業主体	明和町			
調査原因	住宅改築			費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※			
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強			
調査期間	H22.7.6	～	H22.7.20	調査面積	60.0㎡			
着手通知		-		遺物発見	H23.3.9	付け	斎宮第200-5号	
調査概要	平安時代斎宮の「鈴池西區画」南側中央での調査。平安時代前期の土坑1基、平安時代後期の溝1条、土坑1基を確認。							
主な遺構	溝、土坑、ピット							
主な遺物	土師器、陶器			箱数(箱)			3	
関連文献				重量(kg)				

No.	23	遺跡名	斎宮跡(第170-5次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	—	210
所在地	多気郡明和町斎宮字広頭			事業主体	明和町			
調査原因	鉄柱撤去、新設			費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※			
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強			
調査期間	H22.7.9	～	H22.7.9	調査面積	8.0㎡			
着手通知		-		遺物発見		付け		
調査概要	近鉄敷地内での調査。軌道下の遺構面は削平されていない。土坑1基を確認したが、遺物がなく時期は不明。							
主な遺構	土坑							
主な遺物	なし			箱数(箱)				
関連文献				重量(kg)				

No.	24	遺跡名	斎宮跡(第170-6次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	—	210
所在地	多気郡明和町斎宮字牛葉			事業主体	明和町			
調査原因	浄化槽			費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※			
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強			
調査期間	H22.9.27	～	H22.9.27	調査面積	3.0㎡			
着手通知		-		遺物発見		付け		
調査概要	平安時代斎宮の「内山東區画」内の南側中央での調査。攪乱により、遺構・遺物は確認できなかった。							
主な遺構	なし							
主な遺物	なし			箱数(箱)				
関連文献				重量(kg)				

No.	25	遺跡名	斎宮跡(第170-7次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	-	210
所在地	多気郡明和町斎宮字西前沖			事業主体	明和町			
調査原因	進入路			費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※			
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強			
調査期間	H22.8.23		~	H22.8.27	調査面積	10.0㎡		
着手通知		-			遺物発見	H23.3.9	付け	斎宮第236-5号
調査概要	平安時代斎宮の「西加座北区画」の北側での調査。鎌倉時代の溝2条を抽出。							
主な遺構	溝、ピット							
主な遺物	土師器、陶器					箱数(箱)		1
関連文献						重量(kg)		

No.	26	遺跡名	斎宮跡(第170-8次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	-	210
所在地	多気郡明和町斎宮字笛川			事業主体	明和町			
調査原因	浄化槽			費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※			
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強			
調査期間	H22.8.27		~	H22.8.27	調査面積	3.0㎡		
着手通知		-			遺物発見		付け	
調査概要	平安時代斎宮の「笛川区画」内での調査。攪乱のため、遺構・遺物は検出できなかった。							
主な遺構	なし							
主な遺物	なし					箱数(箱)		
関連文献						重量(kg)		

No.	27	遺跡名	斎宮跡(第170-9次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	-	210
所在地	多気郡明和町斎宮字牛楽			事業主体	明和町			
調査原因	浄化槽			費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※			
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強			
調査期間	H22.10.6		~	H22.10.6	調査面積	30.0㎡		
着手通知		-			遺物発見	H23.3.8	付け	斎宮第257-5号
調査概要	平安時代斎宮の「牛楽西区画」内での調査。北半分は攪乱で、柱穴を数個検出。							
主な遺構	ピット							
主な遺物	土師器					箱数(箱)		1
関連文献						重量(kg)		

No.	28	遺跡名	斎宮跡(第170-10次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	-	210
所在地	多気郡明和町斎宮字南裏			事業主体	明和町			
調査原因	住宅新築			費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※			
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強			
調査期間	H22.10.12		~	H22.10.15	調査面積	38.0㎡		
着手通知		-			遺物発見	H23.3.9	付け	斎宮第259-5号
調査概要	史跡南部にある畑地の調査。削平により遺構はなし。							
主な遺構								
主な遺物	土師器					箱数(箱)		1
関連文献						重量(kg)		

No.	29	遺跡名	斎宮跡(第170-11次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	-	210
所在地	多気郡明和町斎宮字中垣内			事業主体	明和町			
調査原因	住宅建て替え			費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※			
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強			
調査期間	H22.12.2		~	H22.12.3	調査面積	42.0㎡		
着手通知		-			遺物発見	H23.3.9	付け	斎宮第264-5号
調査概要	史跡南西部での鋼管杭打設位置のトレンチ調査。溝、柱穴を検出。							
主な遺構	溝、ピット							
主な遺物	土師器					箱数(箱)		1
関連文献						重量(kg)		

No.	30	遺跡名	斎宮跡(第170-12次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	—	210
所在地	多気郡明和町斎宮字牛業			事業主体	明和町			
調査原因	住宅建て替え			費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※			
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強			
調査期間	H22.12.6		～	H22.12.6	調査面積	9.0㎡		
着手通知		付			遺物発見	H23.3.15	付	斎宮第268-5号
調査概要	平安時代斎宮の「跡池西區画」での調査。溝2条を検出。							
主な遺構	溝							
主な遺物	土師器						箱数(箱)	1
							重量(kg)	
関連文献								

No.	31	遺跡名	斎宮跡(第170-13次調査)	さいくうあと	台帳番号	442	—	210
所在地	多気郡明和町斎宮字中垣内			事業主体	明和町			
調査原因	住宅建て替え			費用負担	明和町・県教育委員会・文化庁※			
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	新名強			
調査期間	H23.3.2		～	H23.3.4	調査面積	25.0㎡		
着手通知		付			遺物発見	H23.3.18	付	斎宮第241-5号
調査概要	史跡南西部での調査。溝1条検出。							
主な遺構	溝							
主な遺物	土師器						箱数(箱)	1
							重量(kg)	
関連文献								

### (3)市町機関担当の本発掘調査

No.	32	遺跡名	東村B城跡	ひがしむらびーじょうあと	台帳番号	214	—	a108
所在地	いなべ市北勢町東村			事業主体	民間業者			
調査原因	携帯電話用鉄塔建設			費用負担	事業者			
調査機関	いなべ市教育委員会			担当者	三品典生			
調査期間	H22.5.26		～	H22.7.30	調査面積	256.0㎡		
着手通知		付		い教生第116号	遺物発見		付	い教生第310号
調査概要	中世城館の堀跡確認							
主な遺構	堀跡							
主な遺物	近世陶器						箱数(箱)	13
							重量(kg)	11.7
関連文献								

No.	33	遺跡名	見上遺跡	けんじょういせき	台帳番号	214	—	c143
所在地	いなべ市大安町大井田			事業主体	いなべ市			
調査原因	市道建設			費用負担	いなべ市			
調査機関	いなべ市教育委員会			担当者	三品典生			
調査期間	H22.9.21		～	H23.1.31	調査面積	830.0㎡		
着手通知		付		い教生第192号	遺物発見		付	い教生第309号
調査概要	中世の掘立柱建物跡、古代の竪穴建物跡を確認							
主な遺構	掘立柱建物跡1棟、竪穴建物跡1棟							
主な遺物	土師器、須恵器、山茶碗						箱数(箱)	27
							重量(kg)	24.3
関連文献								

No.	34	遺跡名	出口遺跡	でぐちいせき	台帳番号	205	—	a82
所在地	桑名市大字柳字柳田			事業主体	民間業者			
調査原因	福祉施設			費用負担	事業者			
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	宇佐見亜紀			
調査期間	H22.5.25		～	H22.5.25	調査面積	15.0㎡		
着手通知		付			遺物発見		付	
調査概要	浄化槽部分が調査対象。中世の遺物包含層を確認したが、遺構は確認されず。							
主な遺構	なし							
主な遺物	古瀬戸等						箱数(箱)	1
							重量(kg)	
関連文献								

No.	35	遺跡名	天王平遺跡	てんのうびらいせき	台帳番号	205	—	b57
所在地	桑名市多度町小山宇天王平			事業主体	個人			
調査原因	個人住宅			費用負担	桑名市			
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	宇佐見重紀			
調査期間	H22.6.9	～	H22.6.9	調査面積	9.4㎡			
着手通知	H22.7.29	付け	教文第31号の3	遺物発見	付け			
調査概要	擁壁及び深基礎部分が調査対象。表土直下で遺構面(地山面)を検出したが、顕著な遺構は確認されず。							
主な遺構	なし							
主な遺物	なし						箱数(箱)	
							重量(kg)	
関連文献								

No.	36	遺跡名	桑名城跡	くわなじょうあと	台帳番号	205	—	a100
所在地	桑名市吉之丸			事業主体	民間業者			
調査原因	水道敷設			費用負担	事業者			
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	斉藤理			
調査期間	H22.6.24	～	H22.6.25	調査面積	21.6㎡			
着手通知		付け		遺物発見	付け			
調査概要	開発深度が遺構まで到達せず。近世以降のレンガ基礎を検出。							
主な遺構	なし							
主な遺物	近世陶磁器						箱数(箱)	1
							重量(kg)	
関連文献								

No.	37	遺跡名	寺跡遺跡	てらあといせき	台帳番号	205	—	a130
所在地	桑名市大字江場字中継			事業主体	民間業者			
調査原因	店舗			費用負担	事業者			
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	斉藤理			
調査期間	H22.8.11	～	H22.8.11	調査面積	71.7㎡			
着手通知	H22.8.24	付け	教文第287号	遺物発見	付け			
調査概要	表層改良部分が調査対象。貝混じりの中世遺物包含層を確認したが、顕著な遺構は検出されず。							
主な遺構	なし							
主な遺物	土師器、山茶碗、常滑壺、瓦、木製品、獣骨、貝						箱数(箱)	1
							重量(kg)	
関連文献								

No.	38	遺跡名	桑名城下町遺跡	くわなじょうかまちいせき	台帳番号	205	—	a99
所在地	桑名市宝殿町			事業主体	個人			
調査原因	個人住宅			費用負担	桑名市			
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	斉藤理			
調査期間	H22.8.18	～	H22.8.18	調査面積	3.6㎡			
着手通知	H22.8.24	付け	教文第242号	遺物発見	付け			
調査概要	建物基礎部分が調査対象。近世の遺物包含層を確認したが、顕著な遺構は検出されず。							
主な遺構	なし							
主な遺物	近世陶磁器						箱数(箱)	1
							重量(kg)	
関連文献								

No.	39	遺跡名	七和庵寺	ななわはいじ	台帳番号	205	—	a44
所在地	桑名市大字森忠字笠坊谷、大字芳ヶ崎字大辻			事業主体	個人			
調査原因	個人住宅			費用負担	桑名市			
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	斉藤理			
調査期間	H22.9.13	～	H22.9.13	調査面積	3.6㎡			
着手通知		付け		遺物発見	付け			
調査概要	浄化槽設置部分が調査対象。遺構は検出されなかった。							
主な遺構	なし							
主な遺物	常滑壺						箱数(箱)	1
							重量(kg)	
関連文献								

No.	40	遺跡名	東方台地遺跡	ひがしかたのいちいせき	台帳番号	205	—	a52
所在地	桑名市東方字尾畑地内			事業主体	民間業者			
調査原因	宅地造成			費用負担	事業者			
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	齊藤理			
調査期間	H22.12.4	～		H23.2.28	調査面積	1,222.0㎡		
着手通知	H23.3.22	付け	教文第207号の1	遺物発見	付け			
調査概要	調査区を南西から北東に向かって横切る大溝及び小土坑等を多数検出した。							
主な遺構	溝、土坑							
主な遺物	土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗			箱数(箱)			14	
				重量(kg)				
関連文献								
No.	41	遺跡名	平田遺跡(第19次)	ひらたいせき	台帳番号	207	—	388
所在地	鈴鹿市平田本町一丁目			事業主体	鈴鹿市水道局			
調査原因	平田送水場改築			費用負担	水道局			
調査機関	鈴鹿市			担当者	吉田隆史			
調査期間	H22.2.2	～		H22.7.7	調査面積	3,660.0㎡		
着手通知	H22.2.5	付け	鈴考第1093号	遺物発見	H22.7.8	付け	鈴考第394号	
調査概要	送水場改築に伴い、本発掘調査を実施した。調査の結果、鈴鹿川右岸の河岸段丘先端部において、縄文時代から中世に至る遺構及び遺物を確認した。特に、幅約9mを測る古代道路跡は総長約130mに達し、その直進性を再確認できた。また、鎌倉時代の屋敷地を検出し、内部施設からは青磁等が出土している。							
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、柵列、方形周溝墓、土器焼成坑、道路状遺構、橋状遺構、土坑、溝、井戸、ピット							
主な遺物	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、石器、土師、灰釉陶器、緑釉陶器、山茶碗、山茶树鉢、青磁、白磁、円面硯、鉄釘、瓦			箱数(箱)			64	
				重量(kg)			160.8	
関連文献	吉田真由美『平田遺跡—第1次発掘調査概要報告—』2005 鈴鹿市考古博物館など							
No.	42	遺跡名	平田遺跡(第20次)	ひらたいせき	台帳番号	207	—	388
所在地	鈴鹿市弓削一丁目			事業主体	個人			
調査原因	個人住宅			費用負担	鈴鹿市※			
調査機関	鈴鹿市			担当者	吉田真由美			
調査期間	H22.6.10	～		H22.6.17	調査面積	6.0㎡		
着手通知	H22.6.14	付け	鈴考第276号	遺物発見	H22.6.23	付け	鈴考第329号	
調査概要	個人住宅建築に伴い、浄化槽設置部分について本発掘調査を実施した。調査の結果、古墳時代の土坑、時期不明の柱穴を検出した。過去の調査で確認した古墳の周溝が想定される地点であったが、確認されなかった。							
主な遺構	土坑、柱穴							
主な遺物	土師器、須恵器、山茶碗、中世陶器、近世陶器、近世瓦			箱数(箱)			1	
				重量(kg)			2.0	
関連文献								
No.	43	遺跡名	鈴城山遺跡(第3次)	ばんじょうざんいせき	台帳番号	207	—	18
所在地	鈴鹿市木田町字上條			事業主体	個人			
調査原因	その他農業			費用負担	鈴鹿市※			
調査機関	鈴鹿市			担当者	田部剛士			
調査期間	H22.6.21	～		H23.3.31	調査面積	740.0㎡		
着手通知	H22.6.21	付け	鈴考第325号	遺物発見	H23.3.31	付け	鈴考第1213号	
調査概要	主に、弥生時代後期と古墳時代後期の集落跡である。重複が著しく、鈴鹿市内でも遺構が濃密に検出される遺跡である。							
主な遺構	竪穴住居、掘立柱建物、溝、土坑、柱穴							
主な遺物	弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶磁器、石器			箱数(箱)			60	
				重量(kg)			208.7	
関連文献	『鈴城山遺跡発掘調査報告』1994 『三重県埋蔵文化財センター年報』1994 『平成9年度三重県埋蔵文化財年報』1998 『鈴鹿市埋蔵文化財調査年報V』1998 『平成10年度三重県埋蔵文化財年報』1999							
No.	44	遺跡名	神戸中学校遺跡(第4次)	かんべちゆうがつかういせき	台帳番号	207	—	168
所在地	鈴鹿市十宮四丁目			事業主体	個人			
調査原因	個人住宅			費用負担	鈴鹿市※			
調査機関	鈴鹿市			担当者	吉田真由美			
調査期間	H22.7.16	～		H22.7.28	調査面積	1,150.0㎡		
着手通知	H22.7.22	付け	鈴考第445号	遺物発見	H22.8.11	付け	鈴考第528号	
調査概要	個人住宅建築に伴い、本発掘調査を実施した。基本層序は造成土(0.25～0.3m)、旧耕作土(0.1～0.2m)、包含層(黒褐色・暗褐色土泥・0.4m)、褐色土(地山)となっている。現状から0.75～0.9m掘削した地山(褐色土)直上において遺構の検出を行った。調査の結果、掘立柱建物2棟、多数の柱穴を確認した。柱穴からは縄文土器・土師器が出土した。							
主な遺構	掘立柱建物、柱穴							
主な遺物	縄文土器、弥生土器、土師器			箱数(箱)			1	
				重量(kg)			0.8	
関連文献								

No.	45	遺跡名	上箕田遺跡(第8次)	ひらたいせき	台帳番号	207	-	164
所在地	鈴鹿市上箕田一丁目			事業主体	個人			
調査原因	個人住宅			費用負担	鈴鹿市※			
調査機関	鈴鹿市			担当者	吉田真由美			
調査期間	H22.8.3		~	H22.8.6	調査面積	32.0㎡		
着手通知	H22.8.5	付け	鈴考第495号	遺物発見	H22.8.25	付け	鈴考第569号	
調査概要	個人住宅建築に伴い、擁壁設置部分について本発掘調査を実施した。耕作土を0.2m掘削した地山(灰褐色シルト)直上において遺構の検出を行った。調査の結果、トレンチ1では土坑・柱穴、トレンチ2では土坑を検出、弥生土器、木片、軽石などが出土した。							
主な遺構	土坑、柱穴							
主な遺物	弥生土器、軽石、土製品、木片						箱数(箱)	2
関連文献							重量(kg)	2.8

No.	46	遺跡名	平田遺跡(第21次)	ひらたいせき	台帳番号	207	-	388
所在地	鈴鹿市弓削一丁目			事業主体	鈴鹿市			
調査原因	道路			費用負担	鈴鹿市			
調査機関	鈴鹿市			担当者	吉田真由美			
調査期間	H22.9.29		~	H22.10.8	調査面積	70.9㎡		
着手通知	H22.9.29	付け	鈴考第678号	遺物発見	H22.10.22	付け	鈴考第764号	
調査概要	道路改良工事に伴い、側溝埋設箇所について本発掘調査を実施した。基本層序は表土(0.3m)、攪乱層(0.2~0.4m)黄褐色土/砂礫層(基盤層)となっている。調査の結果、古墳の周溝と思われるU字状の溝、古代の谷状の窪込み、中世の溝・土坑、近世の溝・井戸、時期不明の柱穴を確認した。							
主な遺構	溝、土坑、柱穴、井戸							
主な遺物	埴輪、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、常滑焼、天目茶碗、近世陶器、近世瓦、石弁						箱数(箱)	4
関連文献							重量(kg)	15.2

No.	47	遺跡名	長者原敷遺跡(第28次)	ちようじゃやしきいせき	台帳番号	207	-	363
所在地	鈴鹿市広瀬町字中土居			事業主体	鈴鹿市			
調査原因	学術研究			費用負担	鈴鹿市※			
調査機関	鈴鹿市			担当者	田部剛士			
調査期間	H22.11.1		~	H23.1.31	調査面積	59.0㎡		
着手通知	H22.11.1	付け	鈴考第811号	遺物発見		付け		
調査概要	北方宮街の中心軸と想定される位置の北側延長上に調査区を設けたが、遺構・遺物ともに確認されなかった。							
主な遺構	なし							
主な遺物	なし						箱数(箱)	
関連文献	田部剛士『伊勢国府跡13』2011						重量(kg)	

No.	48	遺跡名	平田遺跡(第22次)	ひらたいせき	台帳番号	207	-	388
所在地	鈴鹿市平田本町一丁目			事業主体	鈴鹿市水道局			
調査原因	平田逆水場改築			費用負担	水道局			
調査機関	鈴鹿市			担当者	吉田隆史			
調査期間	H22.11.18		~	H23.2.25	調査面積	1,380.0㎡		
着手通知	H22.11.18	付け	鈴考第855号	遺物発見	H23.2.24	付け	鈴考第1281号	
調査概要	逆水場改築に伴い、本発掘調査を実施した。今回の調査は第19次調査で行わなかった建物部分に対するものである。鈴鹿川右岸に発達した舌状段丘先端部において、主に古墳時代の周溝状遺構及び古代の大溝、中世の区画溝等を検出した。出土遺物は縄文時代から中世と幅広い。							
主な遺構	竪穴状遺構、掘立柱建物、土坑、溝、ピット							
主な遺物	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、石器、土製品、灰釉陶器、緑釉陶器、山茶碗、山皿						箱数(箱)	21
関連文献	吉田真由美『平田遺跡—第1次発掘調査概要報告—』2005 鈴鹿市考古博物館など						重量(kg)	73.8

No.	49	遺跡名	口山遺跡(第1次)	くちやまいせき	台帳番号	207	-	730
所在地	鈴鹿市河田町字丸山			事業主体	個人			
調査原因	個人住宅			費用負担	鈴鹿市※			
調査機関	鈴鹿市			担当者	田部剛士			
調査期間	H23.3.7		~	H23.3.10	調査面積	114.5㎡		
着手通知	H23.3.7	付け	鈴考第1245号	遺物発見	H23.3.15	付け	鈴考第1247号	
調査概要	調査区の北側半分程度は既存建物によって攪乱されていたが、南西側において土坑1基と溝2条が確認された。遺物はほとんどなく縄文時代は不明である。							
主な遺構	溝、土坑							
主な遺物	土師器						箱数(箱)	1
関連文献							重量(kg)	0.1

No.	50	遺跡名	鈴鹿開跡	すずかのせきあと	台帳番号	210	—	b1
所在地	亀山市岡町新所字城山			事業主体	亀山市			
調査原因	学術研究			費用負担	国・県・亀山市※			
調査機関	亀山市教育委員会			担当者	山口昌直			
調査期間	H22.11.29	～	H23.2.28	調査面積	100.0㎡			
着手通知	H22.11.29	付け	亀ま文第1409号	遺物発見	付け			
調査概要	遺跡の西部、城山西斜面の発掘調査を行った。布目痕跡のある瓦が出土したが、鈴鹿開にかかわると考えられる遺構は検出されなかった。							
主な遺構	なし							
主な遺物	瓦			箱数(箱)				1
				重量(kg)				
関連文献								

No.	51	遺跡名	亀山城跡	かめやまじょうせき	台帳番号	210	—	a200
所在地	亀山市西丸町			事業主体	亀山市			
調査原因	遺跡整備			費用負担	国・亀山市			
調査機関	亀山市教育委員会			担当者	山口昌直			
調査期間	H22.12.17	～	H23.2.28	調査面積	94.0㎡			
着手通知	H22.12.17	付け	亀ま文第1481号	遺物発見	付け			
調査概要	亀山城西之丸外堀の発掘調査を行い、外堀及び江戸時代末期の町屋遺構を確認。また、外堀最下部に堀構築の際の構造物(桐木・木杭)を確認した。							
主な遺構	堀、集石							
主な遺物	瓦、陶器、磁器			箱数(箱)				6
				重量(kg)				
関連文献								

No.	52	遺跡名	亀山城跡	かめやまじょうせき	台帳番号	210	—	a200
所在地	亀山市本丸町			事業主体	亀山市			
調査原因	遺跡整備			費用負担	国・亀山市			
調査機関	亀山市教育委員会			担当者	山口昌直			
調査期間	H23.1.11	～	H23.3.16	調査面積	136.2㎡			
着手通知	H23.1.11	付け	亀ま文第1482号	遺物発見	付け			
調査概要	亀山城多門櫓石垣北側の発掘調査を行い、本丸御殿の一部や井戸跡を確認した。							
主な遺構	井戸、礎石、土坑							
主な遺物	瓦、陶器、磁器			箱数(箱)				120
				重量(kg)				
関連文献								

No.	53	遺跡名	多気北畠氏遺跡第34次 (上多気六田地区第7次)	たげきたばたけしいせき (かみたげろくたちく)	台帳番号	201	—	j26-19
所在地	津市美杉町下多気字六田			事業主体	津市教育委員会			
調査原因	学術調査			費用負担	津市※国補			
調査機関	津市教育委員会			担当者	藤田充子			
調査期間	H22.10.1	～	H22.12.27	調査面積	364.5㎡			
着手通知	H22.10.12	付け	津市生第1606号	遺物発見	H22.12.21	付け	津市生第1930号	
調査概要	北畠氏館跡の八手復川を挟んで対岸に位置する上多気六田地区の史跡指定に向け、範囲確認を行うため調査区を6箇所設定して発掘調査を行った。							
主な遺構	1区 兩平のための遺構なし、2-3区 氈蓋原のための遺構なし、4区 集石土坑、溝、ピット、5区 13世紀代の溝、ピット、6区 石組み(井戸)か、土坑、ピット							
主な遺物	土師器、陶器、磁器、瓦器			箱数(箱)				18
				重量(kg)				17.2
関連文献	『津市美杉町多気北畠氏遺跡第32次発掘調査報告—上多気六田地区第6次—』津市教育委員会 2011							

No.	54	遺跡名	旗山遺跡	はやまいせき	台帳番号	201	—	h201
所在地	津市一志町高野字端山			事業主体	個人			
調査原因	共同住宅建設			費用負担	個人			
調査機関	津市教育委員会			担当者	村木一弥			
調査期間	H22.11.5	～	H22.11.16	調査面積	40.0㎡			
着手通知	H22.11.9	付け	津市生第1570号	遺物発見	H22.11.24	付け	津市生第1697号	
調査概要	共同住宅の基礎の部分が発掘調査した。すべてのトレンチから南北方向に延びる溝を確認した。							
主な遺構	溝、土坑							
主な遺物	土師器、須恵器			箱数(箱)				1
				重量(kg)				0.6
関連文献	『一志町史』一志町 1981							



No.	55	遺跡名	下之川富田遺跡	しものかわとみだいせき	台帳番号	201	—	j11
所在地	津市美杉町下之川字富田			事業主体	津市			
調査原因	風呂屋橋梁拡幅			費用負担	津市			
調査機関	津市教育委員会			担当者	村木一弥			
調査期間	H22.12.1		~	H22.12.9	調査面積	69.0㎡		
着手通知	H22.12.6	付け	津市生第1818号	遺物発見	H22.12.15	付け	津市生第1922号	
調査概要	遺跡東端で発掘調査を行い、溝や落ち込みを確認した。							
主な遺構	溝、落ち込み							
主な遺物	銅銭(開元通寶)			箱数(箱)			1	
				重量(kg)			0.02	
関連文献	『下之川富田』三重県埋蔵文化財センター 1998							

No.	56	遺跡名	蛇亀橋遺跡	じゃがめばいせき	台帳番号	204	—	b232
所在地	松阪市雑野島田町字焼野			事業主体	松阪市			
調査原因	河川改修			費用負担	原因者			
調査機関	松阪市教育委員会			担当者	寺嶋昭洋			
調査期間	H22.5.31		~	H22.10.1	調査面積	1,400.0㎡		
着手通知	H22.3.1	付け	09松教文第001952号	遺物発見	H22.7.13	付け	11松教文第000587号	
調査概要	遺跡西部の発掘調査を行い、縄文時代中期・晩期の土坑・落ち込み等の遺構を確認した。							
主な遺構	焼土坑、集石土坑、落ち穴							
主な遺物	縄文土器、石器、土師器等			箱数(箱)			35	
				重量(kg)				
関連文献								

No.	57	遺跡名	西肥留遺跡	にしひるいせき	台帳番号	204	—	c6
所在地	松阪市西肥留町字南浦			事業主体	松阪市			
調査原因	道跡			費用負担	原因者			
調査機関	松阪市教育委員会			担当者	寺嶋昭洋			
調査期間	H22.10.12		~	H23.3.31	調査面積	898.6㎡		
着手通知	H22.10.26	付け	10松教文第001153号	遺物発見		付け		
調査概要	遺跡西端部の発掘調査を行い、中世の水田跡、水路跡等の遺構とそれらに伴う遺物を確認した。							
主な遺構	水田、水路、杭列							
主な遺物	中世土師器、陶磁器片			箱数(箱)				
				重量(kg)				
関連文献								

No.	58	遺跡名	中林・中道遺跡	なかばやし・なかみちいせき	台帳番号	204	—	c14
所在地	松阪市中道町字上野田			事業主体	個人			
調査原因	宅地造成			費用負担	原因者			
調査機関	松阪市教育委員会			担当者	寺嶋昭洋			
調査期間	H22.10.12		~	H23.3.31	調査面積	249.0㎡		
着手通知	H22.10.26	付け	10松教文第001154号	遺物発見	H23.7.13	付け	11松教文第000596号	
調査概要	遺跡南端部の発掘調査を行い、中世の水田跡、水路跡、土坑等の遺構とそれらに伴う遺物を確認した。							
主な遺構	水田、水路、土坑							
主な遺物	中世土師器、陶磁器片			箱数(箱)			5	
				重量(kg)				
関連文献								

No.	59	遺跡名	中林・中道遺跡	なかばやし・なかみちいせき	台帳番号	204	—	c14
所在地	松阪市中道町字山ノ腰			事業主体	個人			
調査原因	宅地造成			費用負担	原因者			
調査機関	松阪市教育委員会			担当者	寺嶋昭洋			
調査期間	H23.3.14		~	H23.4.15	調査面積	542.4㎡		
着手通知	H23.3.15	付け	10松教文第001976号	遺物発見		付け		
調査概要	遺跡北部の発掘調査を行い、弥生時代末から古墳時代初頭の土坑、井戸、溝、旧河道等の遺構とそれらに伴う遺物を確認した。							
主な遺構	土坑、井戸、溝、旧河道							
主な遺物	弥生土器、古式土師器			箱数(箱)				
				重量(kg)				
関連文献								

No.	60	遺跡名	金剛坂遺跡(第10次調査)	ふるほりいせき	台帳番号	442	—	38
所在地	多気郡明和町大字金剛坂字辰ノ口			事業主体	個人			
調査原因	個人住宅			費用負担	明和町			
調査機関	明和町			担当者	中野敦夫・乾哲也			
調査期間	H22.5.7	～		H22.5.7	調査面積	6.0㎡		
着手通知	H22.5.10	付け	明査第66号	遺物発見	付け			
調査概要	遺構・遺物なし							
主な遺構								
主な遺物							箱数(箱)	
							重量(kg)	
関連文献								

No.	61	遺跡名	金剛坂遺跡(第9-2次調査)	ふるほりいせき	台帳番号	442	—	38
所在地	多気郡明和町大字金剛坂字辰ノ口			事業主体	明和町			
調査原因	道路			費用負担	明和町			
調査機関	明和町			担当者	中野敦夫・乾哲也			
調査期間	H22.5.13	～		H22.5.28	調査面積	94.0㎡		
着手通知	H22.5.14	付け	明査第55号	遺物発見	付け			
調査概要	遺跡の東端にあたる部分で発掘調査を行い、古墳～平安時代の溝、土坑、ピットを確認した。							
主な遺構	溝、土坑、ピット							
主な遺物	土師器、緑釉陶器						箱数(箱)	
							重量(kg)	
関連文献								

No.	62	遺跡名	古堀遺跡(第5-1次調査)	ふるほりいせき	台帳番号	442	—	748
所在地	多気郡明和町大字上野字古堀			事業主体	個人			
調査原因	個人住宅			費用負担	明和町			
調査機関	明和町			担当者	中野敦夫			
調査期間	H22.8.5	～		H22.8.5	調査面積	12.0㎡		
着手通知	H22.8.5	付け	明査第22-4号	遺物発見	付け			
調査概要	遺構・遺物なし							
主な遺構								
主な遺物							箱数(箱)	
							重量(kg)	
関連文献								

No.	63	遺跡名	古堀遺跡(第5-2次調査)	ふるほりいせき	台帳番号	442	—	748
所在地	多気郡明和町大字上野字古堀			事業主体	個人			
調査原因	個人住宅			費用負担	明和町			
調査機関	明和町			担当者	中野敦夫・乾哲也			
調査期間	H22.10.4	～		H22.10.4	調査面積	4.0㎡		
着手通知	H22.10.4	付け	明査第95-4号	遺物発見	付け			
調査概要	遺構・遺物なし							
主な遺構								
主な遺物							箱数(箱)	
							重量(kg)	
関連文献								

No.	64	遺跡名	北野遺跡	きたのいせき	台帳番号	442	—	228
所在地	多気郡明和町大字斎宮字大頭			事業主体	民間業者			
調査原因	看板設置			費用負担	事業者			
調査機関	明和町			担当者	中野敦夫・乾哲也			
調査期間	H23.2.18	～		H23.2.18	調査面積	9.0㎡		
着手通知	H23.4.28	付け	明査第242-4号	遺物発見	付け			
調査概要	遺跡の中央にあたる部分で発掘調査を行い、時期不明の溝を確認した。							
主な遺構	溝							
主な遺物	なし						箱数(箱)	
							重量(kg)	
関連文献								

No.	65	遺跡名	古堀遺跡(第5-3次調査)	ふるぼりいせき	台帳番号	442	—	746
所在地	多気郡明和町大字上野字古堀			事業主体	個人			
調査原因	個人住宅			費用負担	明和町			
調査機関	明和町			担当者	中野敬夫・乾哲也			
調査期間	H23.2.25	～	H23.2.25	調査面積	4.0㎡			
着手通知	H23.2.28	付け	明査第274-4号	遺物発見	付け			
調査概要	遺構・遺物なし。							
主な遺構								
主な遺物							箱数(箱)	
							重量(kg)	
関連文献								

No.	66	遺跡名	古堀遺跡(第5-4次調査)	ふるぼりいせき	台帳番号	442	—	746
所在地	多気郡明和町大字上野字古堀			事業主体	個人			
調査原因	個人住宅			費用負担	明和町			
調査機関	明和町			担当者	中野敬夫・乾哲也			
調査期間	H23.3.3	～	H23.3.3	調査面積	4.0㎡			
着手通知	H23.3.4	付け	明査第240-4号	遺物発見	付け			
調査概要	遺構・遺物なし。							
主な遺構								
主な遺物							箱数(箱)	
							重量(kg)	
関連文献								

No.	67	遺跡名	森添遺跡	もりぞえいせき	台帳番号	470	—	7
所在地	度会郡度会町上久貝字森添			事業主体	度会町			
調査原因	遺跡整備			費用負担	国・県・度会町			
調査機関	度会町教育委員会			担当者	坂本裕			
調査期間	H23.1.11	～	H23.1.13	調査面積	56.0㎡			
着手通知	H23.1.11	付け	度教第330号	遺物発見	H23.2.23	付け	度教第367号	
調査概要	遺跡の範囲を確認するため7ヶ所(2m×4m)の調査を行った。							
主な遺構	なし							
主な遺物	縄文土器、土師器(古代～中世)、須恵器(飛鳥～奈良時代)						箱数(箱)	1
							重量(kg)	3.6
関連文献								

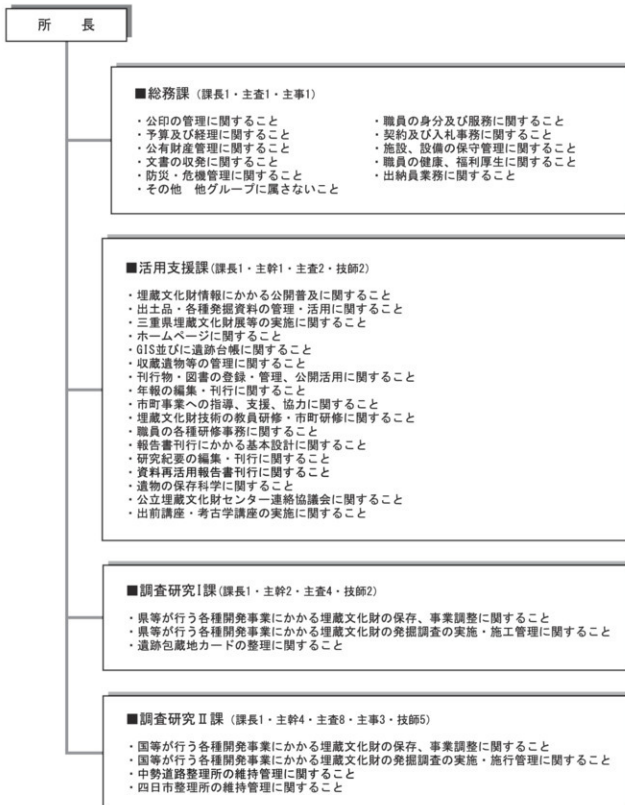
No.	68	遺跡名	殿畑遺跡	とのほたいせき	台帳番号	215	—	d116
所在地	志摩市阿児町国府			事業主体	志摩市			
調査原因	学校建設			費用負担	志摩市			
調査機関	志摩市教育委員会			担当者	萩野珠奈			
調査期間	H22.9.6	～	H22.9.9	調査面積	122.5㎡			
着手通知	H21.12.8	付け	教生人第1-97-1号	遺物発見	H22.2.16	付け	教生人第1-14号(21年度分含む)	
調査概要	平成21年度に行った3次調査の残り部分の調査を行った。遺構・遺物ともに確認されなかった。							
主な遺構	なし							
主な遺物	なし						箱数(箱)	
							重量(kg)	
関連文献								

No.	69	遺跡名	上野城跡	うえのじょうあと	台帳番号	216	—	a358
所在地	伊賀市上野丸之内			事業主体	伊賀市			
調査原因	市街地再開発ビル建設工事			費用負担	伊賀市			
調査機関	伊賀市教育委員会			担当者	石井康晴・福島伸孝			
調査期間	H22.6.3	～	H22.9.3	調査面積	224.0㎡			
着手通知	H22.6.11	付け	伊教生第329号	遺物発見	H22.9.6	付け	伊教生672号	
調査概要	上野城跡東大手門跡南側と西側で発掘調査を行い、明治期に再構築された石垣のつづきを検出した。							
主な遺構	石垣、堀							
主な遺物	陶磁器、瓦、木製品等						箱数(箱)	30
							重量(kg)	135
関連文献	『絵図からみた上野城』『上野城跡(11次)発掘調査報告』							

## II 三重県埋蔵文化財センターの概要

### 1 組織・職員・施設

#### (1) 組織



## (2)職員一覧

所長	河北 秀実					
総務課	課長	村賀 俊二	(斎宮歴史博物館と併任)			
	主査	久田 裕子				
	主事	山本 久美子				
活用支援課	課長	竹内 英昭				
	主幹	中川 明	(松阪市(嬉野分室)駐在)			
	主査	西村 美幸	主査	小山 憲一		
	技師	原田 恵理子	(松阪市(嬉野分室)駐在)			
調査研究Ⅰ課	技師	小林 美沙子	(松阪市(嬉野分室)駐在)			
	課長	森川 常厚	主幹	田中 久生	主幹	伊藤 裕偉
	主査	山口 田美	主査	鈴木 寛也	主査	奥田 勝久
調査研究Ⅱ課	主査	大川 操	技師	高松 雅文	技師	相場 さやか
	課長	田村 陽一				
宮川床上浸水対策事業担当	主幹	林 義男				
新名神担当 (四日市市駐在)	主幹	服部 芳人	主幹	穂積 裕昌	主査	杉野 直也
	主査	岩脇 成人	主査	鈴木 規之	主査	山田 猛
	主事	東谷 洋平	技師	萩原 義彦	技師	石井 智大
	技師	川部 浩司	技師	櫻井 拓馬		
東海環状道担当 (四日市市駐在)	主幹	長谷川 哲也	主事	勝山 孝文		
中勢道路担当 (松阪市駐在)	主査	松葉 和也	主査	森田 啓司	主査	淺尾 太
	主査	西口 剛司	主事	星野 浩行	技師	水橋 公恵

## (3)施設概要

### 三重県埋蔵文化財センター

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503

TEL: 0596-52-1732 FAX: 0596-52-7035

面積: 敷地18,000㎡ 建物4,573㎡ 延床5,077㎡

構造: 鉄筋コンクリート造1階(一部2階)建

※ 建物は、斎宮歴史博物館と共有

### 嬉野分室

〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町501

TEL: 0598-42-5886

面積: 敷地9,219㎡(内4,800㎡) 建築926.25㎡ 延床926.25㎡

構造: 鉄骨平屋建

### 中勢道路整理所

〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町471

TEL: 0598-42-7960 FAX: 0598-42-7961

### 四日市整理所

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1

TEL: 059-363-3195 FAX: 059-363-3196

## 2 公開・普及活動

### (1) 展覧会事業

#### (i) 企画展 第29回 三重県埋蔵文化財展

## みいつけた! 三重の遺跡 新出土品

主催：三重県埋蔵文化財センター・斎宮歴史博物館

会場：斎宮歴史博物館 特別展示室（三重県多気郡明和町竹川503）

期間：平成22年12月11日（土）～平成23年1月16日（日）（26日間）

入場者総数：1,259名（イベント参加者数56名）

展示資料：伊坂遺跡出土石杵、伊坂窯跡出土平瓦、相川西方遺跡出土籠製品・弥生土器、久居城下町遺跡出土陶磁器、浅子谷古墳群出土玉類・鉄織・須恵器、斎宮跡出土一括出土品（重要文化財）、木造赤坂遺跡出土陶質土器（三重県指定有形文化財）、粥見井尻遺跡出土土偶（三重県指定有形文化財）、東庄内A遺跡、国立療養所遺跡、岡田遺跡、小野城跡、島居木遺跡、瀬木遺跡、小谷A遺跡、西野田遺跡、松阪城跡、斎宮池遺跡、小金3号墳、高塚4号墳、外佐田古墳、才良古田谷古墳群、沖打越中世墓、伊勢寺麻寺、伊賀国庁跡、長谷町遺跡、寄贈品等 総数約300点

イベント：発掘調査報告会

平成22年12月19日（日） 午後1時30分～3時30分

伊賀の横穴式石室墳の調査～才良古田谷古墳群・浅子谷古墳群～

伊藤裕偉

玉城丘陵の古墳からみえてくる律令社会への胎動～小金古墳群・高塚古墳群～

石井智大

中勢バイパスの下に眠る遺跡～木造赤坂遺跡・相川西方遺跡～

小林美沙子

概要：平成19年度から21年度に、県内の各所で発掘調査等により出土した、縄文時代から近代にかけての考古資料を遺跡ごとに展示公開した。初公開のものも多く、来訪者の関心は高かった。主な展示品として、県内初の弥生時代の大規模な粘土採掘場である相川西方遺跡から出土した保存状態のよい竹製の籠製品や、横穴式石室がほぼ完全形でみつかった浅子谷古墳群・才良古田谷古墳群出土の玉類・鉄織、新発見の伊坂窯跡出土の平瓦などが挙げられる。また、平成21年度に新指定された斎宮跡出土品（重要文化財）、木造赤坂遺跡出土陶質土器（三重県指定有形文化財）や新たな発見により注目された遺物として粥見井尻遺跡出土土偶、伊勢寺麻寺出土彩釉山水陶器、新たに寄贈された考古資料なども公開した。会場では、ワークシート（一般向け・子供向け）を作成配布し、展示品に対する興味を喚起し、参加者には特製クリアホルダーを配布した。また、小学生以下の子供でも展示に興味を湧くよう、キャラクターやイラストを多く用いた展示を行った。



#### (ii) 県庁舎等での常設展示(通年)

三重県埋蔵文化財センターが収蔵する発掘調査等の出土品を少しでも多くの県民のみならずへ展示公開する機会を設けるため、県庁舎県民ホールで平成10年度から、松阪および伊賀庁舎のロビーで平成13年度から常設展示を行ってきている。平成22年度は、県庁舎県民ホールで2回、松阪庁舎で3回、伊賀庁舎で2回の展示替えを行った。

県庁舎県民ホール：7月29日～「中勢バイパス遺跡シリーズ第1回 舞出北遺跡」（舞出北遺跡を紹介）

3月17日～「中勢バイパス遺跡シリーズ第2回 位田遺跡」（位田遺跡を紹介）

松阪庁舎：8月11日～「速報！相可高校で発掘調査中！」（相可出張遺跡を紹介）

9月9日～「速報！相可高校で飛鳥時代の石組発見！」（相可出張遺跡を紹介）

11月26日～「松阪市朝見遺跡の発掘調査を行いました！」（朝見遺跡を紹介）

伊賀庁舎：8月19日～「現在にのみがえる城下町のくらし～上野城下町遺跡～」

（上野城下町遺跡を紹介）

3月10日～「弥生土器 模様いろいろ～弥生人の表現美～」(北切遺跡・伊賀国府跡を紹介)

## (2) 公開考古学講座

三重県埋蔵文化財センターでは、これまで多くの調査を実施してきたが、県民により深く三重の歴史に触れる機会を提供して文化力の向上に寄与するため、これらの調査資料等を活用して、公開考古学講座を開催している。

平成 22 年度は、三重県埋蔵文化財センター嬉野分室学習室を主な会場として全 6 回（隔月 1 回）開催し、合計 408 名の参加を得た。講師は、三重県埋蔵文化財センター職員のほか、市町教育委員会・県立博物館・県教育委員会の職員にも依頼し、バラエティー豊かな内容とした。

- 第 1 回 平成 22 年 4 月 24 日（土）13:30～15:00  
徳積裕昌 「三重の祭祀遺跡」 参加者 34 名
- 第 2 回 平成 22 年 6 月 26 日（土）13:30～15:00  
小瀬学（三重県教育委員会社会教育・文化財保護室）  
「最新！？縄文時代の考古事情」 参加者 40 名
- 第 3 回 平成 22 年 8 月 21 日（土）13:30～15:00  
石井智大 「邪馬台国の所在地はなぜわからないのか～論争の歴史と最近の考古学的成果」  
参加者 130 名
- 第 4 回 平成 22 年 10 月 23 日（土）10:00～16:00 三重県立博物館と共催  
村田匡（松阪市教育委員会）  
フィールドワーク in 松阪「～城のある街を訪ね歩く～松阪編」 参加者 18 名
- 第 5 回 平成 22 年 12 月 18 日（土）13:30～15:00  
小山憲一 「死者の招き？～古代火葬墓の発見とその後の調査から～」 参加者 50 名
- 第 6 回 平成 23 年 2 月 26 日（土）13:30～15:00  
竹田憲治（三重県教育委員会社会教育・文化財保護室）  
「戦国騒乱と三重の中世城館 3」 参加者 136 名

## (3) 現地説明会

遺跡の発掘調査後、現地（もしくは終了後近接の会場）などにおいて、発掘調査の成果をいち早く公開し、地域の方々を含め、多くの方に遺跡の理解を深めていただくために現地説明会を開催している。平成 22 年度は以下の 9 件を実施し、985 名の参加を得た。

事業名	開催日	遺跡名	人数	内容
現地説明会	7月3日(土)	相可出張遺跡(第2次)	20名	弥生時代の土器、飛鳥時代～中世の大溝、中世墓の公開・説明を予定。雨天中止したが、来訪者に説明。
現地説明会	8月7日(土)	万所遺跡(第3次)	120名	平安時代の建物跡や鎌倉時代の墓跡および青磁などの出土遺物の公開・説明。
現地説明会	8月29日(日)	相可出張遺跡(第2次)	110名	飛鳥時代～中世の大溝の底で確認された、飛鳥時代の石組遺構について公開・説明。
現地説明会	9月18日(土)	沖打越1号墳・ 沖打越中世墓	126名	伊賀地域の有力者の墓と考えられる古墳と、鎌倉時代の中世墓を公開・説明。
現地説明会	12月4日(土)	中野山遺跡(第2次)	150名	竪穴住居、掘立柱建物等からなる古代の集落跡の公開・説明。
現地説明会	12月5日(日)	林場内遺跡	75名	古墳時代初期の環濠と多数の出土遺物の公開・説明。
現地説明会	12月18日(土)	相川西方遺跡(第3次)	180名	弥生時代終わり頃の、250基にも及ぶ粘土探掘坑を公開・説明。
現地説明会	12月23日(木・祝)	塚田古墳群・ 田丸遺跡(第2次)	54名	古墳時代後期の古墳周溝等の公開・説明。
現地説明会	1月23日(日)	田丸遺跡(第2次)	150名	幅40mの旧河道とそこに設置された堰(シガラミ)及び木製品等の公開・説明。

#### (4) 出前講座・バックヤードツアー

三重県埋蔵文化財センターでは、県民や学校教育現場からの様々なニーズにこたえるため、出土した遺物を持参して行う「出前講座」、センターでの業務を紹介する「バックヤードツアー」（斎宮歴史博物館と共同で行い、主に斎宮歴史博物館の学芸普及課が案内を行う）、遺跡の発掘そのものに触れていただく「遺跡見学」・「現地説明会」などを行っている。平成 22 年度は出前講座 21 件・807 名（引率者 7 名を除いた数字）、バックヤードツアー 41 件・2,660 名（引率者 168 名を除いた数字）、遺跡見学 6 件・164 名（引率者 7 名を除いた数字）の参加があった。

##### (i) 出前講座

##### (4)(i) 出前講座1頁

事業名	開催日	参加団体名	学年	人数	引率者	内容
出前講座(歴史教室)	5月11日(火)	津市久居老人福祉センター		120名		震出川流域の古代寺院についての解説。
出前講座(歴史教室)	5月20日(木)	松阪市立朝見小学校	6年生	14名	1名	学校周辺の出土遺物による地域の歴史学習。
出前講座(歴史教室)	5月21日(金)	みえ夢学園高等学校	1年次生	52名		学校敷地内の安濃津柳山遺跡による歴史学習、埋蔵文化財センターの仕事概要説明による職業学習。
出前講座(歴史教室)	5月21日(金)	みえ夢学園高等学校	1年次生	54名		同上
出前講座(歴史教室)	5月21日(金)	みえ夢学園高等学校	1年次生	40名		同上
出前講座(歴史教室)	6月2日(水)	松阪市立機殿小学校	6年生	8名	2名	学校周辺の遺跡の紹介、土器の施文体験を通じた、地域の歴史学習。
出前講座(歴史教室)	8月2日(月)	伊勢市教育推進研究会中学校社会部会		20名		伊勢市や伊勢市近隣の地域から出土した遺物を原状から近代まで概観し、遺物に直接触れることにより、中学校の歴史の授業の教育研究に役立てる。
出前講座(歴史教室)	8月3日(火)	磯部郷土資料館		20名		石包丁づくりを通じた地域の歴史学習。
出前講座(歴史教室)	9月30日(木)	松阪市立飯南中学校	1年生	27名		粥見井原遺跡出土の土偶などを実見し、身近な地域の歴史に触れる歴史学習。
出前講座(歴史教室)	11月12日(金)	三重県高等学校社会科研究会		14名		地域の歴史を学ぶことにより、考古学を学ばせ、発掘調査の面白さを生徒に伝えられるようにするなど、高等学校の歴史の事業の教育研究に役立てる。
出前講座(歴史教室)	11月19日(金)	伊賀市立鳥ヶ原中学校	1・2年生	36名		「埋もれた夢を掘り起こす」地域の文化財を使った歴史学習。
出前講座(歴史教室)	1月16日(日)	県立北星高等学校		40名		地域の文化財を使った歴史学習。
出前講座(歴史教室)	1月18日(火)	松阪市立朝見小学校	6年生	14名	1名	土器の製作体験を通じ、昔の土器作りについての学習。
出前講座(歴史教室)	1月20日(木)	県立北星高等学校		30名		地域の文化財を使った歴史学習。
出前講座(歴史教室)	1月25日(火)	小阿坂歴史研究会		25名		西蔵寺庚寺の発掘を中心とした現地見学および出土品の解説。
出前講座(歴史教室)	2月3日(木)	津高等学校	1年生	14名		スーパーサイエンススクールの事業の一環としての、地域の歴史学習。
出前講座(歴史教室)	2月27日(日)	津高等学校	1年生	15名		スーパーサイエンススクールの事業の一環としての、地域の歴史学習。
出前講座(歴史教室)	3月1日(火)	菟野町立菟野中学校	3年生	116名	1名	菟野庁内の遺跡と発掘調査の様子についての学習。
出前講座(歴史教室)	3月2日(水)	菟野町立菟野中学校	3年生	114名	1名	菟野庁内の遺跡と発掘調査の様子についての学習。
出前講座(歴史教室)	3月3日(木)	松阪市立朝見小学校	6年生	14名	1名	1月の出前講座で製作した土器の野焼き。昔の土器作りについての学習。
出前講座(歴史教室)	3月24日(木)	中日本高速道路株式会社 名古屋支社 四日市工事事務所		20名		地元自治会会員対象の、北山町内における埋蔵文化財調査の経過、今後の調査予定についての説明。



## (ii) バックヤードツアー

開催日	参加団体名	学年	人数	引率者	内容
4月21日(水)	松阪市立山室山小学校	6年生	102名	6名	博物館展示見学の後、発掘資料の整理作業や収蔵庫を体験見学し、テーマに応じた考古資料の学習を支援。
4月23日(金)	津市立育生小学校		65名	4名	同上
4月23日(金)	伊勢市立北浜中学校	2年生	49名	4名	同上
4月23日(金)	伊勢市立二見中学校	2年生	88名	6名	同上
4月27日(火)	津市立川合小学校	6年生	75名	4名	同上
4月27日(火)	伊勢市立豊浜西小学校	6年生	43名	2名	同上
4月28日(火)	松阪市立第五小学校	5年生	88名	5名	同上
4月28日(火)	鳥羽市立鳥羽小学校	5・6年生	78名	5名	同上
4月30日(金)	明和町立斎宮小学校	3年生	80名	4名	同上
4月30日(金)	松阪市立豊田小学校	5・6年生	56名	3名	同上
5月12日(水)	伊勢市立宮川中学校	2年生	106名	8名	同上
5月13日(木)	伊勢市立修道小学校	6年生	58名	5名	同上
5月14日(金)	津市立西が丘小学校	6年生	155名	7名	同上
5月18日(火)	津市立川合小学校	6年生	73名	4名	同上
5月21日(金)	伊勢市立四郷小学校	6年生	26名	3名	同上
5月25日(火)	伊勢市立城田小学校	6年生	65名	2名	同上
5月27日(木)	松阪市立東部中学校	1年生	105名	7名	同上
6月8日(火)	伊勢市立御園小学校	6年生	107名	4名	同上
6月17日(木)	松阪市立松江小学校	6年生	87名	4名	同上
7月2日(金)	松阪市立粥見小学校	6年生	20名	1名	同上(粥見井尻遺跡の土偶の見学も行った)
7月6日(火)	賢学校(高等部)		20名	7名	博物館展示見学の後、発掘資料の整理作業や収蔵庫を体験見学し、テーマに応じた考古資料の学習を支援。
7月8日(木)	賢学校・津市立倭小学校	6年生	18名	4名	同上
7月9日(金)	松阪市立朝見小学校	6年生	14名	2名	同上
9月14日(火)	八木学園英心高校	1・2年生	25名	4名	同上
9月29日(水)	伊勢市立有頼小学校	6年生	102名	4名	同上

開催日	参加団体名	学年	人数	引率者	内容
9月29日(水)	伊勢市立早修小学校	6年生	35名	5名	博物館展示見学の後、発掘資料の整理作業や収蔵庫を体験見学し、テーマに応じた考古資料の学習を支援。
10月1日(金)	志摩市立立神小学校	5・6年生	33名	3名	同上
10月1日(金)	津市立立成小学校	6年生	68名	3名	同上
10月7日(木)	鳥羽市立加茂小学校	6年生	35名	2名	同上
10月8日(金)	津市立戸木小学校	6年生	31名	3名	同上
10月14日(木)	津市立誠之小学校	6年生	64名	4名	同上
10月15日(金)	伊勢市立中島小学校	6年生	59名	3名	同上
10月19日(火)	度会町立度会小学校	6年生	80名	4名	同上
10月22日(金)	南伊勢町立南島西小学校	5・6年生	50名	3名	同上
10月22日(金)	伊勢市立佐八小学校	6年生	26名	3名	同上
10月26日(火)	皇學館高校	1年生	106名	5名	同上
10月26日(火)	伊勢市立神社小学校	6年生	58名	4名	同上
11月5日(金)	津市立安濃小学校	6年生	50名	3名	同上
11月19日(金)	津市立養正小学校	6年生	46名	4名	同上
12月14日(火)	皇學館高校	1年生	109名	5名	同上
3月11日(金)	皇學館高校	1年生	105名	5名	同上

(iii) 遺跡見学・体験発掘など

開催日	参加団体名	学年	人数	引率者	内容
7月6日(火)	相可高校日本史選択生	2年生	24名		相可出張遺跡(第2次)地域の歴史学習
9月14日(火)	皇學館大学文学部国史学科	2年生	2名		万所遺跡(第4次)体験発掘
10月14日(木)	津市立南が丘小学校	5・6年生	32名	2名	相川西方遺跡(第3次)選択科目「社会課」の地域の歴史学習
11月11日(木)	四日市市立西朝明中学校	2年生	4名	1名	中野山遺跡(第2次)職業体験学習
11月17日(水)	中日文化センター		15名	1名	相川西方遺跡(第3次)相川西方遺跡
12月14日(火)	四日市市立下野小学校	6年生	87名	3名	中野山遺跡(第2次)地域の歴史学習

## (5) 資料閲覧・掲載・貸出実績

### (i) 資料の閲覧

研究もしくは展示借用に際しての事前調査など、資料の実見・物品利用に関して個人・団体を問わず応じている。平成22年度の実績は34件、5,630点、171箱である。

種別	遺跡名	資料種類	点数	箱数	申請者名	目的	閲覧日
図書	長登銅山跡	古代鉱山文献	3		個人	個人研究	H22.4.19
遺物	天白遺跡、新徳寺遺跡、大原堀遺跡	石器	40		個人	個人研究	H22.4.28
遺物	伊勢寺庚寺、ヒタキ遺跡、天花寺庚寺	三彩陶器 瓦 土師器	65		松阪市文化財センター	資料調査	H22.5.20
遺物	六次A遺跡、堀町遺跡、舞出北遺跡、里前遺跡	土器	34		個人	個人研究	H22.5.25
遺物	金剛坂遺跡(4次)、曾祢崎遺跡(2次)	弥生土器、石器	255		個人	個人研究	H22.6.3
図書	各種	研究紀要	1		個人	個人研究	H22.6.28
図書	安養院跡、大谷知山畑遺跡	陶磁資料	14		個人	個人研究	H22.7.14
遺物	奥ホリ遺跡	縄文土器 石器	59		個人	個人研究	H22.7.27
遺物	粥見井尻遺跡、大鼻遺跡、天白遺跡	土偶	69		栃木県立博物館	資料調査	H22.8.27
遺物	ヲノ坪窯跡	焼夷弾	7		個人	個人研究	H22.8.27
図書	田村遺跡	報告書	7		個人	個人研究	H22.8.31
遺物	粥見井尻遺跡	土偶	1		個人	個人研究	H22.9.2
遺物	清水西遺跡	土器	11		個人	個人研究	H22.9.30
遺物	万所遺跡	青磁 椀	1		個人	個人研究	H22.10.5
図書	東京都埋蔵文化財センターほか	図書	1		個人	個人研究	H22.10.21
図書	寺野東遺跡	報告書	1		個人	個人研究	H22.10.21
遺物	粥見井尻遺跡、鴻ノ木遺跡、大鼻遺跡	土偶、縄文土器、石器	1,242	30	滋賀県立安土城博物館 ほか	資料調査	H22.10.25～10.26
図書	原田遺跡	報告書	1		個人	個人研究	H22.10.28
遺物	天白遺跡	縄文土器	508		個人	個人研究	H22.11.1
図書	万葉寺出口遺跡、山街道遺跡ほか	報告書	1		個人	個人研究	H22.11.16
遺物	舞出北遺跡、六次A遺跡、粥見井尻遺跡、大鼻遺跡	弥生土器、土偶	5		個人	個人研究	H22.11.18
遺物	天白遺跡	縄文土器	508		個人	個人研究	H22.11.8～11.9
図書	横尾遺跡、おばたけ遺跡ほか	報告書	1		個人	個人研究	H22.12.2
遺物	大鼻遺跡、高茶屋大垣内遺跡、露出島真遺跡	土器	20		個人	個人研究	H22.12.14
遺物	天白遺跡	赤色顔料付着遺物	1,831		九州国立博物館	資料調査	H22.12.21
遺物	金塚遺跡	銅鐸	1		浜松市博物館	資料調査	H23.1.27
遺物	二之坪遺跡、浄土寺南遺跡	出土資料、緑釉陶器	318	47	個人	個人研究	H23.1.28
遺物	天童山8号墳、上榎ノ木1号墳、谷山古墳、曾根崎3号墳、木ノ下古墳、太閤寺1号墳、井田川茶臼山古墳	玉類	468	2	個人	個人研究	H23.2.7
遺物	大原堀遺跡、堀之内遺跡	縄文土器	46		個人	個人研究	H23.2.17～2.18
その他	鳥羽市内関係	埋蔵文化財包蔵地カード	4		皇學館大学考古学研究会	資料調査	H23.2.25
遺物	井田川茶臼山古墳	大刀、馬具、鏡	104		宮崎県立西都原考古博物館	資料調査	H23.3.10
その他	長遺跡	遺構図、航測図面	2		文化振興室 県史編さんグループ	資料調査	H23.3.10
図書	木造赤坂遺跡、池新田遺跡	自然化学分析報告書	1		文化振興室 県史編さんグループ	資料調査	H23.3.10
遺物	高茶屋大垣内遺跡	出土品(報告書未掲載資料)	92		個人	個人研究	H23.3.17～3.18

## (ii)資料の掲載

研究発表などに際しての資料の写真などの掲載は、個人・団体を問わず応じている。平成22年度は26件、503点の所蔵資料の写真などが掲載された。

遺跡名	種別	点数	申請者	掲載誌	受付日
粥見井尻遺跡	遺物写真	1	株式会社 講談社 TOKYO★1週間編集部	「TOKYO★1週間」「KANSAI 1週間」	H22.4.16
粥見井尻遺跡、天白遺跡	遺構・遺物写真	3	松阪市教育委員会	宝塚古墳公園用地設置予定の看板	H22.4.26
粥見井尻遺跡	遺物写真	1	朝日新聞大津総局	朝日新聞朝刊(5月30日)	H22.5.27
粥見井尻遺跡	遺物写真	1	読売新聞大津支局	読売新聞	H22.5.27
東映遺跡	遺構写真	2	香芝市二上山博物館	シンポジウム「邪馬台国時代の東海と近畿」資料集	H22.6.4
歌野遺跡 他12	遺構・遺物写真	13	伊賀市 市史編纂係	「伊賀市史」第1巻 通史編	H22.6.14
天花寺廃寺、伊勢寺廃寺、ヒタキ廃寺	遺構・遺物写真	25	松阪市文化財センター	展示パネル、図録、ポスター	H22.6.18
伊賀国分寺、伊賀国府	遺構・遺物写真	3	有限会社 地球デザイン	「伊賀・名張のたから」郷土出版社	H22.7.2
城之越遺跡	遺構写真	2	和歌山県立紀伊風土記の丘	「水の考古学～人と水の関わり の歴史」のパネル	H22.7.6
石栗師東遺跡	遺物写真	1	株式会社 小学館	「Jr.日本の歴史 第1巻 国のなりたち」	H22.8.31
粥見井尻遺跡	遺物写真	1	株式会社 ネクサス	TV放送「開運！なんでも鑑定団」土俵の歴史ガイドVTR	H22.9.27
沖打越1号墳	その他	4	株式会社 新人物往來社	「歴史読本」12月号	H22.9.28
沖打越中世墓、伊坂城跡	遺構写真	2	伊勢中世史研究会	「中世史・考古学情報」第9号	H22.9.29
井田川茶臼山古墳ほか	遺構・遺物写真	407	亀山市長	亀山市史考古編及び通史編	H22.9.30
天花寺廃寺	遺構写真	1	鈴鹿市考古博物館	パネル展示	H22.10.4
吉田谷古墳群	その他	10	(株)ジャパン通信情報センター	『文化財発掘出土情報』「各地の動向」12月号	H22.10.29
経塚中世墓、横尾墳墓群、楠ノ木遺跡	遺構写真	3	(株)同成社	『東海の古代②伊勢・伊賀の古墳と古代社会』	H22.11.1
粥見井尻遺跡	遺物写真	1	読売新聞津支局	読売新聞紙面	H22.12.15
城之越遺跡	遺構写真	2	伊賀市教育委員会	参考資料	H23.1.4
天白遺跡	その他	9	度会町教育委員会	森添遺跡発掘調査報告書(2011年3月刊行予定)	H23.1.26
粥見井尻遺跡、勢武谷遺跡、西ヶ広遺跡、山城遺跡、正知浦遺跡	遺構・遺物写真	5	亀山歴史博物館	亀山市史考古編、通史編(W eb版及び書籍別付PDF版)	H23.2.2
落合古墳群	遺物写真	1	三重県埋蔵文化財センター	宮川流域遺跡マップ	H23.2.9
粥見井尻遺跡	遺物写真	1	函館市教育委員会	函館市縄文文化交流センター 年表パネル	H23.2.18
粥見井尻遺跡	遺物写真	1	個人	歴史評論「大いなる大日本人」	H23.3.18
中林・中道遺跡	遺物写真	2	奈良文化財研究所	埋蔵文化財センターニュース 143号	H23.3.22
粥見井尻遺跡	遺物写真	1	徳島県立博物館	企画展「人形☆ひとがた」図録	H23.3.28

### (iii) 資料の貸出

所蔵する資料等を有効活用していただけるよう貸出を行っている。平成22年度は11件、785点の遺物等を貸し出した。

遺跡名	資料名	点数	申請者	目的	期間(始)	期間(終)
天白遺跡	全景写真パネル、木製農耕具レプリカ、貫頭衣レプリカ	11	松阪市文化財センター	企画展「教えます!まつさかの歴史～縄文・弥生時代編～」への出品	H22.4.9	H22.7.2
井田川茶臼山古墳	耳環、銅鏡、直刀、馬具、装飾玉類	576	大阪府立近つ飛鳥博物館	春秋特別展示「経体大王の時代」に伴う展示のため	H22.4.5	H22.7.16
藪の下遺跡、天白遺跡、納所遺跡、鳥居本遺跡	土器	4	斎宮歴史博物館	明和町立明星小学校6年生対象出前講座に使用	H22.4.30	H22.4.30
—	デジタル一眼レフカメラ	2	斎宮歴史博物館	特別展「加茂斎院と伊勢斎宮」関連写真展で展示する写真を撮影するため	H22.5.11	H22.5.18
村竹コノ遺跡、堀町遺跡	土器 石包丁 銅鐸 形土製品	10	三重県立博物館	移動展示「水の恵みとゆくえ～くらしと自然の関わりから考えてみよう!」展示	H22.7.14	H22.8.27
雲出島貫遺跡、前田町屋遺跡、おぼたけ遺跡、六太A遺跡、六太B遺跡、里前遺跡	土馬 土器 硯 木簡 銅鏡 貝殻 カキ版	35	斎宮歴史博物館	企画展「海-伊勢と志摩の海-」展示	H22.7.20	H22.9.3
伊勢寺廃寺、ヒタキ廃寺、天花寺廃寺	土器 墨書土器 瓦 三彩陶器	69	松阪市文化財センター	特別展「仏教開花」展示	H22.7.20	H22.10.8
斎宮池遺跡、織糸遺跡、金剛坂遺跡、辰ノ口古墳群	土器、石器、埴輪	11	斎宮歴史博物館	明和町立修正小学校6年生対象出前講座に使用	H22.10.22	H22.10.22
杉葉崎遺跡、荏道跡、外佐田古墳	土器、紡錘車	17	皇學館大学考古学研究会	皇學館大学倉院考古学研究会「五十鈴川流域の遺跡」に展示	H22.10.27	H22.11.4
—	火起こし道具(舞きり)	30	名張市教育委員会	名張市立梧裡が丘南小学校「郷土まなび館」での火起こし体験で使用	H22.11.12	H22.11.15
発シB・A遺跡	土器	20	斎宮歴史博物館	明和町立修正小学校6年生対象の出前講座に使用	H22.11.12	H22.11.12

### (iv) 資料分析

所蔵する資料について、普及・啓発及び学術研究に資し、かつ良好な状態で取り扱われると認められる場合は、資料の分析利用の許可を行っている。平成22年度は1件、13点の資料分析の許可を行った。

遺跡名	資料名	点数	申請者	目的	期間(始)	期間(終)
村竹コノ遺跡、雲出島貫遺跡、堀田遺跡、河田宮ノ北遺跡、明気遺跡、川原井瓦窯跡、本郷遺跡、紋山遺跡、安濃津遺跡、小津遺跡、川島遺跡	土器 (報告書未掲載資料)	13	明治大学黒曜石研究センター	主体的分布範囲が限定されている土器の科学的特性と鉱物学的組成を明らかにし、データベースを作成することにより、地域を移動した可能性のある土器の産地推定に役立てるため。	H23.1.7	H23.1.7

### (v)長期貸出

県内の他施設で、所蔵資料・物品を有効活用していただけるよう、1年を通じて貸出を行っている。平成22年度の実績は14件、394点、211箱である。

機関名	展示等施設名	資料名	点数	箱
桑名市教育委員会	桑名市埋蔵文化財整理所	山王遺跡出土資料		66
		七和2号竈址出土資料		96
朝日町歴史博物館	朝日町歴史博物館	丹生川上城跡出土白磁小壺	23	
四日市市立博物館	四日市市立博物館	落川原遺跡出土土帯	1	
亀山市歴史博物館	亀山市歴史博物館	城山古墳出土資料		49
		大鼻遺跡出土資料	4	
		正知浦遺跡出土資料	6	
鈴鹿市文化振興部	鈴鹿市考古博物館	東庄内A遺跡出土縄文土器ほか	29	
		大木ノ輪遺跡出土弥生土器ほか	3	
		川原井瓦窯跡出土瓦	4	
		川原井遺跡出土灰輪陶器	1	
		神大寺遺跡出土土師器	4	
		南谷遺跡出土鉄鏝	2	
鈴鹿市文化振興部	鈴鹿市稲生民俗資料館	起A遺跡出土弥生土器ほか	2	
津市教育委員会	津市美杉ふるさと資料館	多気遺跡群出土瓦ほか	20	
	津市埋蔵文化財センター	遺構写真パネル	62	
		木製品用水槽	2	
	津市役所 アスト津アストプラザ 津市美杉ふるさと資料館	展示ケース	4	
地方共済組合 榑原保養所 神湯館	地方共済組合 榑原保養所 神湯館	埋納銭ほか	157	
松阪市文化財センター	松阪市文化財センター	鴻ノ木遺跡出土縄文土器	1	
明和町教育委員会	明和町役場教育課	寺垣内遺跡出土弥生土器	5	
齋宮歴史博物館	齋宮歴史博物館	北野遺跡出土土師器	4	
多気町教育委員会	勢和郷土資料館	井尻遺跡出土縄文土器ほか	14	
		若宮遺跡出土土器ほか	13	
伊賀市教育委員会	城之越学習館	城之越遺跡出土韓式系土器ほか	15	
	青山郷土資料室 (旧 青山町立高尾小学校)	展示ケース	14	
三重県政策部東紀州対策局	熊野古道センター	道灌遺跡出土土師器ほか	4	

### (6) ホームページの開設

三重県埋蔵文化財センターの事業内容や、発掘調査・現地説明会、収蔵品の情報等を、インターネットを介して多くの人に公開し、埋蔵文化財に対する理解と文化財保護意識を高めることを目的として、平成13年4月1日にホームページを開設し、運用している。

平成19年度以降は、すべての報告書と年報等のインターネット公開も行っている。平成22年度はイベントへの参加増加などのため、「催し物」ページをリニューアルした。また、三重県埋蔵文化財センター公式キャラクターを作成したため、各ページにキャラクターを使用し、頻繁に更新を行った。平成22年度のアクセス数は21,818件である。なお、12月には三重県の各ホームページの中でアクセス数が89位という2005年のアクセス件数計測以来最高順位を記録した。

## (7) 刊行物

平成 22 年度は、発掘調査報告書・発掘調査概報を合わせて 10 件、研究紀要 1 件、年報 2 件、調査ニュース・たより 8 件の合計 21 件の印刷物を刊行した。これらの刊行物は、全国の埋蔵文化財センター並びに図書館等へ送付している。一般への頒布は行ってないが、一部の刊行物についてはオンデマンド印刷を利用して手に入れられるようになっている。また、前述の通り PDF データでの公開を行っている。

番号	書名	所収遺跡名	頁数	データ容量	発行年月
319	川方城ノ跡・川方川原遺跡発掘調査報告	川方城ノ跡遺跡・川方川原遺跡	22	53.1MB	H22. 6
320	天道遺跡(第2次)発掘調査報告	天道遺跡	46	52.5MB	H22. 10
321	松坂城跡・久居城下町遺跡(第9次)・東鷹跡古墳発掘調査報告	松坂城跡・久居城下町遺跡・東鷹跡古墳	60	60.6MB	H22. 9
322	北奥遺跡(第3次)発掘調査報告	北奥遺跡	46	71.1MB	H22. 10
323-1	伊坂窯跡・伊坂遺跡(第5次)発掘調査報告	伊坂窯跡・伊坂遺跡	224	291MB	H23. 3
324	瀬木遺跡発掘調査報告	瀬木遺跡	72	65.1MB	H23. 3
325	鳥居本遺跡(第4次)発掘調査報告	鳥居本遺跡	38	41.0MB	H23. 2
155	中ノ川原遺跡発掘調査報告	中ノ川原遺跡	28	16.7MB	H23. 3
22	一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報	相川西方遺跡・丸地遺跡・城ノ越遺跡・本宮遺跡	32	166MB	H22. 8
1	近畿自動車道名古屋神戸線(四日市JCT~亀山西JCT)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査概報	伊坂窯跡・伊坂遺跡・伊坂城跡	44	127MB	H22. 7
—	研究紀要第20号		88	118MB	H23. 3
—	平成20年度三重県埋蔵文化財年報		64	6.86MB	H23. 3
—	平成21年度三重県埋蔵文化財年報		58	12.1MB	H23. 3
54	中勢道路調査ニュース		4	1.32MB	H22. 12
55	中勢道路調査ニュース		4	5.02MB	H23. 3
2	新名神高速道路埋蔵文化財発掘調査ニュース		4	5.96MB	H22. 8
3	新名神高速道路埋蔵文化財発掘調査ニュース		4	5.96MB	H23. 1
1	東海環状自動車道発掘調査だより		4	0.87MB	H22. 7
2	東海環状自動車道発掘調査だより		4	5.68MB	H22. 12
3	東海環状自動車道発掘調査だより		8	11.0MB	H23. 3
1	1級河川宮川床上浸水対策特別緊急事業にともなう埋蔵文化財発掘調査ニュース		8	10.2MB	H23. 1

## (8) その他、普及公開事業

埋蔵文化財へ親しみを持ってもらうため、県や市町等の開催する各種のイベントに参加し、特に子どもたちには楽しみながら体験を行ってもらう取り組みを行っている。平成 22 年度は、5 件のイベントに参加し、1,230 人の参加を得た。

また、三重県埋蔵文化財センターや埋蔵文化財に対して県民のみならず親しみをもってもらえるよう、マスコットキャラクター「ロックンロール♪ダイちゃん」を作成した。このキャラクターは、現在出土木製品の県指定を目指している六次 A 遺跡から生まれたというコンセプトで作成し、埋蔵文化財展や各種イベント、ホームページなどで広く使用した。

名称	主催者	期日	場所	参加人数	出展内容
農大祭&西山農業祭	農業研究所	H22.5.23(日)	松阪市嬉野川北町 農業研究所、農業中学校	130名	木造赤坂遺跡・天白遺跡の資料等展示。土器模様つけ体験等。
Mieこどもエコフェス	三重県環境学習情報センター	H22.7.17(土)	四日市市桜町 鈴鹿山麓リサーチパーク	600名	チャレンジ！昔の火起こし体験。
M祭！2010	三重県総合文化センター	H22.8.1(日)	津市一身田上津部田 三重県総合文化センター	300名	貫頭衣(かんとうい)デザイナーになろう！
飯南 粥見の遺跡まつり	NPO法人みえ自然・文化財保護サークル	H22.10.9(土)	松阪市飯南町粥見 粥見井原遺跡公園	150名	飯南 粥見の遺跡まつり
嬉野 ドングリまつり	同上	H22.10.30(土)	松阪市嬉野権現前町 嬉野ふるさと会館	50名	縄文時代のデザイナーになろう。

### 3 資料の保管

#### (1) 資料の保管状況

正式報告済みの出土遺物は、報告書掲載遺物等（A遺物）、報告書未掲載遺物（B遺物）ともに「遺跡ごと」・「遺構ごと」に整理し、収納箱に通し番号を付して、保管場所を決定・収納した後、遺物管理台帳に登録、入力して管理している。正報告された遺物は、報告書番号で検索、直ちに保管場所が判明する。その他、実測図面や写真などの記録保存資料も、遺跡ごとに整理番号を付して収蔵・管理している。なお、寄贈を受けた各地の報告書等もデータベースの登録後、閲覧可能な形で収蔵・管理している。（下表の箱数は、コンテナバット（60cm×40cm×16cm）に収納した場合の数量を示している。整理作業を終えて正式収蔵すると平均して45%ほどの箱数が削減される）

施設名	A遺物	B遺物	整理途中	事業部局名	箱数(箱)	重量(kg)	
埋蔵文化財センター	収蔵庫1	710		県事業	県土整備部	114	439.3
	収蔵庫2	3,333			農水商工部	66	192.6
	仮収蔵庫	3,021			その他	20	29.1
	その他		1,373		中勢道路	18	33.6
各地収蔵庫	高茶屋収蔵庫		8,291	国事業	宮川河川改修	36	62.7
	蟠野分室	1,265	15,905		東海環状自動車道	16	20.8
受託現場整理所				その他	0	0	
合計	8,329	24,196	3,260	高速道路	1	0.5	
総計		35,785		合計	271	778.6	

出土遺物保管箱数(概数) 平成23年3月末現在

平成22年度出土遺物量(概数)

#### (2) 科学的保存処理

科学的保存処理を専任する職員は配置していないが、保存科学室1（木製品専用）に PEG 樹脂含浸装置2基、保存科学室2（金属製品専用）には減圧含浸装置1基が設置されている。また、中勢道路整理所にも PEG 樹脂含浸装置1基が設置されている。現状では、奈良文化財研究所主催の保存科学研修やその他の関連研修を受けた職員が簡易な作業を行い、本格的な保存処理は国庫補助制度等を活用して専門処理機関に委託している。

事業部局	遺跡名	発掘年度	木製品(点)	鉄製品(点)
県事業	県土整備部	浅子谷古墳群	H21	29(玉類含む)
		瀬木遺跡	H21	14
		北奥遺跡(第3次)	H21	6
	農水商工部	才良吉田谷古墳群	H21	48
		川方城ノ越遺跡	H21	1
	教育委員会	松坂城跡	H21	2
受託事業	中勢道路	相可出張遺跡(第2次)	H22	3
		相川西方遺跡(第2次)	H21	1(籠製品)
	中日本高速道路(株)	伊坂城跡(第3次)・伊坂遺跡(第5次)	H21	6
埋蔵文化財センター	六次A遺跡	再処理	38	
国庫補助金制度利用	落合古墳群、近代古墳	国補		18



### (3) 職員による資料の帯出

収蔵資料は、出前講座や公開講座などの公開・普及事業や、報告書作成や個人研究のための資料調査のために、職員による帯出を随時行っている。平成22年度の実績は40件、331点、65箱である。(埋蔵文化財展、県庁舎等での常設展示を除く)

遺跡名	資料種類	点数	箱数	目的	帯出日
浅子谷古墳群	玉類・鉄器		2	保存処理検討会で使用	H22.4.7
堀町遺跡	土器等	44		朝見小学校出前講座で使用	H22.5.20
安濃津柳山遺跡	土器等	31		みえ夢学園出前講座で使用	H22.5.21
天白遺跡	土偶	1		農大祭&西山農業祭で展示	H22.5.23
相川西方遺跡	籠製品	1		資料調査	H22.5.24
川島遺跡(第2次)・魚見下起遺跡	土器等	10		機殿小学校出前講座で使用	H22.6.2
稲生遺跡	土器	1		資料調査	H22.6.3~6.7
松山遺跡、蚊山遺跡(左郡地区)、内垣外遺跡、野垣内遺跡	鉄器	4		職員研修(保存処理)で使用	H22.6.14~6.18
納所遺跡	土器	4		資料調査	H22.6.14~6.18
北堀池遺跡	土器	2		資料調査	H22.6.15~7.30
大鼻遺跡、鴻ノ木遺跡、粥見井尻遺跡、高血遺跡	土器等	15		第2回考古学講座で使用	H22.6.26
相川西方遺跡	籠製品	1		資料調査	H22.7.1~7.9
粥見井尻遺跡	土偶	1		朝見小学校バックヤードツアーで使用	H22.7.2
相可出張遺跡(第1次)	土器	2		相可出張遺跡(第2次)現地説明会で使用	H22.7.3
木造赤坂遺跡、井ノ上遺跡	土器等	3		資料調査	H22.7.6
ヲノ坪遺跡、久居古窯跡群、稲生古窯跡群	土器		7	資料調査	H22.7.21~H23.3.31
山崎遺跡、野種里中遺跡、大藪遺跡、中栗山遺跡、藪ノ下遺跡、波瀬B遺跡	土器等	33		伊勢市社会教育推進研究会中学校社会部会出前講座で使用	H22.8.2
北野遺跡	石器	4		磯部郷土資料館出前講座で使用	H22.8.3
歌野遺跡	土器	1		万所遺跡(第3次)現地説明会で使用	H22.8.7
納所遺跡	土器	1		資料調査	H22.8.13
相可出張遺跡(第1次)	土器	2		相可出張遺跡(第2次)現地説明会で使用	H22.8.29
堀之内遺跡	土器・鉄器	2	17	資料調査	H22.9.1~H23.3.31
広山B遺跡、大木ノ輪遺跡、六次A遺跡	土器	8		資料調査	H22.9.6~H23.9.12
清水西遺跡	土器	7		資料調査	H22.9.28
粥見井尻遺跡、大原堀遺跡	土偶・土器	31		飯南中学校出前講座で使用	H22.9.30
堀之内遺跡	鉄器	10		資料調査	H22.10.4~10.8
北堀池遺跡	土器	1		資料調査	H22.11.11~H23.3.31
天童山古墳群、北切遺跡、高賀遺跡、才良遺跡	土器等	13		三重県高等学校社会科研究会出前講座で使用	H22.11.12
納所遺跡	石器		20	資料調査	H23.1.12~3.3
鴻ノ木遺跡、新徳寺遺跡、瀬干遺跡、堀町遺跡	土器等	23		朝見小学校出前講座で使用	H23.1.18
菟上遺跡、天童山古墳群、六次A遺跡、高瀬遺跡、高賀遺跡、小上野墓ノ谷遺跡、大会遺跡	土器等	23		鳥ヶ原中学校出前講座で使用	H22.11.19
菟上遺跡、志知南浦遺跡、広永城跡、辻子遺跡、伊坂城跡、覚正堀内遺跡	土器等	7		北星高等学校出前講座で使用	H23.1.20
宮ノ沖遺跡	土器等	2		小阿坂歴史研究会考古学講座で使用	H23.1.25
伊坂遺跡	土器等		8	資料調査	H23.1.25
納所遺跡、蔵田遺跡、東庄内B遺跡	土器等	9		津高等学校出前講座で使用	H23.2.3
おばたけ遺跡、落合古墳群	鉄器	2		資料調査	H23.2.10
納所遺跡、天童山古墳群、石薬師東遺跡、平林古墳群	土器等	24		津高等学校出前講座で使用	H23.2.27
大石遺跡、覚正堀内遺跡、鳥居本遺跡、菟上遺跡、広永城跡、辻子遺跡、志知南浦遺跡、伊坂城跡、六谷遺跡	土器等	10	4	菰野中学校出前講座で使用	H23.3.1~3.2
相可出張遺跡(第1次)	土器等	1		資料調査	H23.3.18
ヲノ坪遺跡	土器		4	資料調査	H23.3.18~3.31

## 4 埋蔵文化財技術者養成

### (1) 埋蔵文化財発掘技術者研修(教員研修)

昭和42年以降、県内の学校教員を対象として、埋蔵文化財の発掘調査等についての専門的知識と技術を習得し、教育現場へと還元する目的で研修事業を実施している。昭和54年度から平成21年度までに98名が研修を終了した。平成22年度についても募集を行ったが、受講者がいなかった。教育現場との連携・成果還元という、埋蔵文化財が必要とされる面が、今後教員研修としても重要視されていくであろう。

#### (i) 研修要項

平成22年度 埋蔵文化財教員研修実施要項

#### 1 目的

県内の公立学校教員が、三重県埋蔵文化財センター等において埋蔵文化財に関する研修を受講することにより、学校教育における歴史教育や郷土学習をはじめとした特別活動及び総合的な学習の時間等の充実に生かし、教員の資質向上を図る。

#### 2 主催

三重県教育委員会

#### 3 担当

三重県埋蔵文化財センター

#### 4 期間

平成22年4月1日～平成23年3月31日

#### 5 場所

- ・三重県埋蔵文化財センター 多気郡明和町竹川503
- ・県内各発掘調査現場及び公開普及会場等

#### 6 人員

原則 2名

#### 7 参加資格

県内の公立小学校及び中学校の社会科と県立学校の地理・歴史科の教員で、埋蔵文化財の発掘調査や保存・公開普及についての知識と技術の習得に努め、学校教育現場で活かそうとする、健康で発掘調査に従事できる者

#### 8 主な研修内容

##### (1) 学校教育

教材研究、指導案作成、研究授業(教科指導または出前講座)、教科研究および総合学習研究

##### (2) 発掘調査

- ① 講義 文化財の保護、文化財保護法、時代各論、遺物各論
- ② 実習 基礎実習(遺物実測実習・測量実習・写真撮影実習等)、分布調査実習、範囲確認調査実習、木発掘調査実習、遺物整理実習、報告書作成実習

##### (3) 公開普及

- ① 講義 埋蔵文化財普及公開
- ② 実習 資料展示実習、展覧会解説実習、現地説明会実習

#### 9 講師

三重県埋蔵文化財センター職員ほか

#### 10 その他

- ① 研修者の出張旅費は、県の旅費規定にしたがって支給する
- ② 研修期間中は、当該学校に対して常勤講師の補充がなされる予定である
- ③ 研修を終了した者は、修了証書を交付する

#### (ii) 平成22年度研修員

なし

## (2) 埋蔵文化財発掘調査市町職員研修

県内各市町教育委員会の職員を対象として埋蔵文化財発掘技術を習得し、文化財保護行政に資するための研修を実施しているが、平成22年度は受講者がいなかった。

### (1) 研修要項

三重県埋蔵文化財発掘調査市町職員研修実施要項

- 1 目的  
この研修は、各市町において文化財保護行政を担当する者が、埋蔵文化財の保護実務と調査に関する知識や技術を習得し、文化財保護体制を強化することを目的とする。
- 2 主催  
三重県埋蔵文化財センター
- 3 対象者  
研修の対象者（以下「研修員」という）は、原則として市町教育委員会の文化財保護行政の担当職員とする。
- 4 場所  
三重県埋蔵文化財センター及び県内各地の埋蔵文化財発掘調査現場等
- 5 実施時期  
実施時期（各講座の履修方法）は、研修員派遣機関と協議のうえ決定する（別表【受講例】参照）。
- 6 研修の内容  
研修の内容は、別表「研修内容」のとおりとする。
- 7 研修員の決定  
(1)市町教育委員会教育長は、職員に研修を受けさせようとするときは、別紙様式の「研修希望調査」を三重県埋蔵文化財センター所長（以下「所長」という）に提出するものとする。  
(2)所長は、「研修希望調査」を受けた場合、その受け入れの可否を定め、研修を希望する市町教育長に通知するものとする。
- 8 修了者  
所長は、研修員が全研修課程を修了し、発掘調査を担当する技術を習得したと認める時は、修了証書を交付する。
- 9 研修に要する費用  
(1)研修員の旅費は、研修員派遣機関において負担するものとする。  
(2)所長は、研修に必要な資料等の経費について、研修員派遣機関に実費負担を求めることができる。
- 10 その他  
前各項に定めるもののほか、研修の実施について必要な事項は、所長が別に定める。

### (附則)

この要項は、平成12年7月3日から実施する。

平成15年2月1日（改定）

平成18年8月1日（改定）

(別表)

三重県埋蔵文化財発掘調査市町職員研修 研修内容

講座名	期間	研修内容
講座Ⅰ	30日間程度	関連法令や調査手順等の実習 ・関連法令等の概要 ・分布調査 ・範囲確認調査 ※研修期間中に実施できなかった場合は、その後随時研修をおこなう ・遺跡台帳の整備等
講座Ⅱa	2ヶ月間程度	本調査実習 ・基準測量や地区設定等 ・調査前や調査作業の撮影 ・土層の判断や遺構の検出 ・遺構の掘削 ・出土遺物の取り上げ方等 ・遺構の実測や撮影 ・遺物出土状況の実測や撮影等
講座Ⅱb	2ヶ月間程度	基本的には講座Ⅱaと同じ内容であるが、市町職員が主体的に発掘調査をおこなう。
講座Ⅲ	2ヶ月間程度	発掘調査資料の整理や保管の実習 ・遺構図面や写真等の整理 ・出土遺物の分類整理 ・遺物実測等
講座Ⅳ	2ヶ月間程度	報告書作成作業の実習 ・遺物写真撮影 ・遺構や遺物の図版作成 ・原稿執筆 ・レイアウト等

[注]

- ① 講座Ⅰは、基本的に研修の当初に受講するものとするが、講座修了者と同等の知識と技術を有すると認める者については省略することができる。
- ② 各講座の取得方法及び実施時期および期間は、研修員派遣機関と協議のうえ決定する。

【参考】

受講例

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
例1		I	II a	II b	III	IV													
例2		I		II a	II b									III			IV		

〇〇〇第〇〇〇号  
平成〇年〇月〇日

三重県埋蔵文化財センター所長 様

〇〇市町教育委員会教育長

印

研 修 希 望 調 書

三重県埋蔵文化財発掘調査市町職員研修を次のとおり希望します。

希 望 す る 講 座 名			
研 修 希 望 期 間		年 月 日 から 年 月 日 まで	
研 修 希 望 職 員	ふ り が な 職 氏 名		性別 男・女
	生 年 月 日 ( 年 齢 )	( 歳 )	
	現 職 年 数	年 ( 年 月 以 来 )	
	最 終 学 歴	学校名 ( 学 部 学 科 )	
	発 掘 調 査 経 験 ( 参 加 遺 跡 )	( 有 無 )	
過去に県埋蔵文化財センター で受けた市町職員研修		有 無 昭和 平成 年度 講座名	
そ の 他 希 望 事 項			

### (3) 市町等支援

県内各市町教育委員会からの依頼・要請に応じ、当該市町教育委員会が直面する埋蔵文化財保護に関する各種の問題に関して、その調整会議等に参加したり、作業への支援・協力を実施している。平成 22 年度は 7 市町、14 件に対応した。また、志摩市にある矢口小学校からの出土品調査についても支援を行った。

市町名等	内容	期日	職員名
鈴鹿市	国史跡 伊勢国府発掘調査指導委員会	H21.11.2(水)	河北秀実
津市	国庫補助事業(多気北畠氏遺跡発掘調査・津市詳細遺跡分布地図作成・業師谷古墳群及び多気北畠氏遺跡ほか出土土物保存処理)に関する支援	随時	
	多気北畠氏遺跡発掘調査指導委員会	H22.5.14(金) H22.8.24(火) H22.11.25(木)	河北秀実
松阪市	松阪城跡保存管理計画策定委員会	H22.5.17(月) H22.9.15(水) H23.1.31(月)	河北秀実
伊勢市	伊勢市史第6巻「考古編」編纂に関する支援	随時 (H22.4.1~9.30)	
度会町	森浜遺跡の遺物整理に関する支援	随時	
玉城町	田丸城跡の現状変更協議に関する支援	H23.2.1(火)	田中久生
	田丸城跡の工事立会に関する支援	H23.3.29(火)	田中久生 高松雅文
紀宝町	羽山地遺跡発掘調査報告書作成に関する支援	H22.4.13(火)	伊藤裕偉
	羽山地遺跡・京城跡試掘調査に関する支援	H22.8.30(月)	伊藤裕偉
矢口小学校	土器・石器等の調査	随時	

### (4) 埋蔵文化財専門担当者会議

三重県埋蔵文化財専門担当者会議は、県及び市町の埋蔵文化財保護行政に携わる専門職員ならびに埋蔵文化財の発掘調査や考古学研究に関わる県内諸機関職員等を対象として、埋蔵文化財に関わる各種協議や研修等を行い、本県埋蔵文化財保護の推進と職員の資質向上を図ることを目的として例年開催している。また、埋蔵文化財を取り巻く社会情勢の変化にあわせて、埋蔵文化財保護に携わる県内の関連行政機関および県内大学等諸機関にも適宜参加を要請して広く情報交換を行い、埋蔵文化財の周知や公開・普及拡大にむけた方法等についても協議する場となっている。会議は三重県埋蔵文化財センターが主体となり、関係市町・関係機関の協力を得て開催した。

#### (i) 平成 22 年度第 1 回三重県埋蔵文化財専門担当者会議

開催日：平成 22 年 5 月 26 日（水）10:30～15:30

場所：斎宮歴史博物館講堂

加盟機関：桑名市、いなべ市、四日市市、朝日町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、明和町、伊勢市、度会町、玉城町、鳥羽市、志摩市、伊賀市、名張市、紀宝町、三重大学、皇學館大学、

(以下三重県)生活文化部文化振興室県史編さん G、博物館、斎宮歴史博物館、社会教育・文化財保護室、埋蔵文化財センター

内容：①平成 22 年度担当者紹介、事業予定紹介、現状と課題

②最近の発掘調査から

鈴鹿関跡の発掘調査 亀山市文化部まちなみ文化財室 山口昌直

③遺跡の新規登録・遺跡範囲の変更について

④「三重県埋蔵文化財発掘調査基準」の策定について

## (ii) 第2回三重県埋蔵文化財専門担当者会議

開催日：平成 22 年 12 月 1 日（水）10:30～16:30

場所：三重県総合文化センター 文化会館2階 大会議室

加盟機関：桑名市、いなべ市、四日市市、朝日町、鈴鹿市、亀山市、津市、松阪市、明和町、伊勢市、度会町、玉城町、鳥羽市、志摩市、伊賀市、名張市、紀宝町、三重大学、皇學館大学、

（以下三重県）生活文化部文化振興室泉史編さん G、博物館、斎宮歴史博物館、社会教育・文化財保護室、三重県埋蔵文化財センター

内容：①平成 22 年度事業報告、現状と次年度への継続課題

②社会教育・文化財保護室から

③平成 22 年度県内発掘調査事例報告・検討

多気町 相可出張遺跡 三重県埋蔵文化財センター 相場さやか

津市 多気北畠氏遺跡 津市教育委員会 石淵誠人

伊賀市 沖・打越遺跡 三重県埋蔵文化財センター 伊藤裕偉

④文化庁編「発掘調査のてびき」について 文化庁記念物課 近江俊秀

## (5) 埋蔵文化財行政基礎講座

埋蔵文化財行政基礎講座は、各市町において埋蔵文化財保護行政を担当する者が必要と思われる事務手続き等の基礎的な業務を習得することを目的とし、埋蔵文化財の専門担当者以外で埋蔵文化財行政に携わる職員や埋蔵文化財保護の実務経験が 2 年以内の埋蔵文化財専門担当者等を対象とし、平成 12 年度から実施している。

### (i) 平成 12 年度の行政基礎講座

平成 22 年度は、8 月に下記のテーマで実施した。7 市町（8 名）の参加を得て、地域の状況に根ざした講義・質疑、活発な情報交換を行った。

開催日：平成 22 年 8 月 9 日（月）10:00～15:00

開催場所：津市埋蔵文化財センター 2 階 研修会議室

- 講座内容：講座Ⅰ 「埋蔵文化財に関わる事務手続きと遺跡の把握」  
（三重県教育委員会 社会教育・文化財保護室 水谷豊）
- 講座Ⅱ 「遺跡の把握と埋蔵文化財包蔵地調査カード（遺跡台帳）」  
（三重県埋蔵文化財センター 小山憲一）
- 施設見学 「津市埋蔵文化財センターの施設見学」
- 講座Ⅲ 「詳細分布調査による遺跡把握の実例」  
（津市埋蔵文化財センター 田中寿和）
- 講座Ⅳ 「遺跡GISの公開と事業調整」  
（鈴鹿市考古博物館 新田剛）

### (ii) 講座実施要項

三重県埋蔵文化財行政基礎講座実施要項

- 1 講座の目的  
この講座は、各市町において埋蔵文化財保護行政を担当する者が必要と思われる事務手続き等の基礎的な業務を習得するために行う。
- 2 講座の主催者  
三重県埋蔵文化財センター
- 3 講座の場所  
三重県埋蔵文化財センターなど

#### 4 講座の対象

講座の対象（以下「受講者」という）は、以下の者とする

- (1) 市町の埋蔵文化財専門担当者以外で、埋蔵文化財保護に携わる職員
- (2) 埋蔵文化財保護の実務経験が2年以内の埋蔵文化財専門担当者
- (3) 上記以外で参加を希望する者（文化財保護委員など）

#### 5 講座の内容

- ・関連法令や通知、補助制度等の概要
- ・調整協議の流れと各種書類の作成
- ・遺跡台帳の整備

#### 6 実施回数・期間

実施回数 年2回程度

実施期間 1日

#### 7 講座に要する費用

- (1) 受講者の旅費は、派遣機関が負担する。
- (2) 講座に必要な資料等の経費について、派遣機関に実費負担を求めることができる。

#### 8 その他

前各項に定めるもののほか、講座の実施について必要な事項は、三重県埋蔵文化財センター所長が別途定める。

#### (附則)

この要項は、平成12年7月3日から実施する。

この要項は、平成15年5月1日から改正する。

この要項は、平成19年5月1日から改正する。

三重県埋蔵文化財センター

## 5 各種会議・研修等への職員の参加

### (1) 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会

同協議会が主催する各種会議・研修会に職員を派遣し、多機関との交流や技術研修を行っている。平成22年度は、三重県が東海・北陸ブロックの会議の幹事を行った。これらの会議の参加・出席実績は下記のとおりである。

名称	内容	期日	場所	出席者
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	平成21年度事業報告・収支決算 講演「埋蔵文化財保護行政の現状と課題」 特別講演「これからの遺跡の利活用について - 里山再生のもと 住民参加によるソフト活用を目指して -」	H22.5.27(木)・ H22.5.28(金)	山口県山口市 セントコア山口	河北秀実
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 東海・北陸ブロック会議	文化庁「発掘調査のびき」に伴う各自治体の調査体制・方法等に関する再検討について、市町村合併に伴う埋蔵文化財業務の広域連携について ほか（三重県埋蔵文化財センターが主催）	H22.10.28(木)・ H22.10.29(金)	三重県津市一身田 三重県総合文化センター	河北秀実 田村陽一 森川常厚 竹内英昭 田中久生 中山憲一 松葉和也
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 第23回研修会	発掘調査からみた古代地方都市の諸要素	H22.10.7(木)・ H22.10.8(金)	宮城県多賀城市 ホテルキャッスルブラザ多賀城	小林美沙子 相塚さやか



## (2) 研究会・研修会・講座など

埋蔵文化財がおかれている現状や課題についての検討を広め、発掘調査・報告書作成に際しての参考とするため、各種講座や研修会・研究会などに職員を派遣している。平成22年度は10件、延べ11名を派遣した。

名称	内容	主催者	期日	場所	出席者
第22回「文化財写真技術研究会」	写真撮影技術の向上と写真保存の課題等の研究会	文化財写真技術研究会	H22.7.2(金)	奈良県奈良市 奈良文化財研究所	竹内英昭
デジタルバブリッシングフェア	コンテンツのデジタル化技術・サービス、デジタルコンテンツの管理・運用・配信技術等に関するフェア	東京国際ブックフェア実行委員会、リードエグジビション ジャパン株式会社	H22.7.9(金)	東京都江東区有明 東京ビックサイト	竹内英昭
空間情報シンポジウム2010	クラウドコンピューティングと空間情報、電子国土Webシステムの概要など、GISに関する最新の情報に関するシンポジウム	(株)インフォマティクス、(財)地理情報システム学会	H22.7.21(水)	愛知県名古屋 市ウインクあいち(愛知県産業労働センター)	小山憲一
平成22年度埋蔵文化財担当職員等講習会	「発掘調査のてびきについて」ほかに関する講習会	文化庁 香川県教育委員会	H22.9.1(水)～ H22.9.3(金)	香川県高松市 香川県立ミュージアム	田中久生 川部浩司
埋蔵文化財担当者専門研修「保存科学Ⅰ(無機質遺物)課程」	無機質遺物(金属器等)の理化学的保存処理について、理論の講義と実習による研修	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所	H22.10.6(水)～ H22.10.15(金)	奈良県奈良市 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所	西村美幸
第35回全国遺跡環境整備会議	古代寺院跡の復元整備と活用に関する会議	第35回全国遺跡環境整備会議実行委員会	H22.11.11(木)・ H22.11.12(金)	福島県磐梯市 リゾートイン磐梯	竹内英昭
平成22年度埋蔵文化財・史跡保護行政会議	「近世城郭と関連遺跡の保存と活用」等に関する会議	文化庁	H22.11.17(水)・ H22.11.18(木)	東京都千代田区 旧文部省庁舎	長谷川晋也
平成22年度文化財行政講座	文化財行政担当者として必要な知識についての研修	文化庁	H22.11.24(水)～ H22.11.26(金)	東京都千代田区 旧文部省庁舎	松葉和也
埋蔵文化財担当者専門研修「報告書作成課程」	見やすく読みやすい報告書の作り方と、図録・学術誌編集の基礎に関する研修	独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所	H22.12.9(木)～ H22.12.17(金)	奈良県奈良市 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所	相塚さやか
三重県図書館シンポジウム「明日の県立図書館」	「知識の情報の拠点」へと変革していく図書館に期待される役割等に関するシンポジウム	三重県立図書館	H23.1.8(土)	津市 三重県総合文化センター	竹内英昭

## (3) 職員の派遣

職員の経験や知識を活かすため、職員を派遣している。平成21年度は10件、6名が依頼に対応した。

氏名	期日	内容
高松雅文	H22.6.5(土)	よみうり伊丹文化センター「最新考古学事情2011」講師
松葉和也	H22.6.7(月)	松阪市文化財保護指導委員会議
高松雅文	H22.6.13(日)	大阪府立近つ飛鳥博物館 シンポジウム「継体大王の時代」討論パネリスト
高松雅文	H22.6.26(土)	大阪府立近つ飛鳥博物館 土曜講座「最新研究からみた継体大王の時代」講師
田中久生	H22.6.26(土)	橿宮歴史博物館 絵巻物の写真撮影
東谷洋平	H22.7.1(土)	三重県高等学校社会科学研究会総会「埋蔵文化財センターの業務説明等」
伊藤裕偉	H23.1.31(月)	三重県石像調査推進会議
穂積裕昌	H23.2.21(月)	三重県史「通史編原始古代」執筆打ち合わせ
伊藤裕偉	通年	国立大学法人三重大学教育学部 日本史概論 非常勤講師
松葉和也	通年	松阪市文化財保護指導委員への就任(市内文化財に関するパトロール等)

#### (4)ベンチマーキング

木製遺物等の収蔵展示にかかる先進地へのベンチマーキングを行った。

期 間：平成23年2月24日（木）・2月25日（金）

出張先：兵庫県神戸市 神戸市埋蔵文化財センター・鳥取県鳥取市 鳥取県埋蔵文化財センター

出張職員：中川明・小山憲一

内 容：

収蔵や展覧会等での展示においても温湿度の管理等で取り扱いに相当の配慮が必要な木製遺物等を「収蔵展示」という形で収蔵しながら出土品を公開するという先進的な手法を試みている神戸市と鳥取県の取り組み状況を調査した。神戸市埋蔵文化財センターでは空調設備を完備した木製遺物の収蔵庫にガラス小窓を設置して内部が見えるような配慮がなされ、少量ながら出土品の展示もなされており、また、土器類については周囲に回廊状の通路を配し、4面をガラス張りにした収蔵展示室が整備され、大量の出土品が展示されていた。設立後約20年が経過する同センターでは当初から「収蔵展示」を目的とした施設的设计がなされており、長い実績と運営上の工夫があることが分かった。鳥取県埋蔵文化財センターでは青谷上寺地遺跡の所在地に青谷調査室が設置され、同遺跡出土の大量の木製遺物を収蔵展示している状況を調査した。同調査室では、市町合併によって遊休施設となった旧役場庁舎を改修・転用して木製遺物の収蔵展示を実践している。展示の手法としては「ガラス越しではなく間近に見ることができる」というもので、遺物の保管・管理や展示公開の手法について知ることができた。現状では空調設備の完備された専用収蔵庫を保有していない三重県埋蔵文化財センターの今後の施設整備を検討する上で、これら2機関の先進的な手法は大いに参考となると考えられる。

なお、先進地視察の視察地選定や今後の施設整備検討の参考とするため、全国の埋蔵文化財関係機関に対し、収蔵庫にかかるアンケート調査を実施した。アンケートの方法や回答結果の概要は下記の通りである。

##### ・アンケート対象機関

全国の埋蔵文化財関係（埋蔵文化財センター等）の57機関（都道府県42機関・市15機関）

##### ・有効回答数

40機関

##### ・温湿度管理可能な収蔵庫の所有機関数及び平均延べ床面積

所有機関数：29機関 平均延べ床面積：約136㎡

##### ・収蔵展示の実施状況

収蔵展示を実施している機関：17機関

このうち木製品あるいは金属製品の収蔵展示を実施している機関：6機関

収蔵展示を検討している機関：0機関

収蔵展示の実施も検討もしていない機関：23機関

### Ⅲ 行政資料

#### 1 県内遺跡数

それぞれの生活創造圏ビジョン推進条例に策定された9つの生活創造圏によって区分した。それぞれの生活創造圏は右のとおりである。

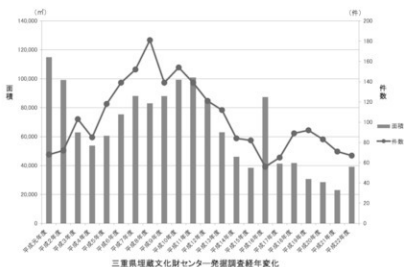
生活創造圏	散布地	貝塚	都城官 街跡	城跡跡	社寺跡	生産 遺跡	古墳・ 横穴	その他 の墳墓	その他	合計
桑名・員弁	328	4	0	88	25	8	189	43	14	699
四日市	324	0	1	57	21	22	311	15	2	753
鈴鹿・龜山	645	0	2	62	19	42	964	9	24	1,767
津・久居	862	0	0	129	43	39	1,748	44	14	2,879
松阪・紀勢	1,107	0	1	96	58	46	1,563	5	5	2,881
伊勢志摩	846	31	1	102	17	28	752	35	102	1,914
尾鷲	46	0	0	19	1	4	4	0	1	75
熊野	137	0	0	66	1	0	0	1	4	209
伊賀	547	0	1	678	272	31	1,575	40	66	3,210
合計	4,842	35	6	1,297	457	220	7,106	192	232	14,387



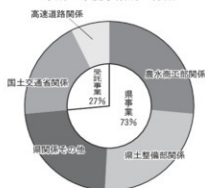
#### 2 県内発掘調査の経年変化

##### (1) 県埋蔵文化財センター担当の発掘調査

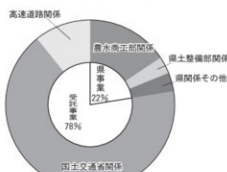
平成22年度に県埋蔵文化財センターが担当した調査は、総計67件、39,249.4㎡である。以下、これまでに県埋蔵文化財センターが担当した調査の総件数及び面積と、平成22年度の事業別件数及び面積をグラフで示す。



平成22年度事業別 件数



平成22年度事業別 面積









# ロック・ロールダイちゃん

三重県埋蔵文化財センター マスコットキャラクター

平成22年度  
三重県埋蔵文化財年報

2012（平成24）年3月  
編集・発行 三重県埋蔵文化財センター  
印刷 東海印刷株式会社



